

O R I G A M I

T A N T E I D A N

折紙探偵団

M A G A Z I N E

定価 **635円**
(本体605円)

クローズアップ Close-up

第2回折り紙の著作権会議 (2CoCiO)を受けて:

世界と日本でしている事と
しなければいけない事

The 2nd Conference on Copyright in
Origami (2CoCiO):

What Folders/Artists Are/Should Be Do(ing)

立石浩一

Tateishi Koichi

折り図 Diagrams

コトドリ

Lyrebird

神谷哲史

Kamiya Satoshi

展開図折りに挑戦! Crease Pattern Challenge!

チャボ(矮鶏)

Bantam

北條高史

Hojyo Takashi

つまみおり Information

第5回折紙探偵団名古屋コンベンション
参加募集開始

Registration Information

on the 5th Origami Tanteidan Nagoya Convention



通巻 **117** 号



Lyrebird : Kamiya Satoshi

折り図 / Thematic Series with Diagrams

P.4 知子の部屋

Tomoko's Room

ドーム BOX

Domed Box

布施知子

Fuse Tomoko

P.8 おりがみ我楽多市

Origami Odds and Ends

ハート BOX

Heart Box

やまぐち真

Yamaguchi Makoto

読み物 / Articles

P.16 折紙図書館の本棚から

From the Bookshelves of the JOAS Library

『Project Origami』トーマス・ハル著
"Project Origami" by Thomas Hull

羽鳥公士郎

Hatori Koshiro

P.18 スキップで折紙散歩

Origami Sampo Skipping Every Other Step

ちりめん細工の世界

The Art of "Chirimen Craft"

前川 淳

Maekawa Jun

P.35 ペーパーフォルダーの横顔

Paper Folders on File

ウォン・パーク

Won Park

取材：やまぐち真

Yamaguchi Makoto

コラム / Columns

P.7 折り紙の周辺

Origami and Its Neighbors

布施知子

Fuse Tomoko

P.32 おりすじ

Orisuzi ("Fold-Creases")

西村光平

Nishimura Kohei

P.33 折紙三昧

Origami-Zanmai (This Origami and That)

西川誠司

Nishikawa Seiji

情報 / Information

P.36 つまみおり Rabbit Ear

第5回折紙探偵団名古屋コンベンション
参加募集開始

Registration Information on the 5th Origami
Tanteidan Nagoya Convention

クローズアップ / Close-up

**P.13 第2回折り紙の著作権会議
(2CoCiO) を受けて：
世界と日本でしている事としな
ければいけない事**

The 2nd Conference on Copyright in
Origami (2CoCiO):
What Folders/Artists Are/Should Be
Do(ing)

立石浩一

Tateishi Koichi

折り図 / Diagrams and Crease Pattern

P.22 コトドリ

Lyrebird

神谷哲史

Kamiya Satoshi



P.34 展開図折りに挑戦！

Crease Pattern Challenge!

チャボ (矮鶏)

Bantam

北條高史

Hojyo Takashi

カラーページ / Color

P.20 オリガミ・フォトギャラリー
Origami Photo Gallery

解説・北條高史
Comments : Hojyo Takashi

知子の部屋

Tomoko's Room 第8回

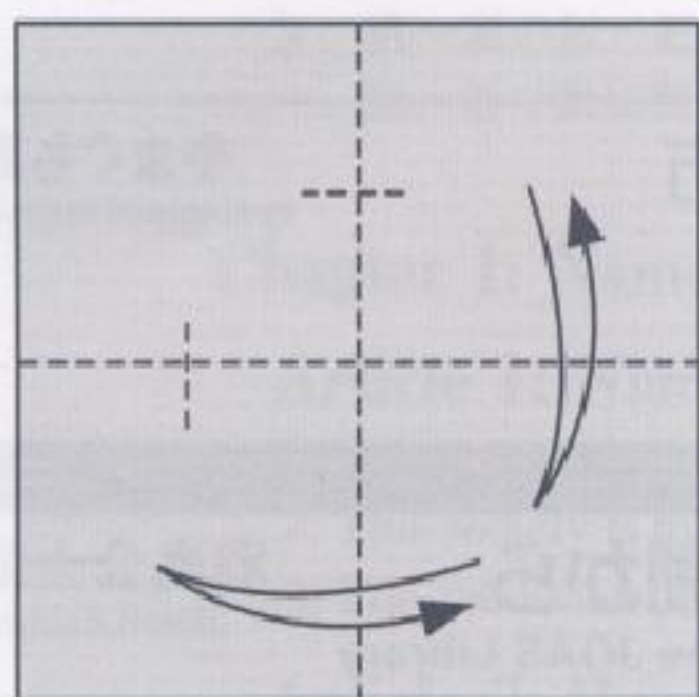
布施知子
Fuse Tomoko

ドーム BOX Domed Box

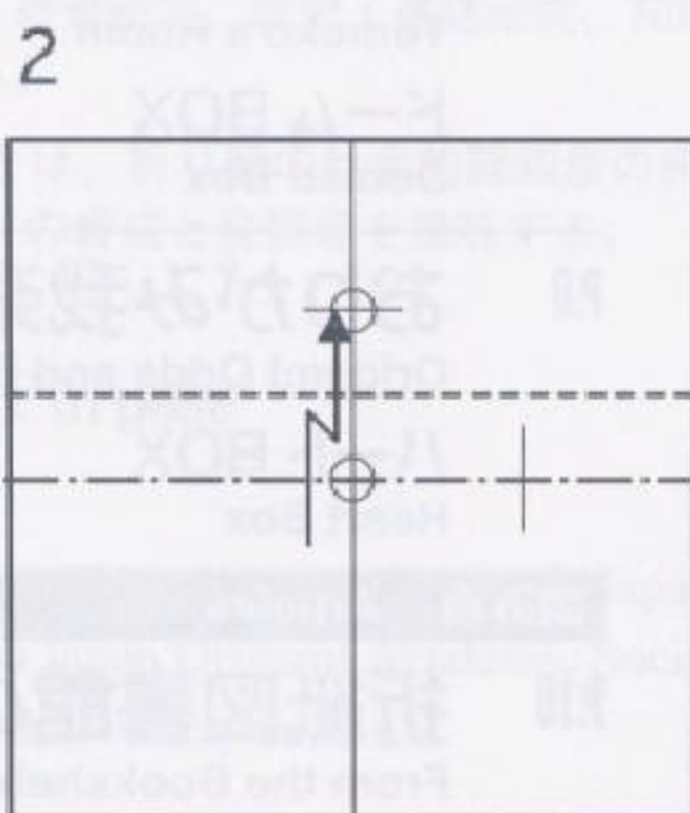
ふたに凹凸をつけたドーム型の箱です。『中当て』がポイント。これで丈夫になり、内側もおしゃれになります。本体は伝承の『升』。



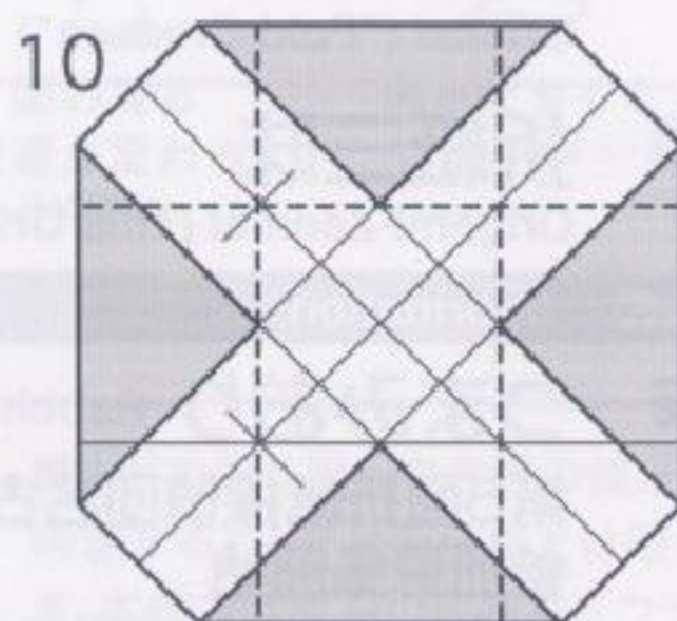
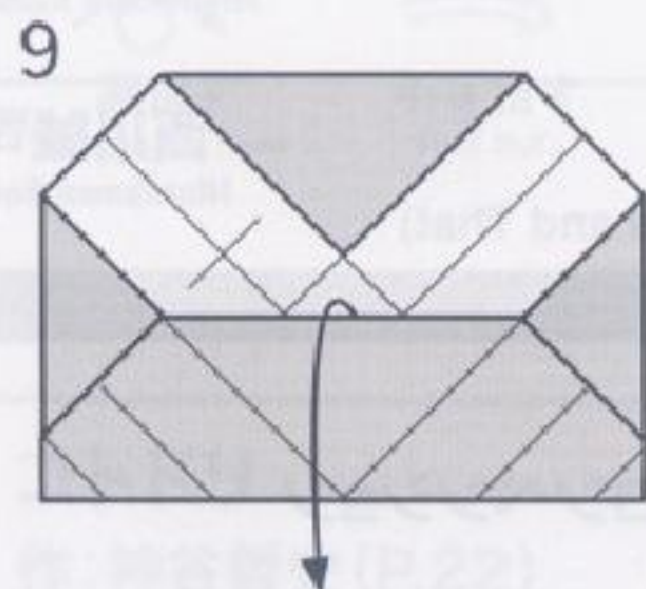
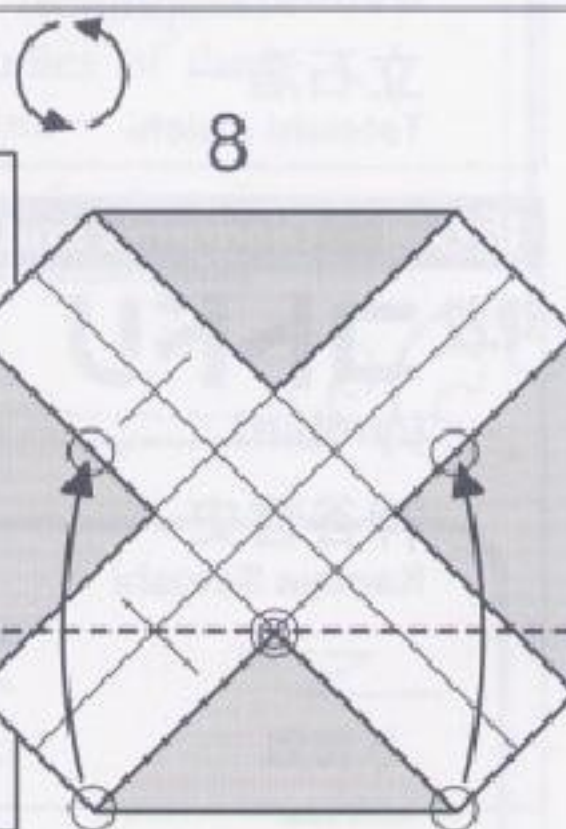
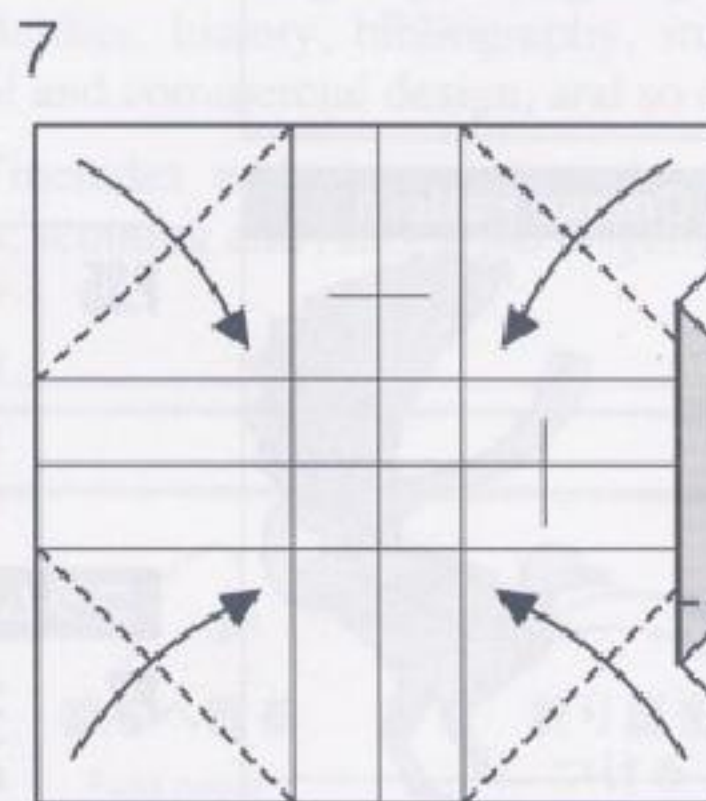
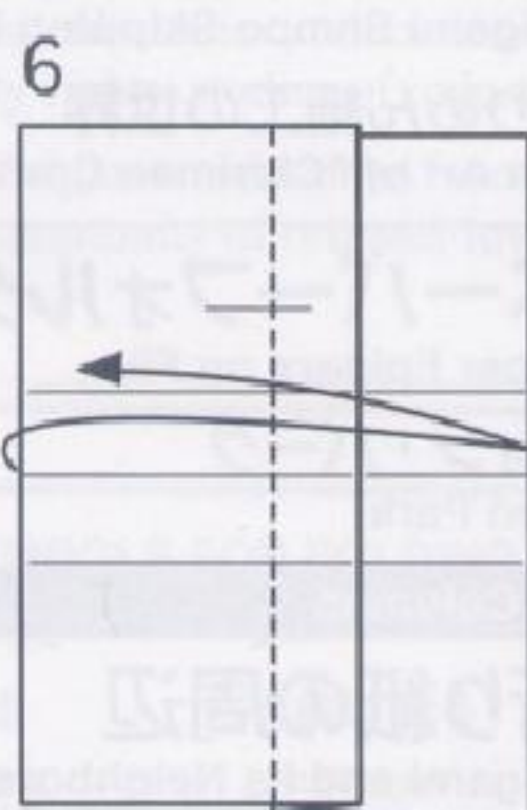
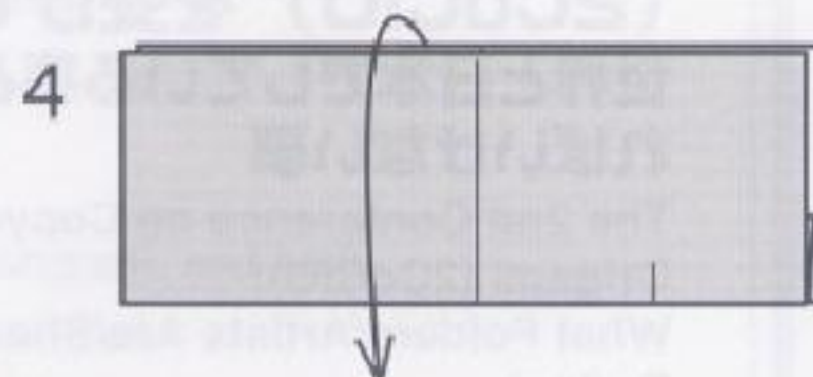
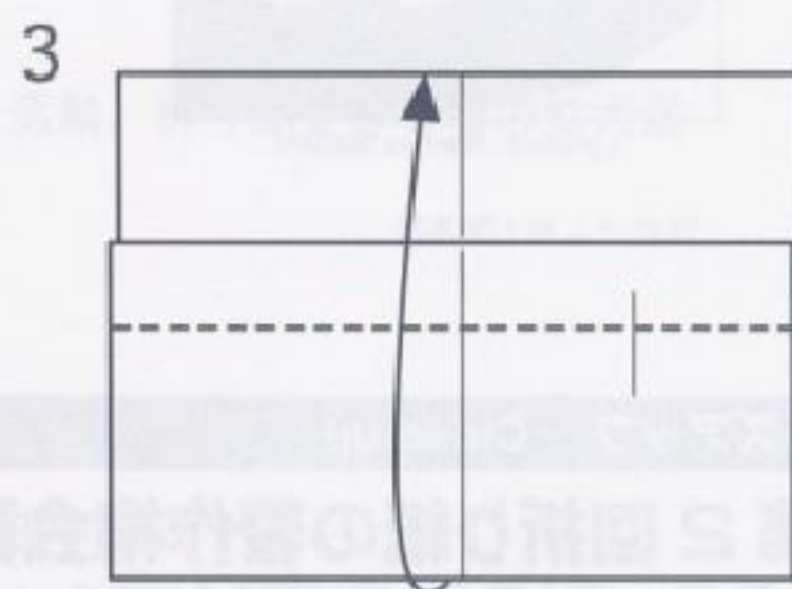
ふた：A 1



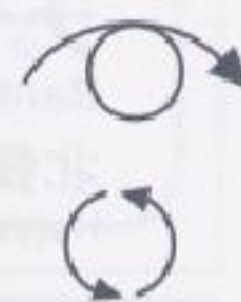
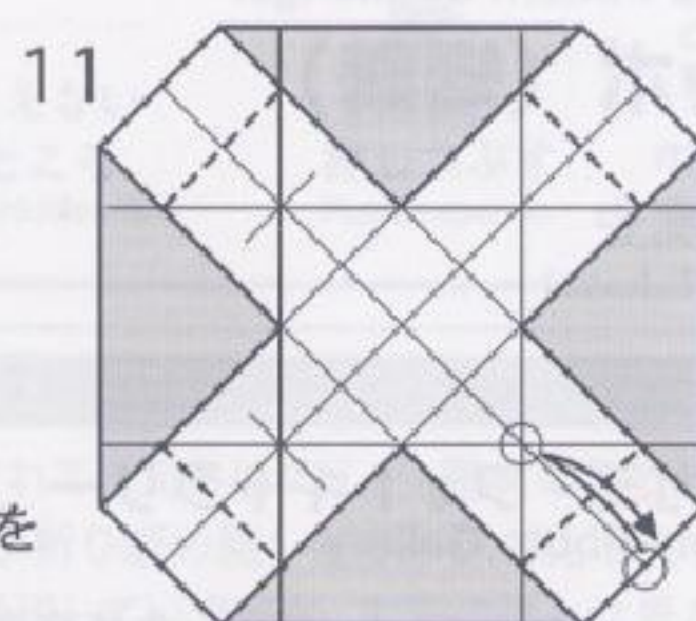
図のような
折り線をつける



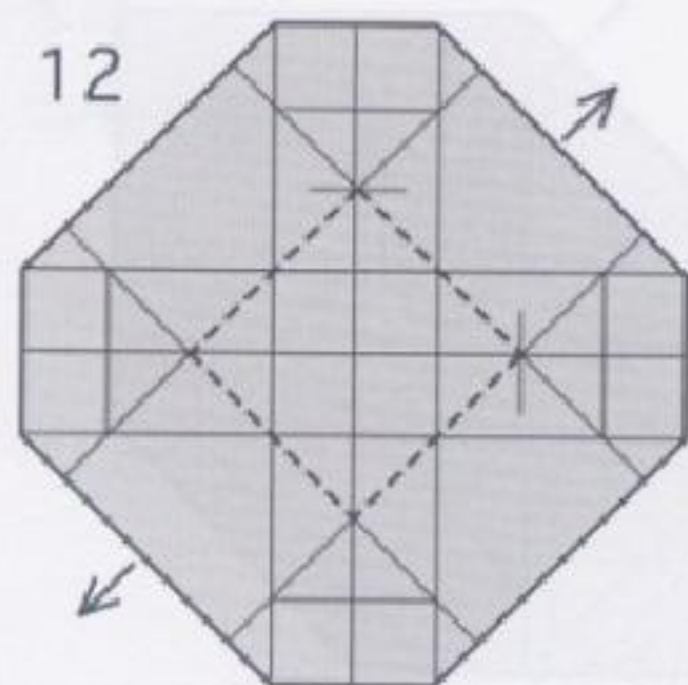
山線をつまんで段に折る



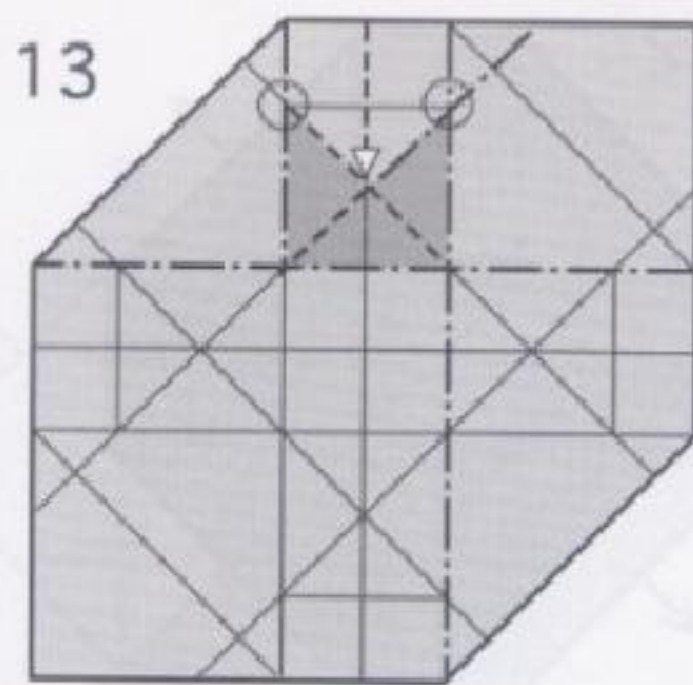
折り線をつける



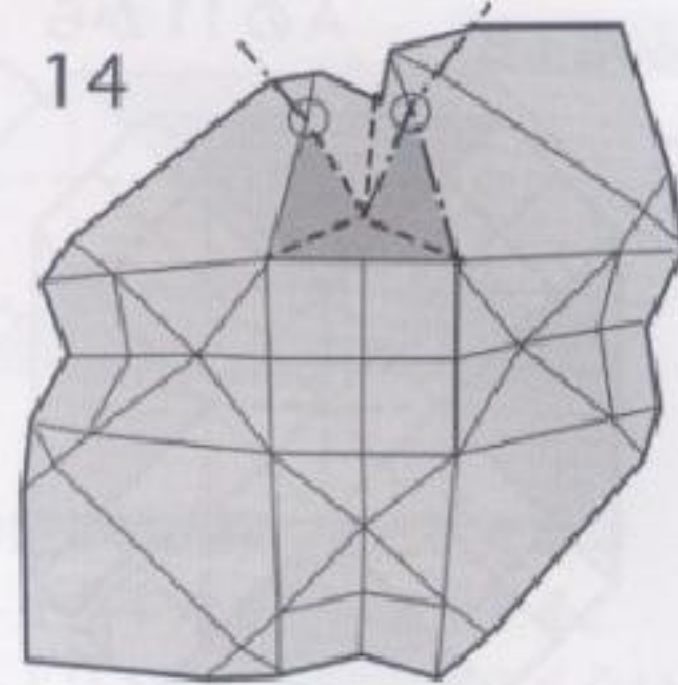
折り線をつける



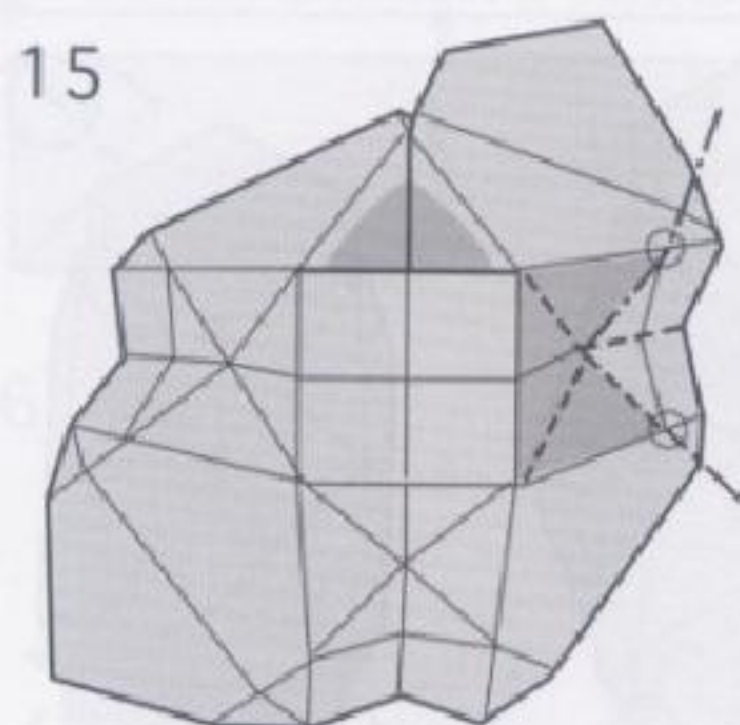
折り線をつけたら開く



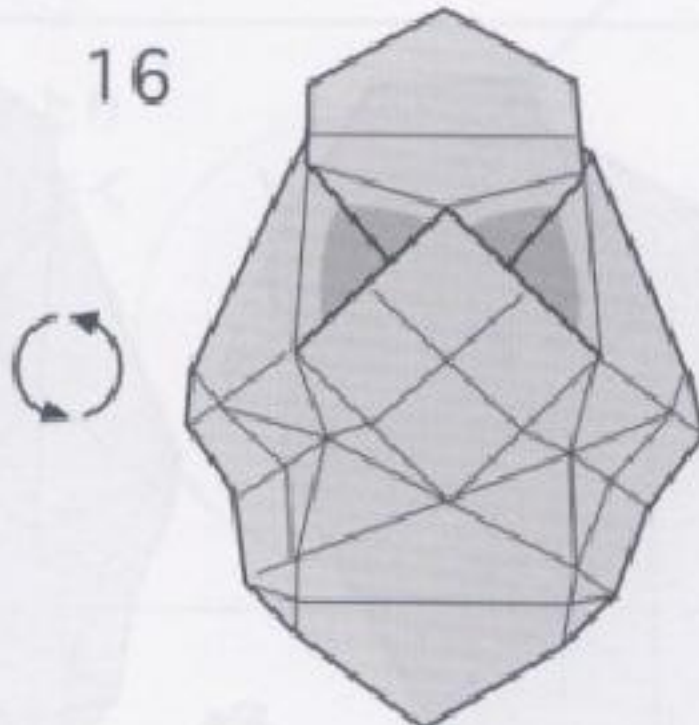
○印を合わせて、矢印をくぼませる



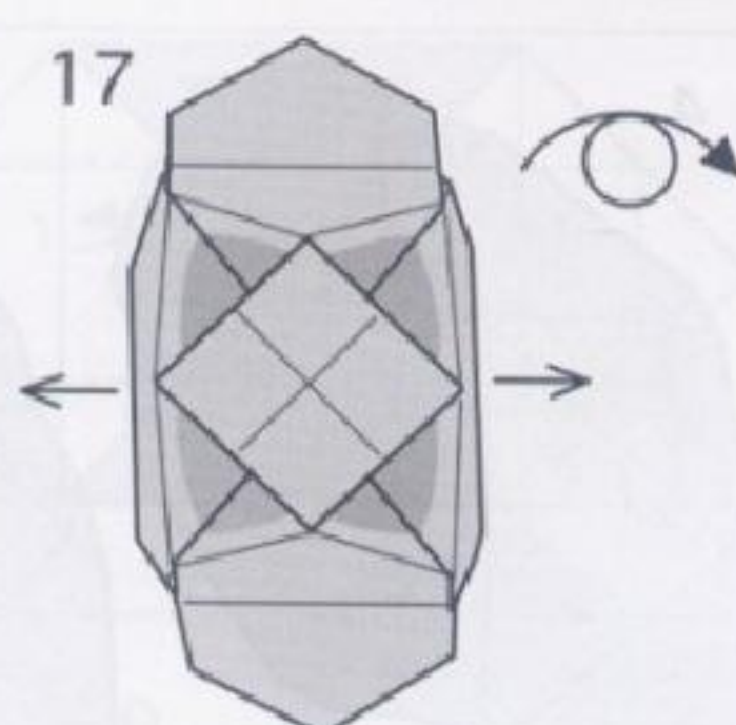
ひだは後ろに折る (内側は 18 参照)



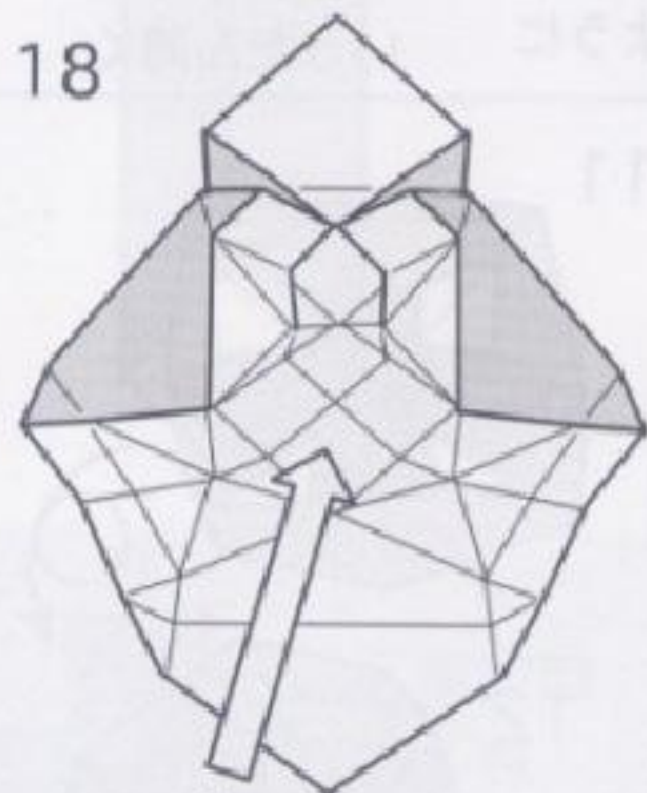
もう一方も同じように



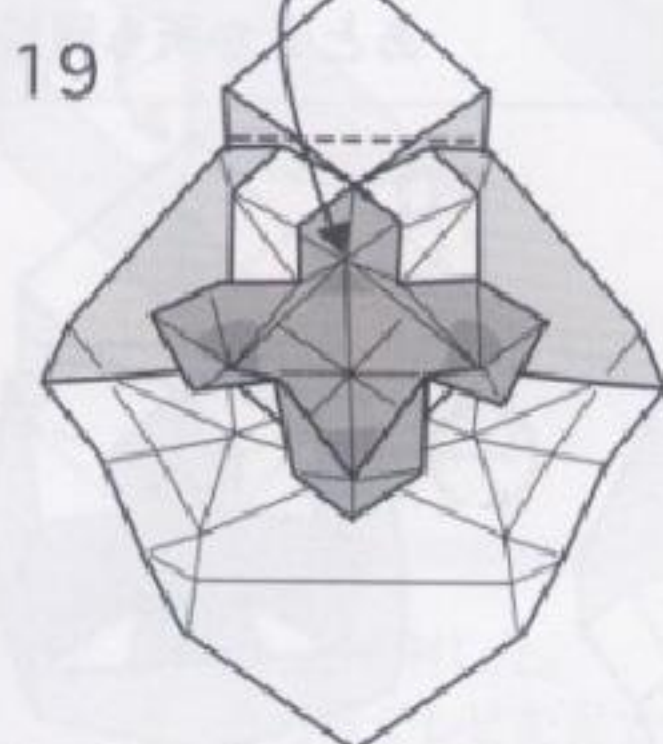
あと 2 か所も同じように



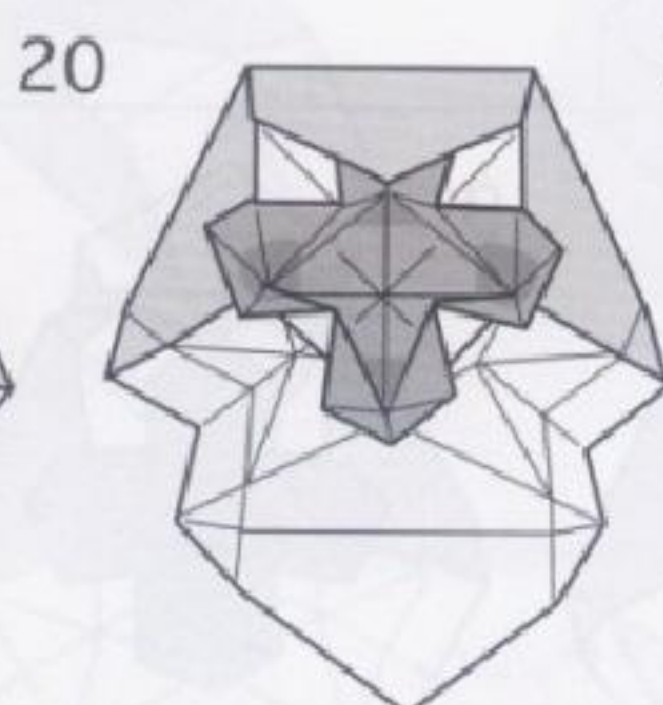
下の 2 か所をいったん開く



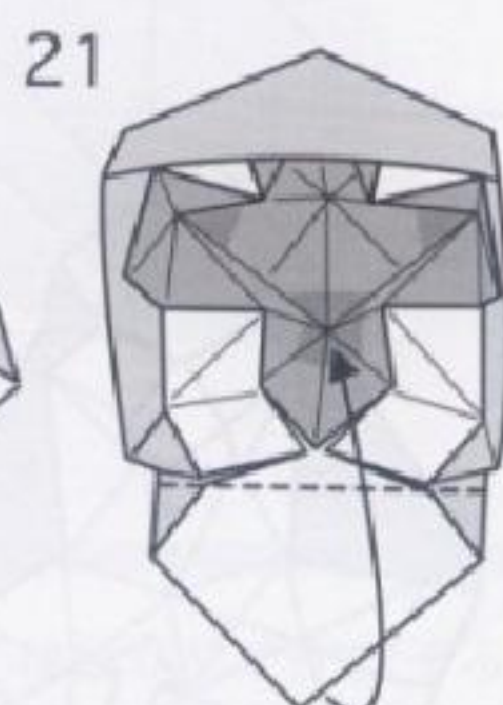
中当てをのせる



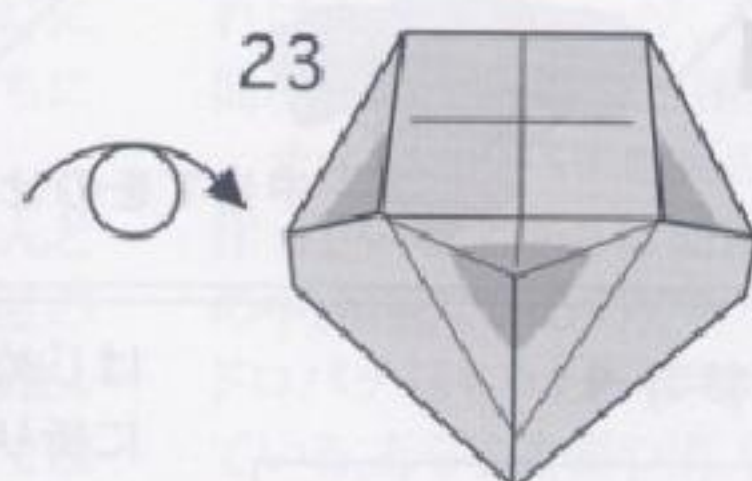
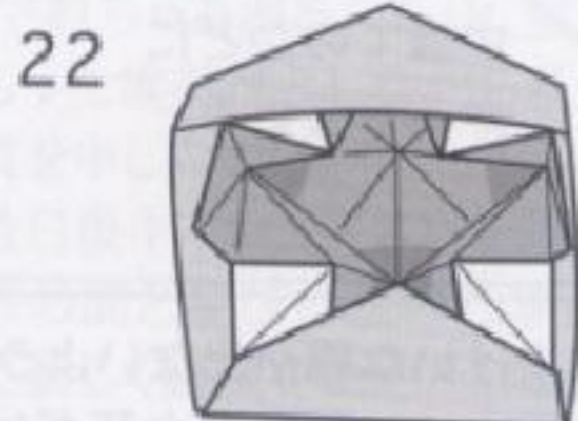
中当てのかどにかぶせて折る



下の左右を折り戻す
(中当ては 2 か所外に出る)

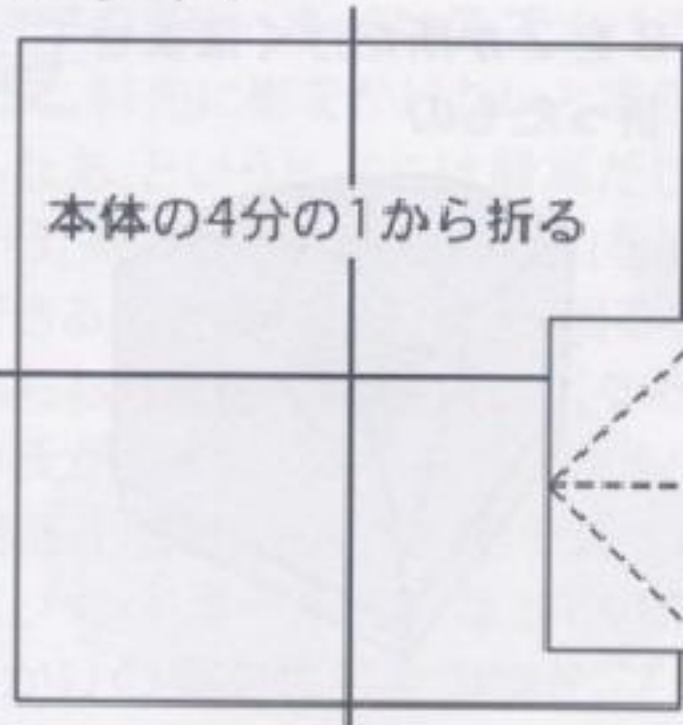


かぶせて折る



A

▶ 中当て ◀



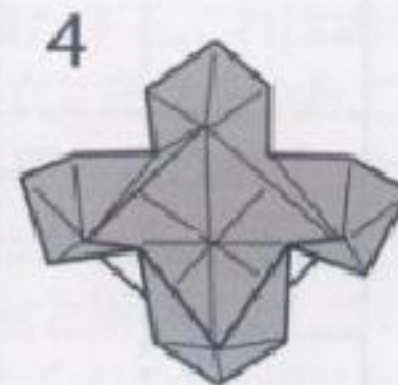
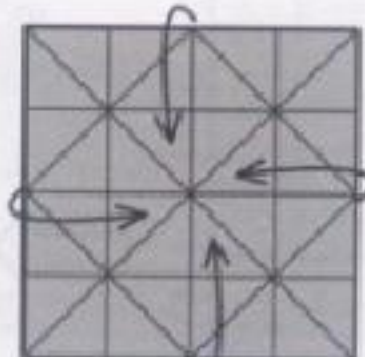
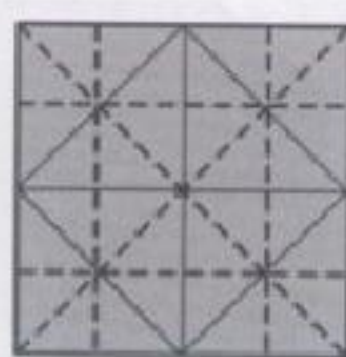
本体の4分の1から折る

1

2

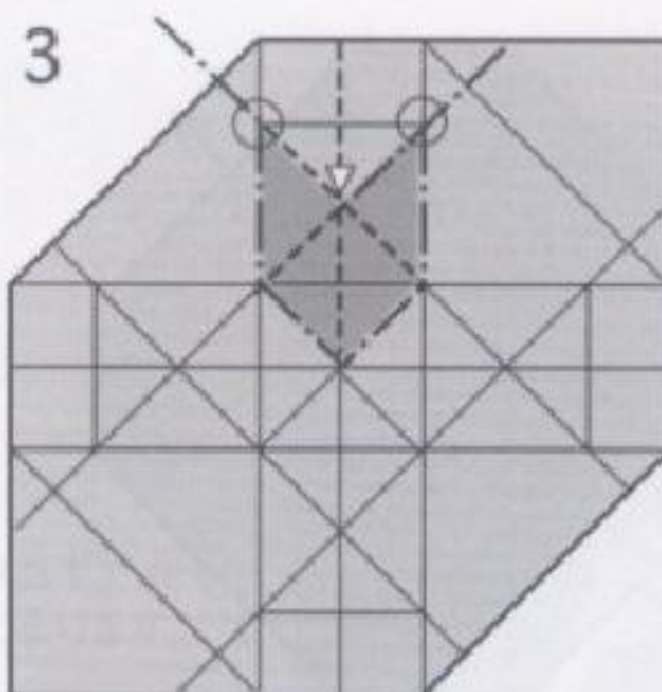
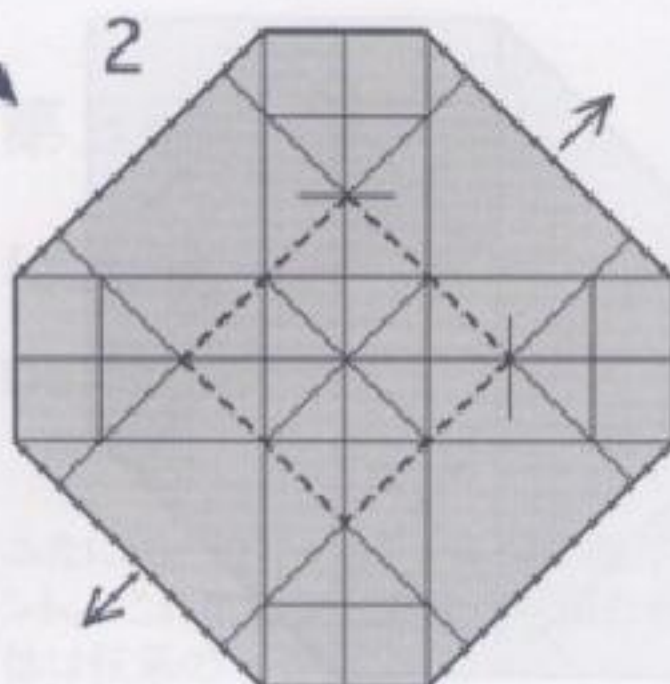
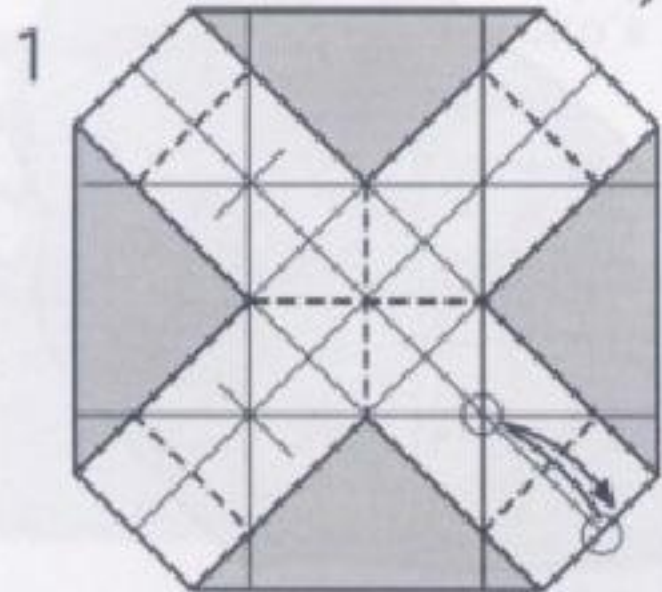
3

4



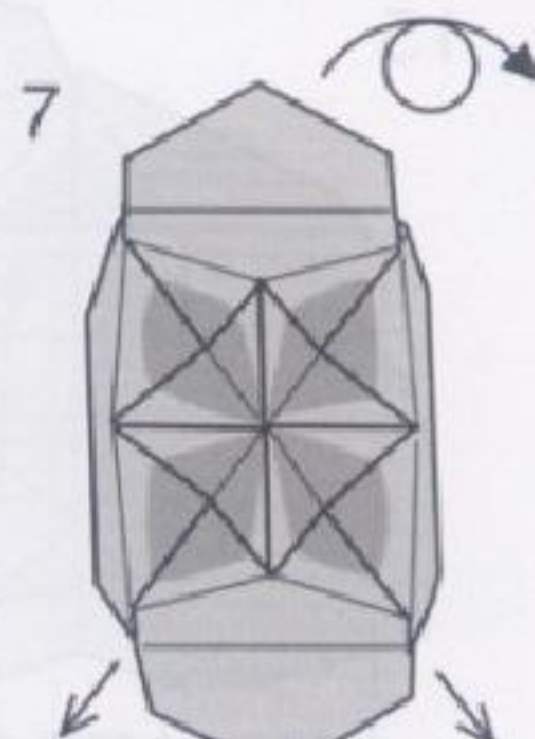
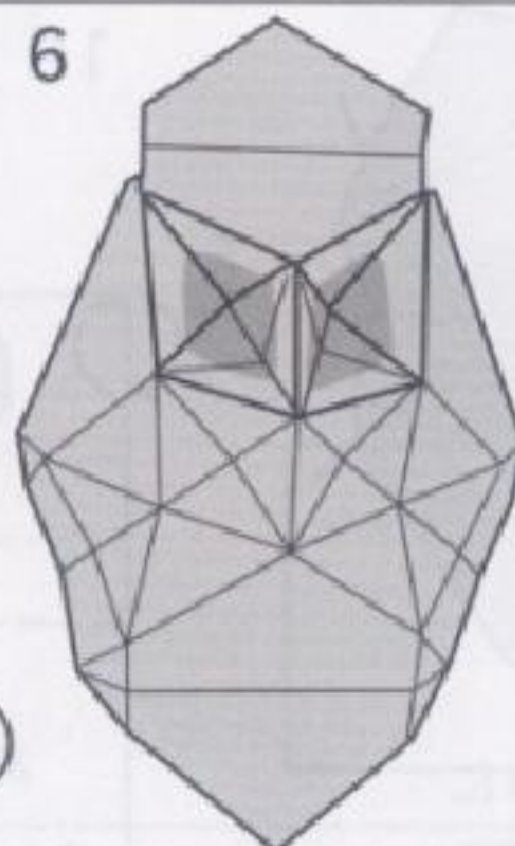
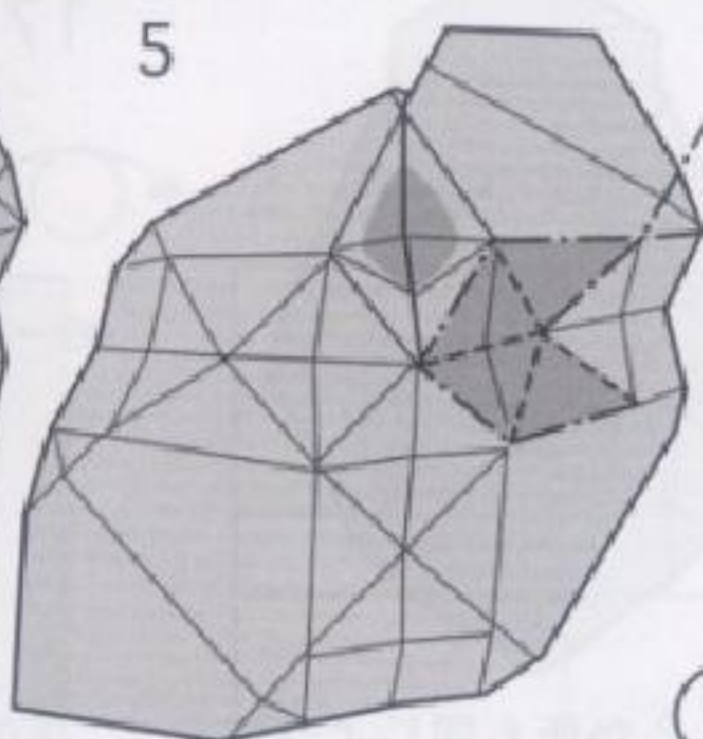
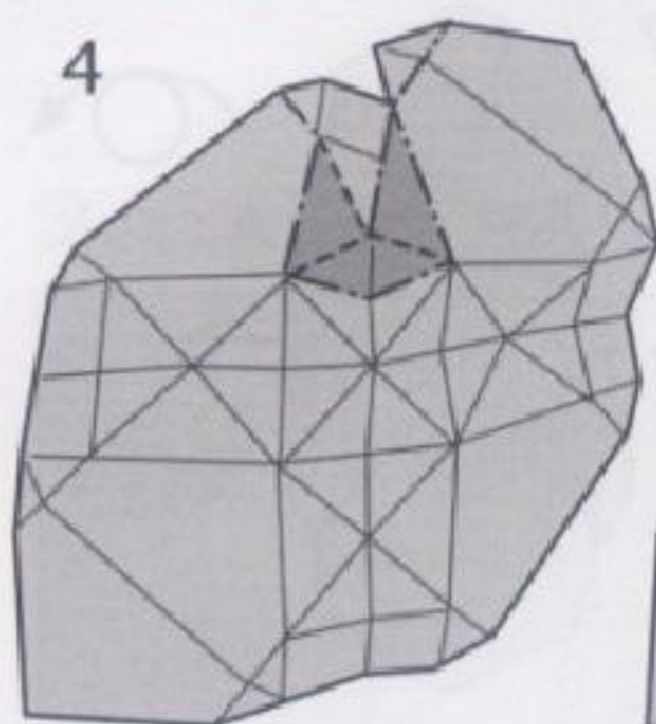
折り線どおりに
4 辺を中央に寄せる

ふた：B Aの11から



折り線をついたら開く

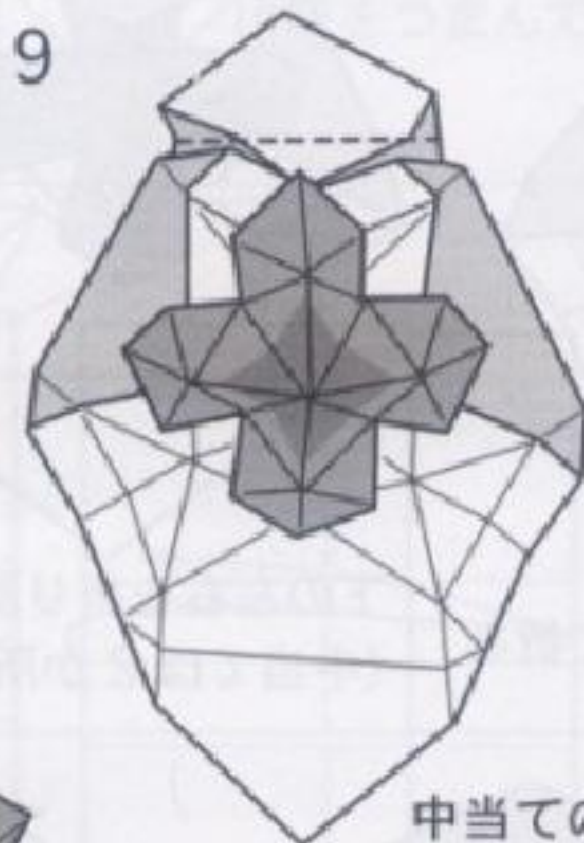
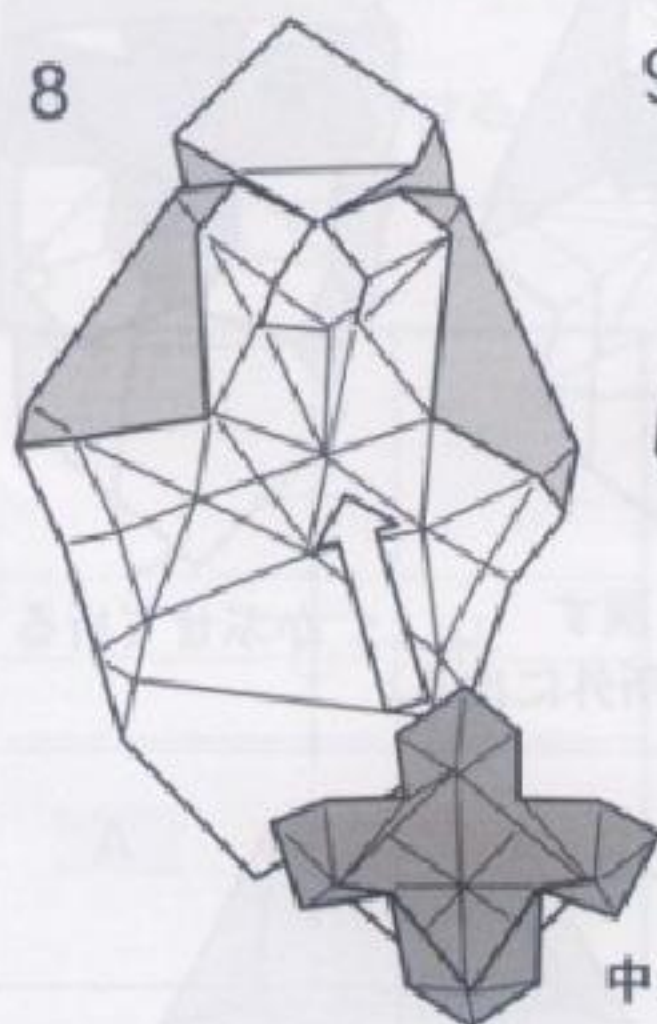
○印を合わせて、矢印をくぼませる（内側は8参照）



ひだは後ろに折る

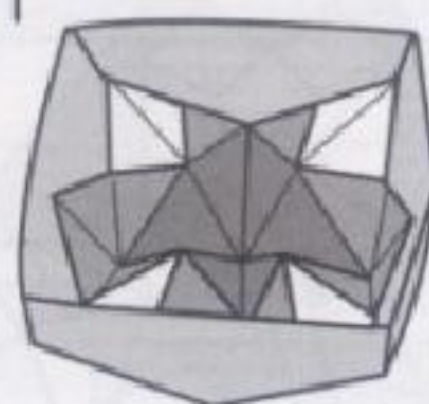
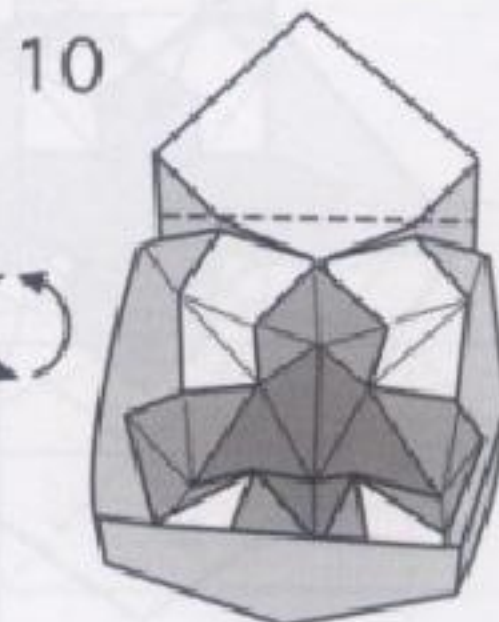
あと2か所も同じように

下の2か所を
いったん開く



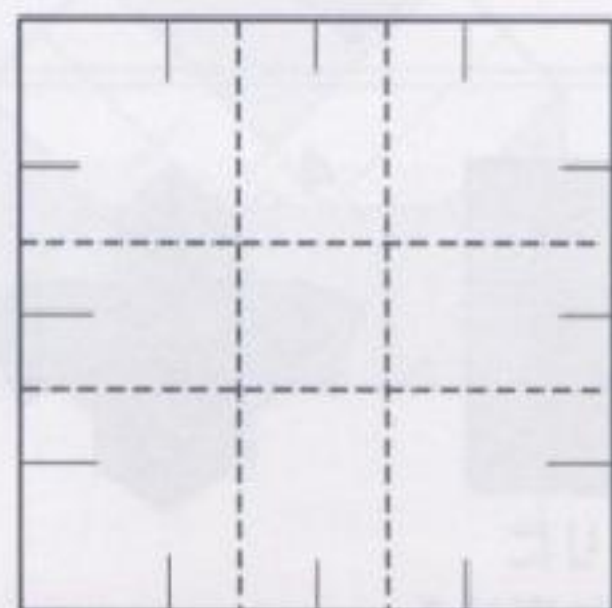
中当てのかどに
かぶせて折る

中当てをのせる

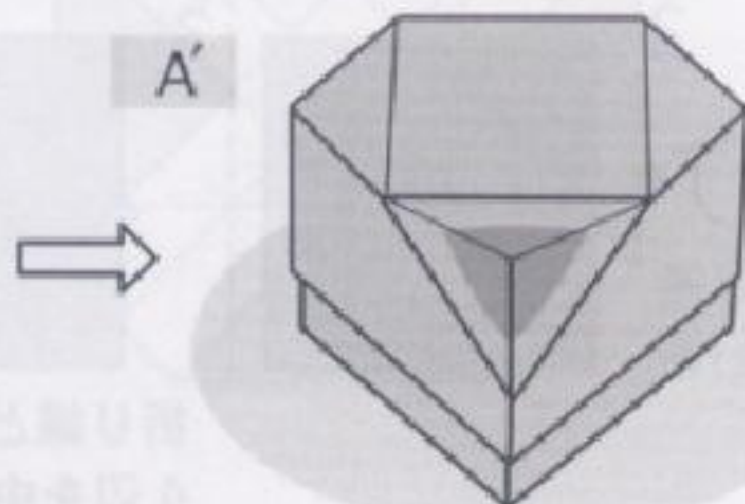


B

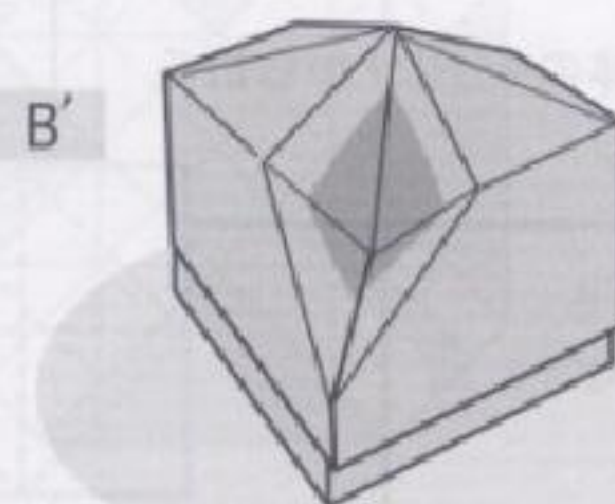
▶ 参考 ◀



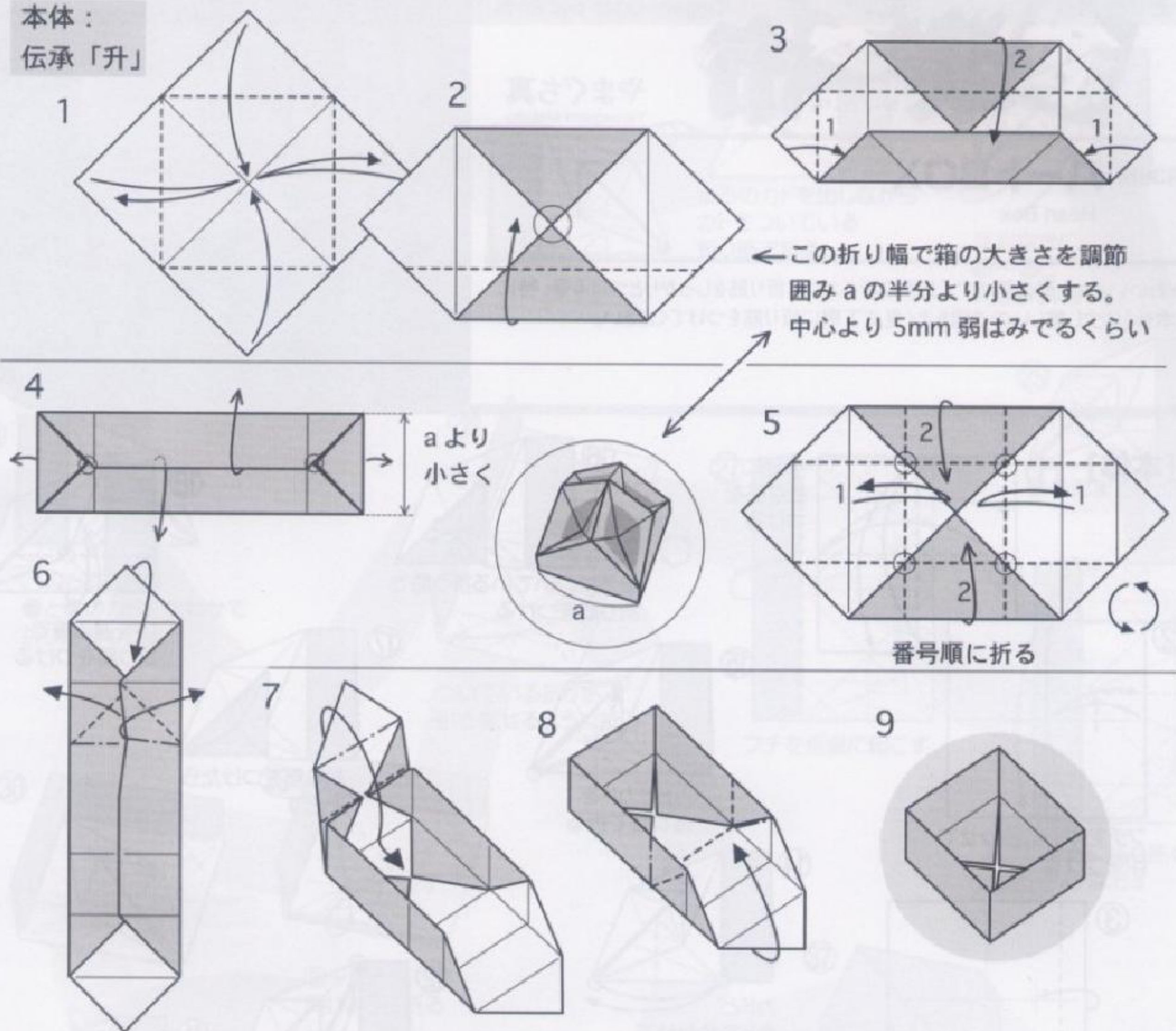
はじめによけいな線が出ないように
折り線をつけ、Aを2か所だけ
くぼませて折ったもの



Bを2か所だけくぼませて
折ったもの



本体：
伝承「升」



折り紙の 周辺

第37回
蜂
Wasps

Origami and
Its Neighbors

布施知子 Fuse Tomoko

夏の初め、キイロスズメバチが軒先に巣をかけたいと言う。困るなあ、という、ここは最高だし、という。茶の間から向かいの山を展望できる細い濡れ縁の真上。困るなあ。おちおち景色も眺められなくなる。タロ氏がカインズホームでスズメバチ用高圧噴射「キルノック」を買ってきて、ハンドボール大になっていた作りかけの巣を竹竿でつつき、ブシュ

シューと噴射した。

その夜テレビを見ていると、生き残りの数匹が茶の間に入り込んでいて、蛍光灯の周りをズビズと飛び「あんなことされちゃあ困るなあ」と、蛍光灯につもった埃を落としながら私たちに苦情を申し立てた。

数日後キイロスズメバチは、こんどは茶の間と並びの私の仕事部屋の前に新しく築城を始めた。困るなあ。おちおち折り紙もできなくなる。2回目の巣がハンドボール大になったころ、「キルノック」をもうひと缶買ってきて、ブシュシュー。

この原稿を書いている8月23日、キイロスズメバチの残党は懲りずに、すぐ隣に3回目の巣を作り始めている。現在ソフトボール大。社会を作り生活史をまっとうするのに間に合うのだろ

うか。今年は秋が早そうで、そろそろ長袖が欲しい。キイロスズメバチはもう何も言わずせっせと巣を作っている。ハチはこちらが何もしなければまず刺さないが、人の生活空間とあまりにも近いと、困る。

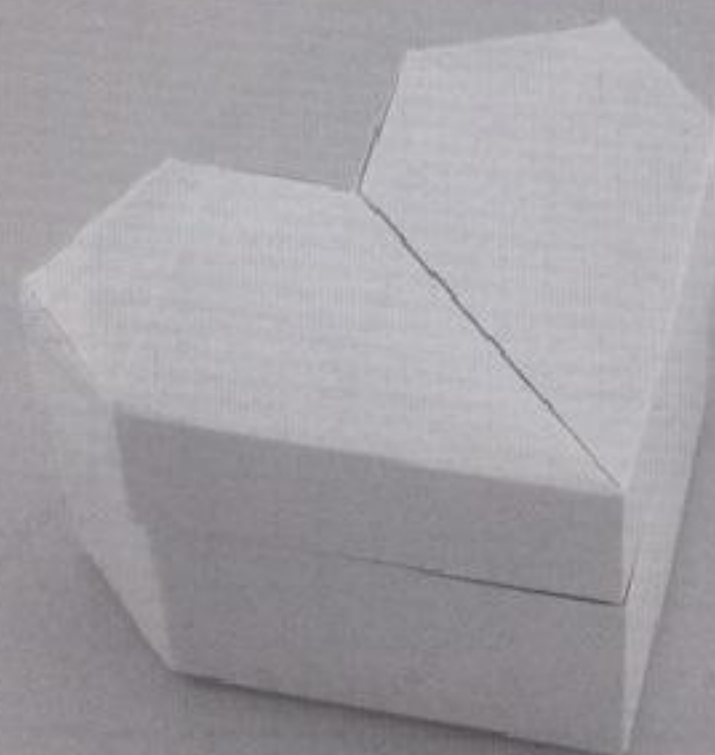
オオハキリバチも家の中に巣を作っている。こちらは筒に巻いた紙の中。単独でいるのでそう困らない。ドロバチはもうあちこちに巣を作っている。あらゆる棚の隅。引き出しの角。カーテンのひだ。おっと、パソコンのそばで羽音がする。これは困る。ああ、よかった。穴にピンをいれて高さを調整できる棚の穴の中だった。

ハチはせっせと巣と外を行き来し、私はせっせと折り紙をしている。私もキイロスズメバチと同じかもしれない。

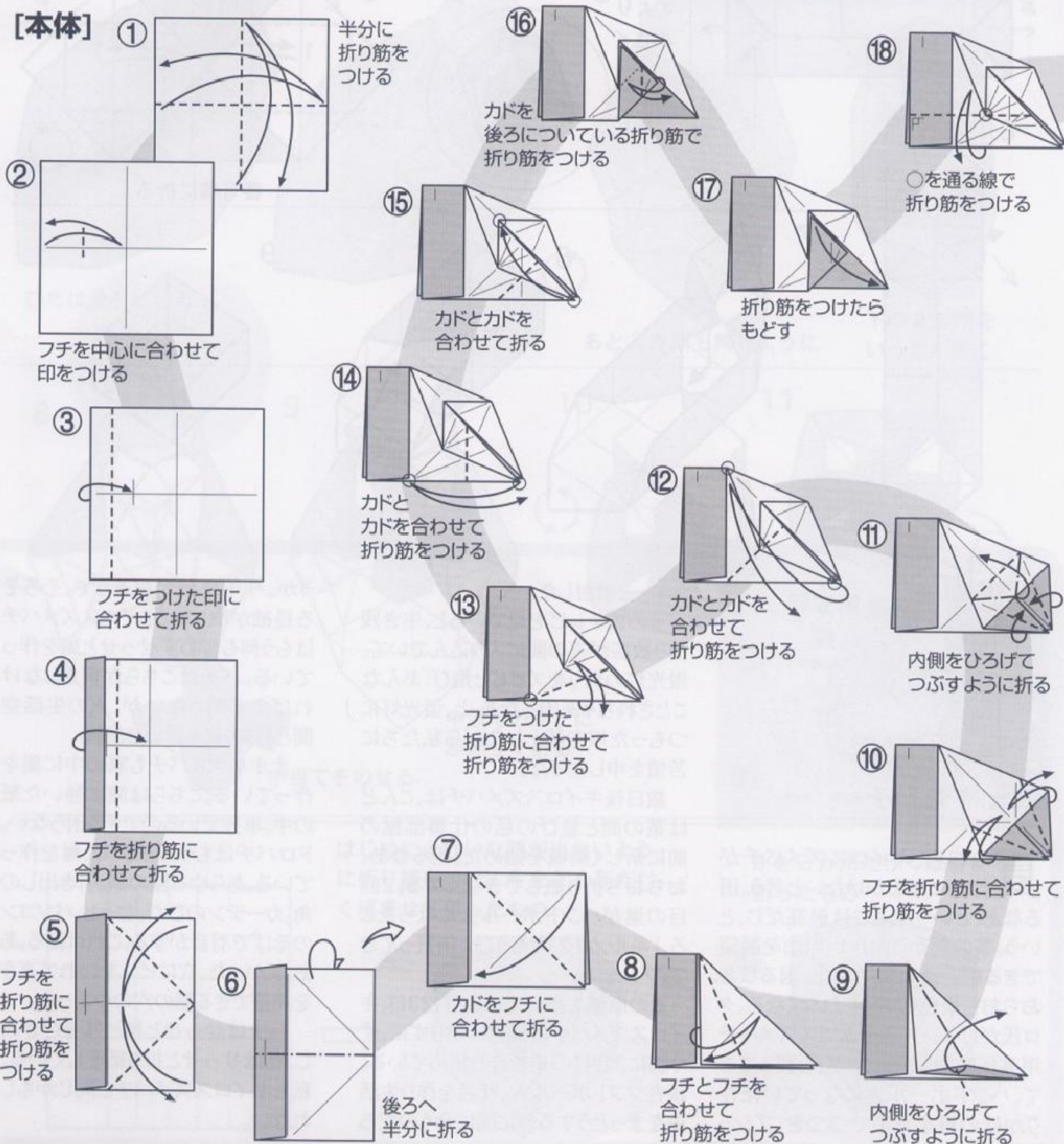
第38回 ハートBOX

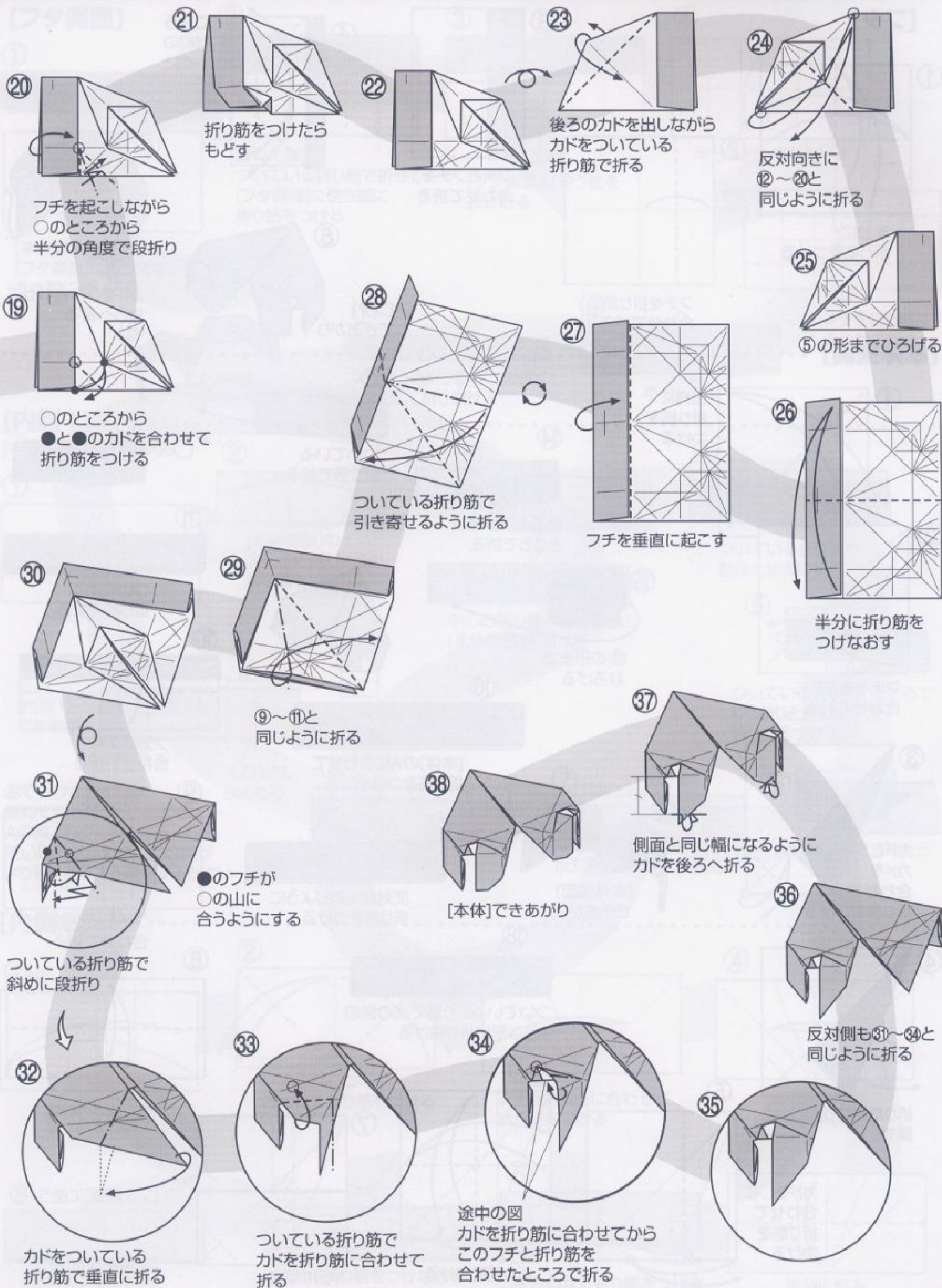
Heart Box

かわいいハート形の箱です。上手に折るコツは折り筋をしっかりつける事、特に[本体]は少し難しいので図をよく見て丁寧に折り筋をつけてください。

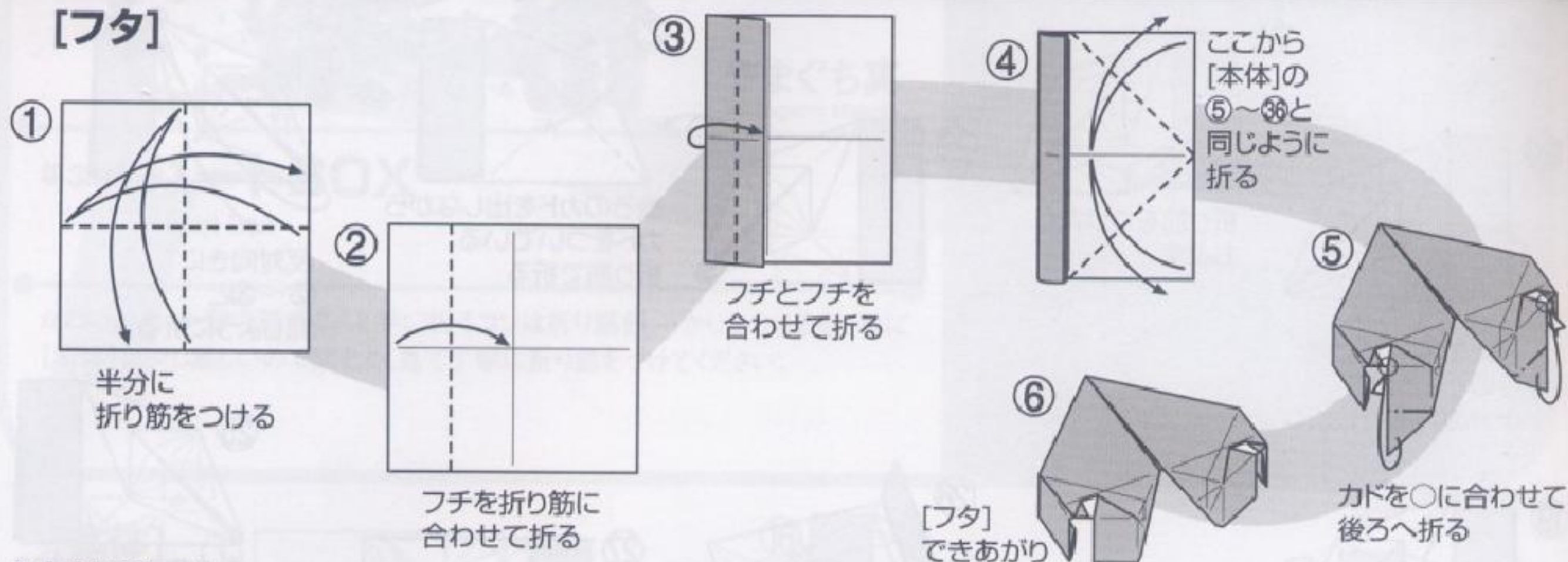


[本体]

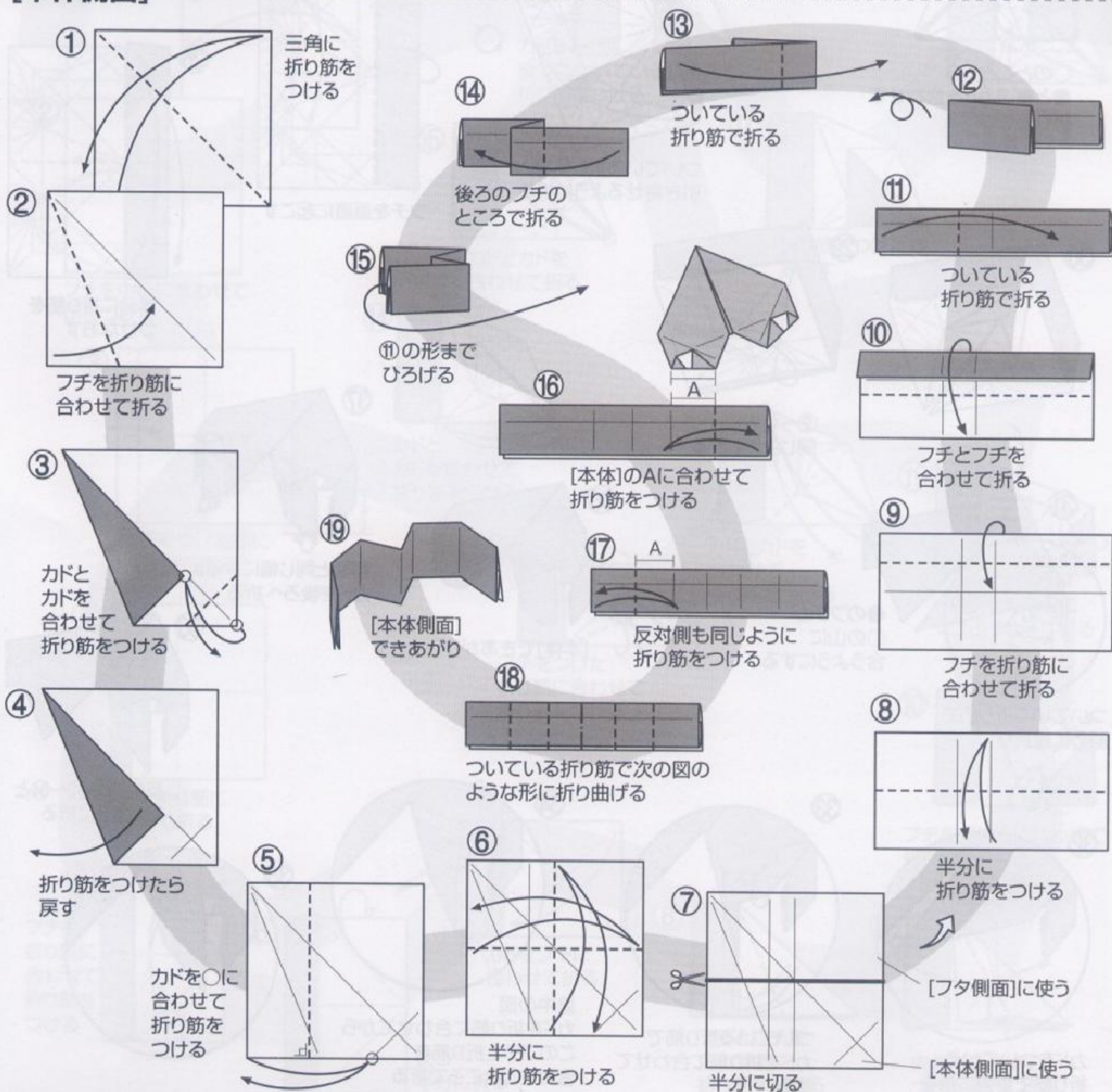




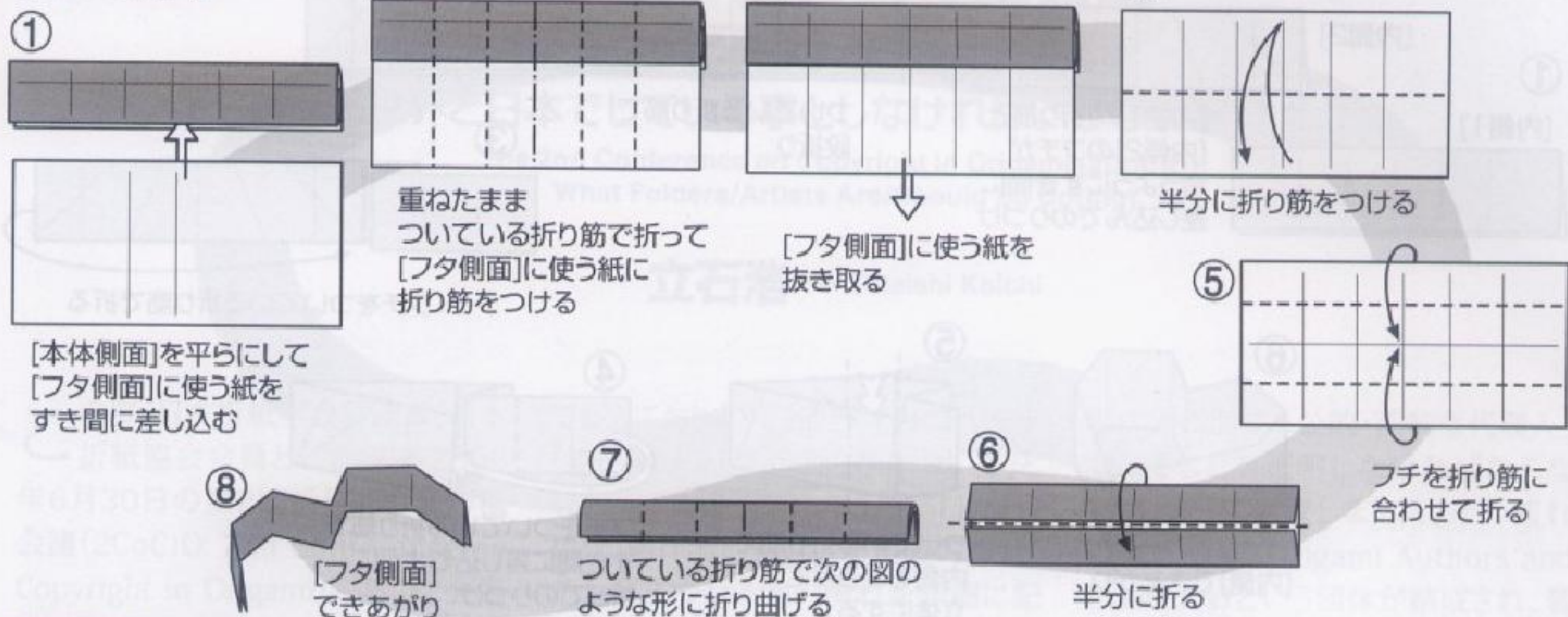
[フタ]



[本体側面]

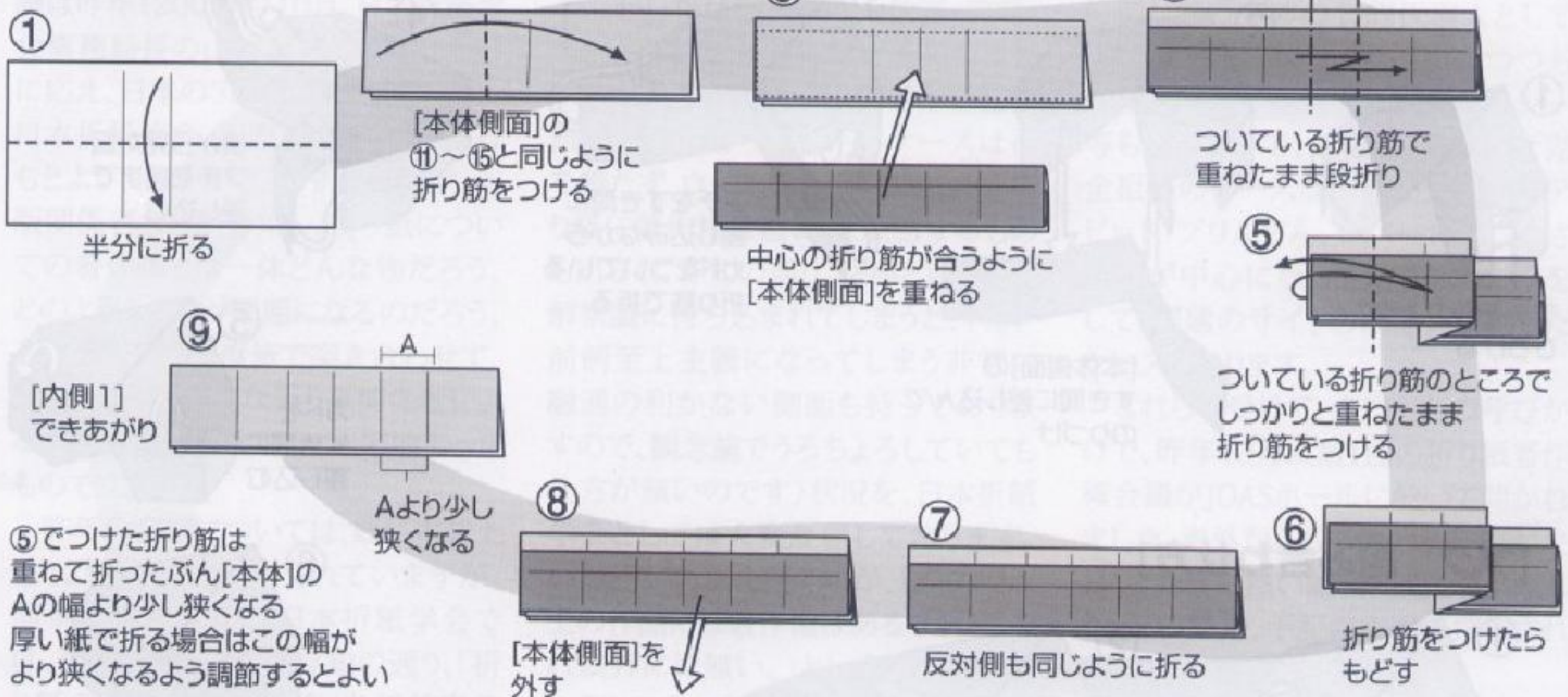


[フタ側面]

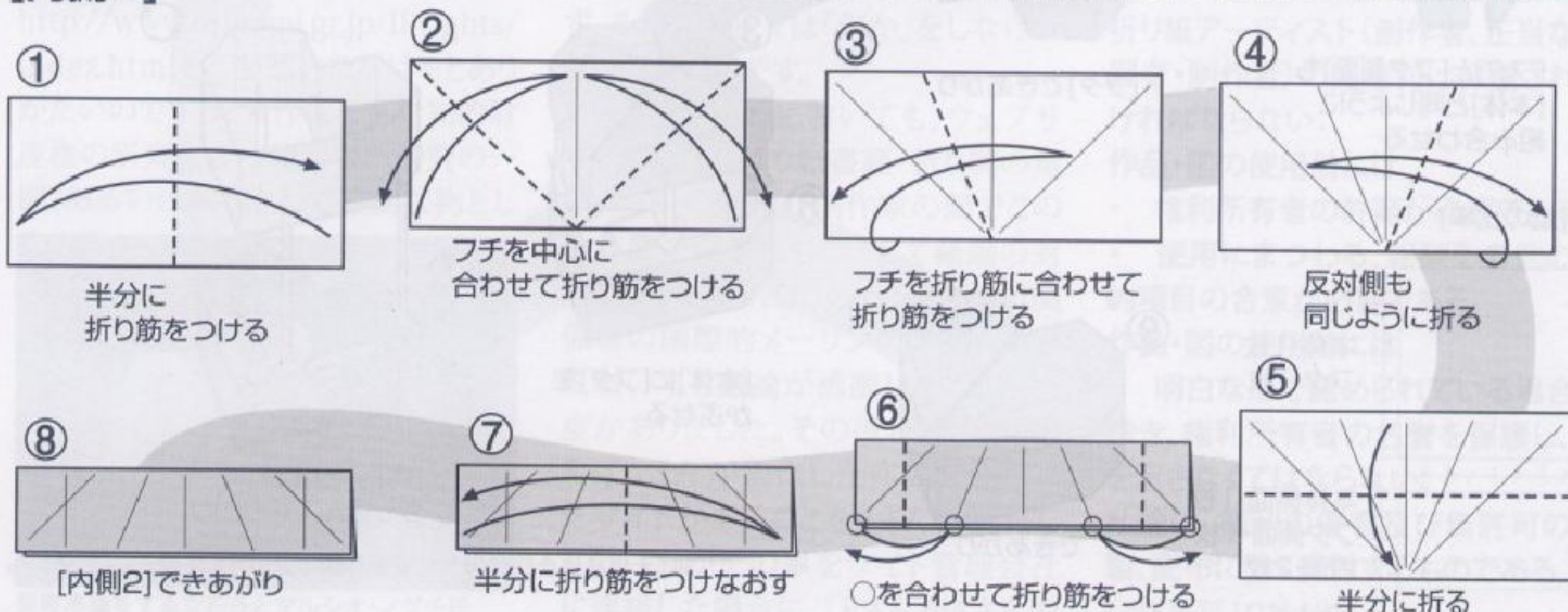


[内側1]

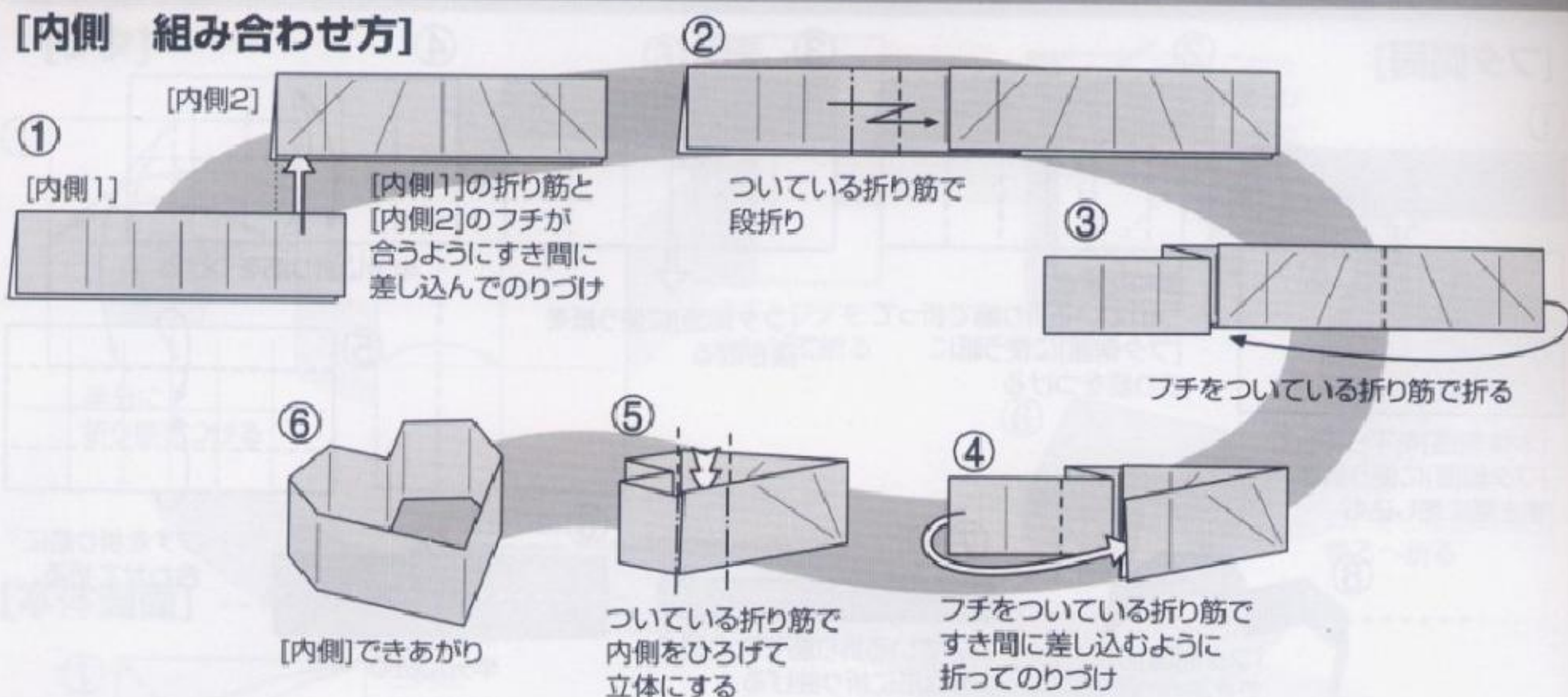
[本体側面]の⑧から折る



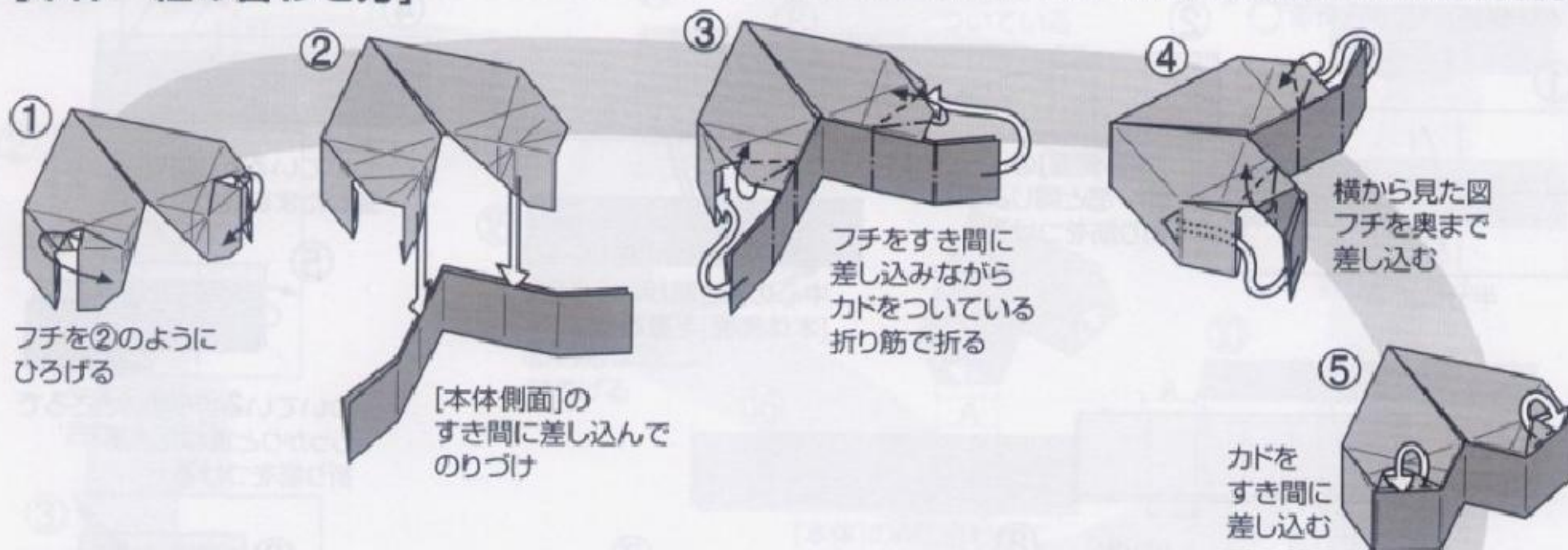
[内側2]



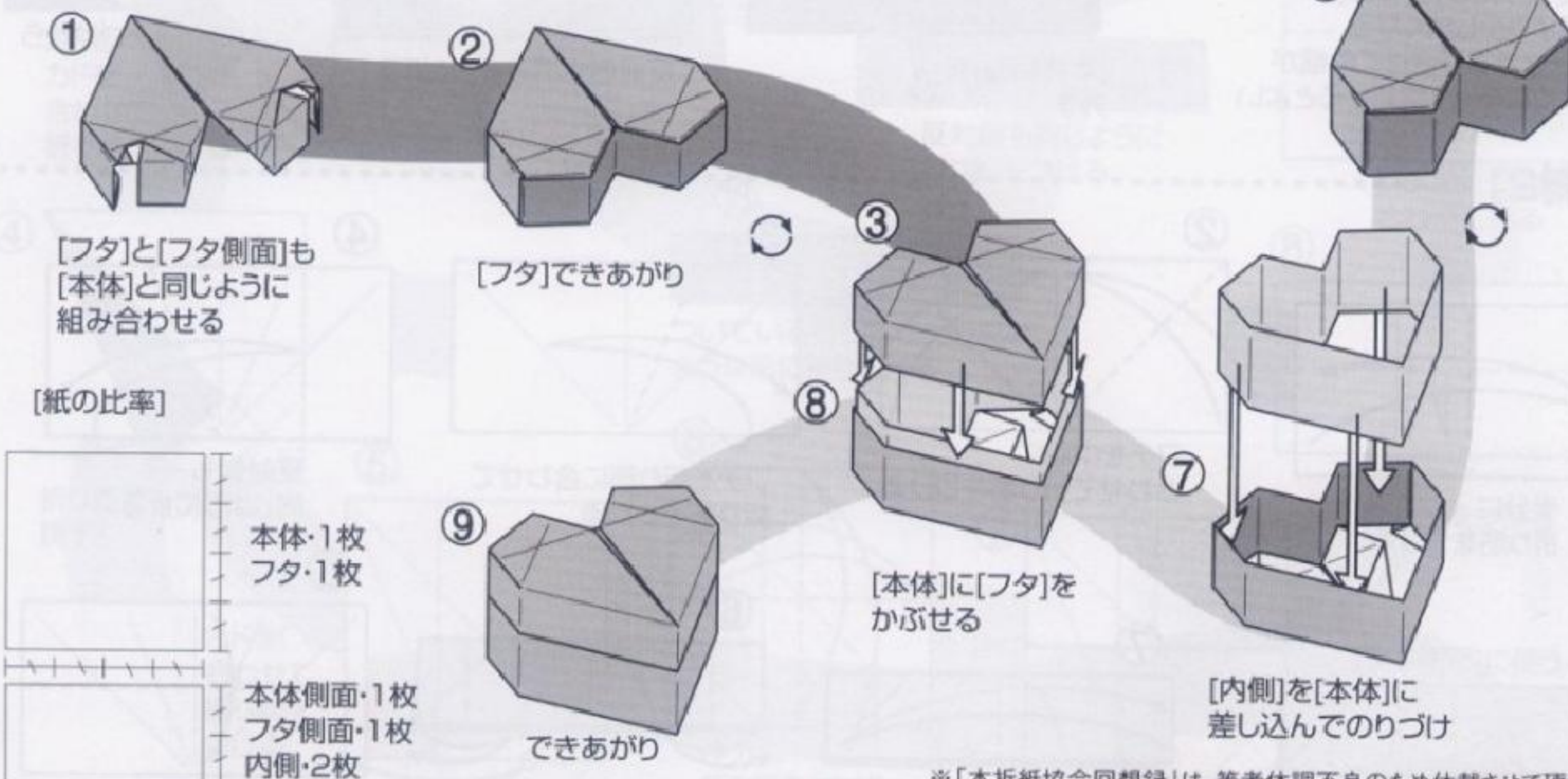
[内側 組み合わせ方]



[本体 組み合わせ方]



[フタ 組み合わせ方]



※「本折紙協会回想録」は、筆者体調不良のため休載させていただきます。

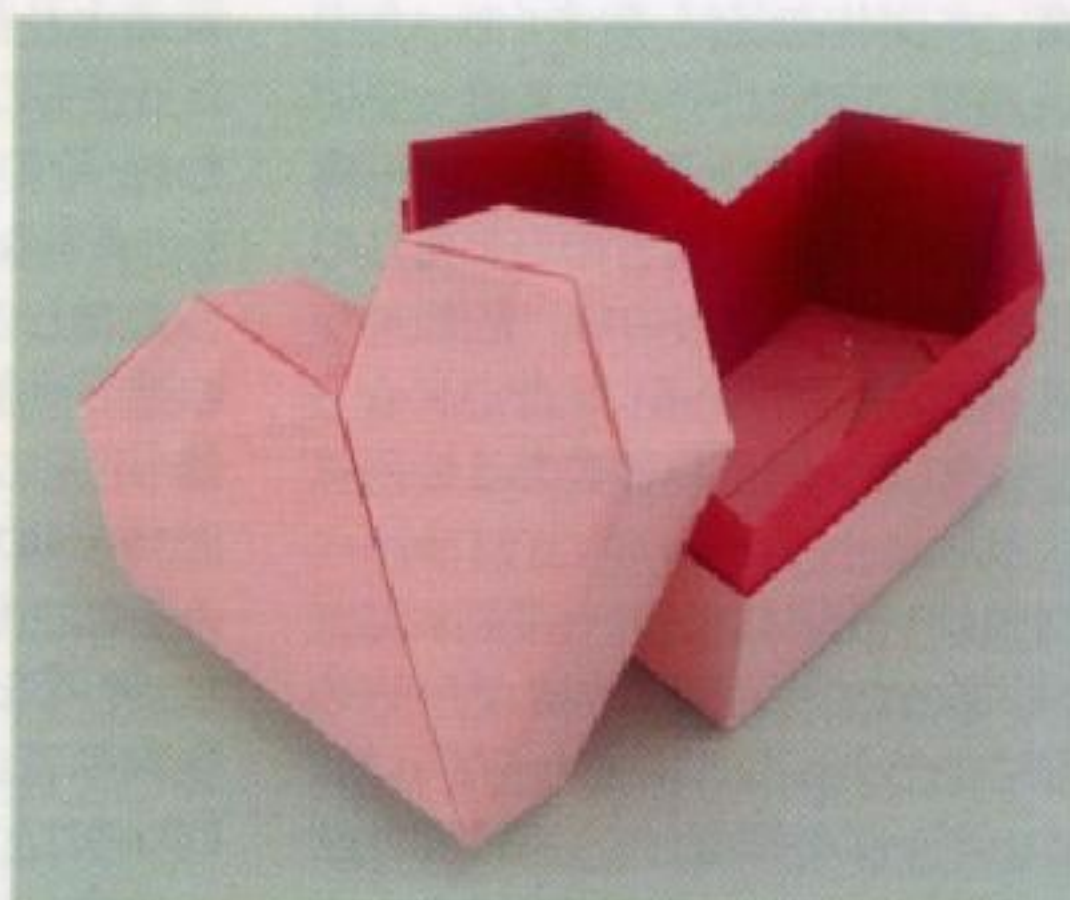
東京コンベンションが終わると涼しさが一気に加速。夏のあいだにちょっと無理をしたかな、というかたは要注意の時期なのでじっくり回復を。次の名古屋も万全の態勢で!



「ドームBOX」作：布施知子(P.4)

Domed Box: Fuse Tomoko (P.4)

■伝承の升の蓋としては、本体を少しずつ大きく浅くしてゆく「重ね箱」方式がすぐに思い浮かびますが、もっともっとファッショナブルになってもいいんだ!とあらためて気付かされました。蓋の裏側には補強パーツが組み込まれていて、配色を工夫して楽しむこともできます。普段は見えないところにも手を抜かない傾向が強い(?)折紙者にとっては嬉しい構造ですね。



「ハートBOX」作：やまぐち真(P.8)

Heart Box: Yamaguchi Makoto (P.8)

■ハート型の上部がへこんだ形状となっているところの折り出し方法がポイントで、そのためにちょっとだけ複雑な工程となっていますが、コツをつかめばあとは簡単。折り慣れたら用紙の質感にもこだわって、かわいらしい宝石箱を量産しましょう!



「チャボ(矮鶏)」作：北條高史(P.34)

Bantam: Hojyo Takashi (P.34)

■インサイドアウト技法は、作品に強い視覚的インパクトを与えるために有効な手段のひとつ。しかし、両面の色が異なる折りやすい紙で、一定以上の大きなものはなかなか見つけにくいという問題もあります。今回は紙の片面を塗装してみました。今後さらにこの技術を発展させるべく模索してゆく予定です。

第3回 JOAS創作折り紙コンテスト受賞作品 The 3rd JOAS Origami Model Design Contest Awardees



JOAS賞 特別テーマ部門:「20」
JOAS AWARD: Special Theme Prize "20"
「20」 豊村高志
20: Toyomura Takashi

第15回折紙探偵団コンベンション展示作品より
Exhibits at the 15th Origami Tanteidan Convention



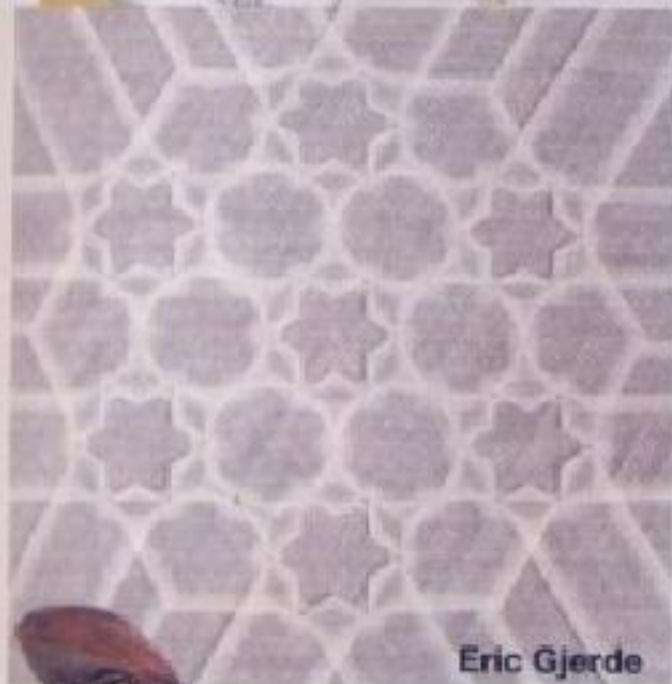
Brian Chan



Tran Trung Hieu



Nguyen Hung Cuong



Eric Gjerde



Funakoshi Ayaka



Fukuda Toru



Kasumi Seishi



Jason Ku



Komatsu Hideo



Stephan Weber

今年で3回目となる折り紙コンテスト。年々応募数が伸びて、今回は総数30作品を超える規模となりました。テーマをそれぞれに解釈(ときには脱線・妄想?)し、着眼点・技術面・見せ方の各要素に新鮮な驚きを盛り込んである作品群。創作や展示でレベルアップを目指している人は必見です。全応募作品の写真は折紙探偵団ホームページに掲載されています。

受賞者には
後日このような
箱が贈られます

おりがみはうす賞(テーマ指定なし)
ORIGAMIHOUSE AWARD
(Open Theme)
「くまさん」高橋志典
"Ursa Major":
Takahashi Yukinori



JOAS賞 干支部門:「トラ」
JOAS AWARD: Zodiac Prize "Tiger"
「屏風から飛び出す虎」田中幹人
Truly Lifelike Painted Tiger Breaking
Out of a Screen : Tanaka Mikito

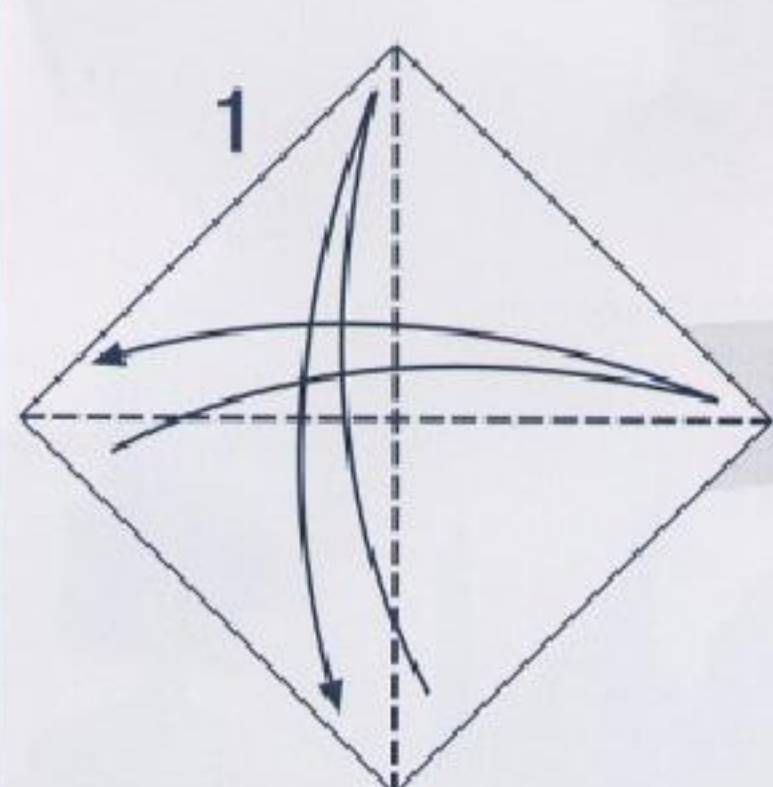
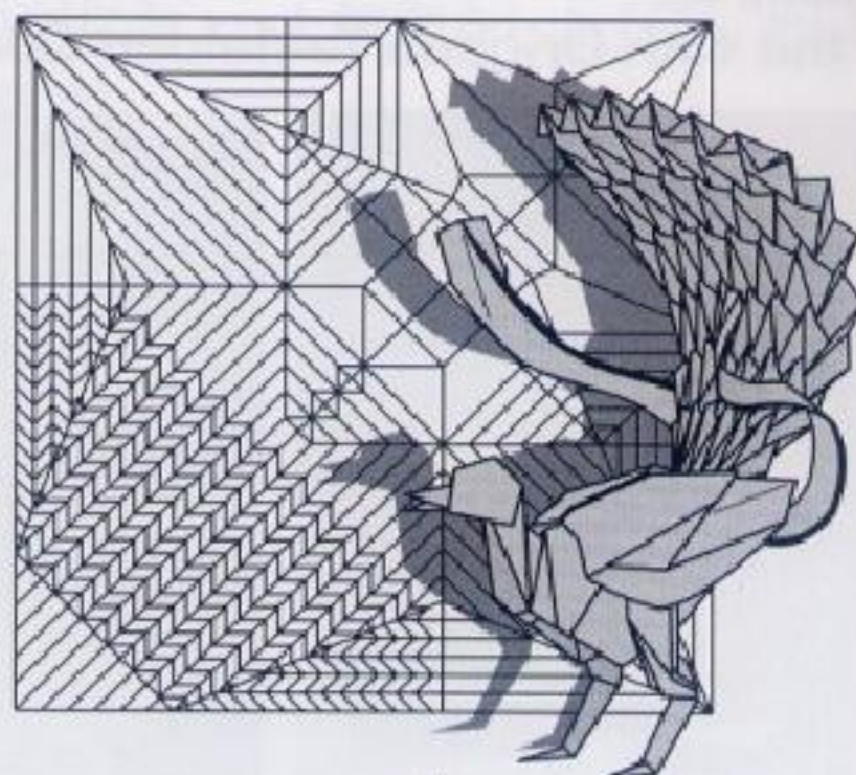


コトドリ Lyrebird

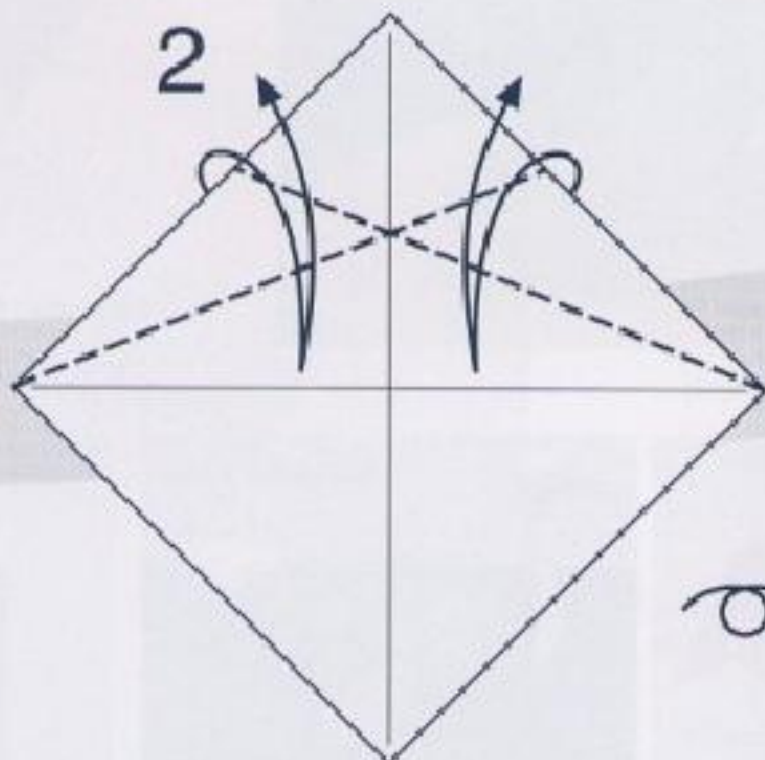
神谷哲史

Model & Diagrams by Kamiya Satoshi

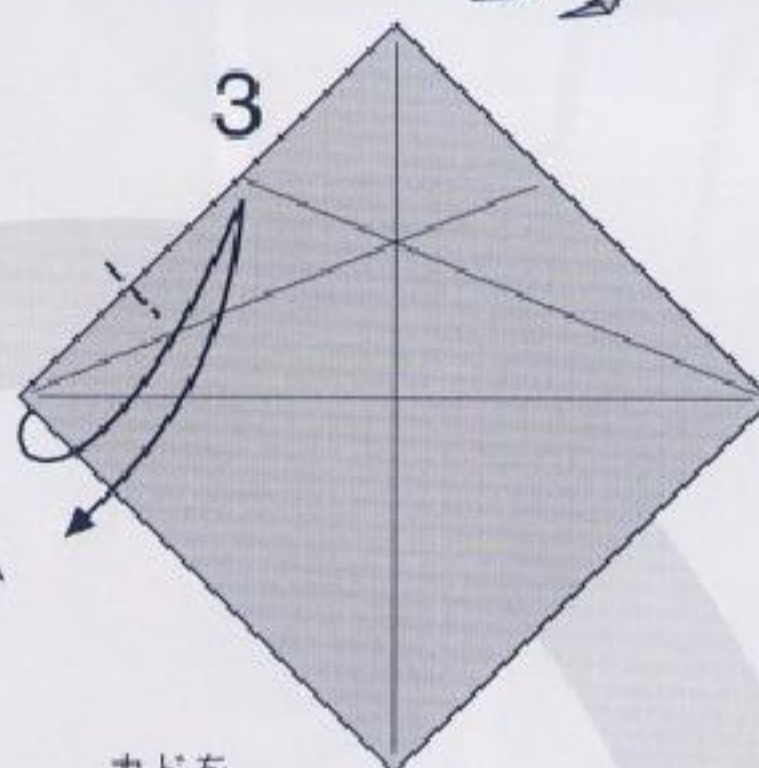
作 2005/08/17



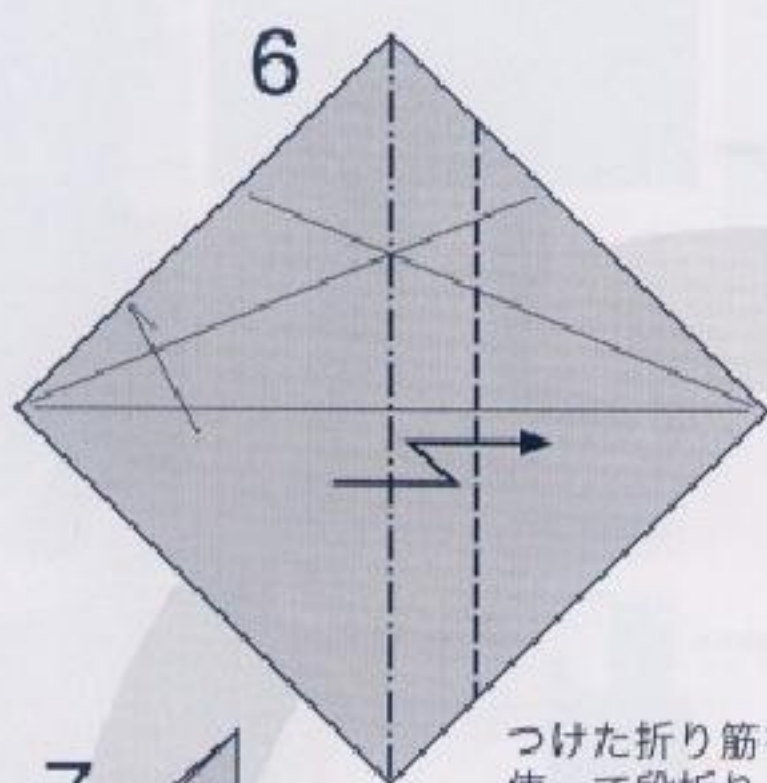
1
対角線に
折り筋をつける



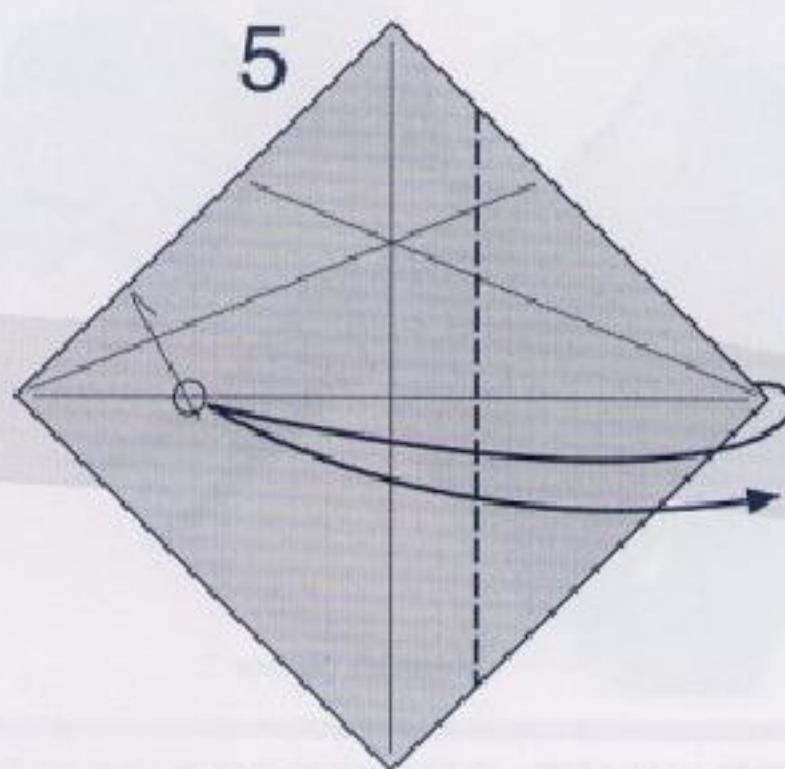
2
フチを対角線に合わせて
折り筋をつける



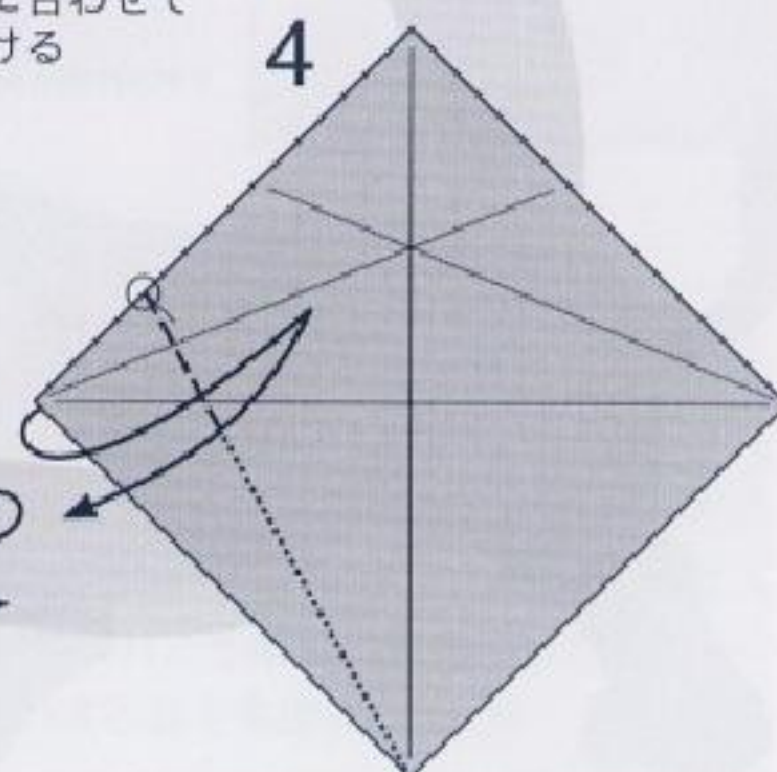
3
カドを
折り筋に合わせて
印をつける



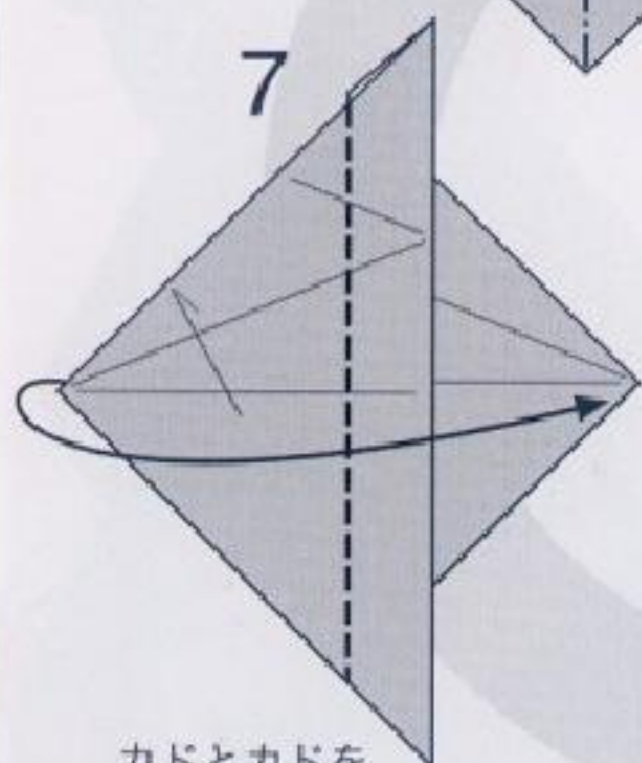
4
つけた折り筋を
使って段折り



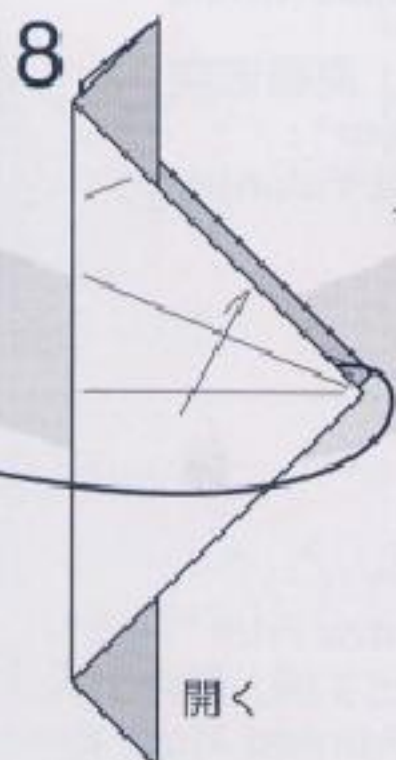
5
カドを○の交点に合わせて
折り筋をつける



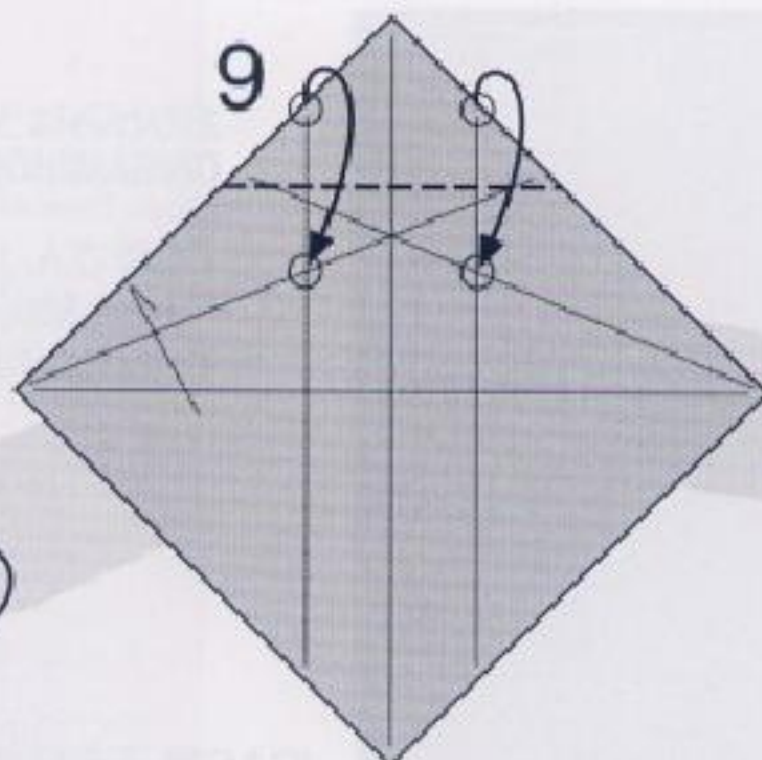
6
つけた印とカドを結ぶ線で
折り筋をつける



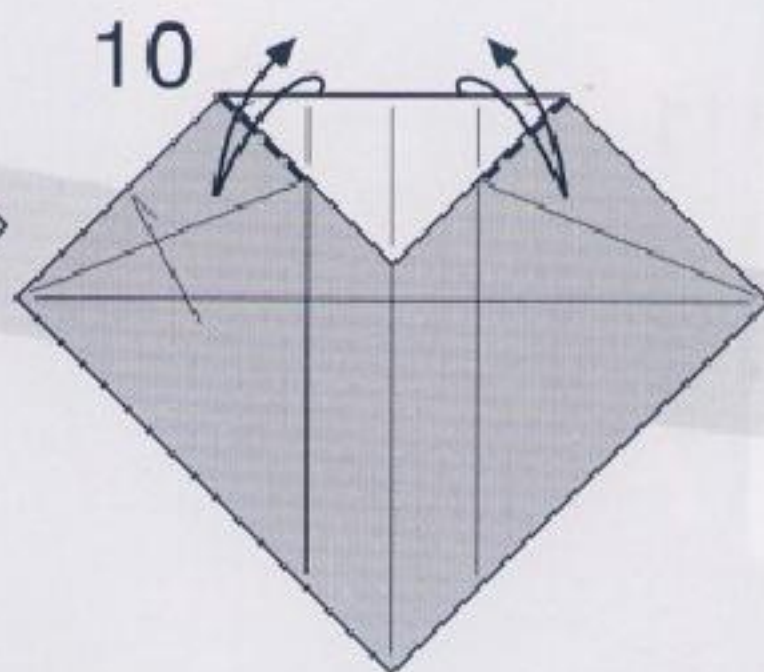
7
カドとカドを
合わせて折る



8
開く



9
○と○を
合わせて折る



10
フチのところで
折り筋をつける

19

1/6 の幅の
折り筋をつける

20

21

中割り折り

22

カドを折り筋に合わせて
折り筋をつける

18

カドをフチに合わせて
折り筋をつける

15

中割り折り

16

ついている折り筋を使って
フチとフチを合わせるように折る

15

14

半分に折る

13

カドを折り筋に合わせて
折り筋をつける

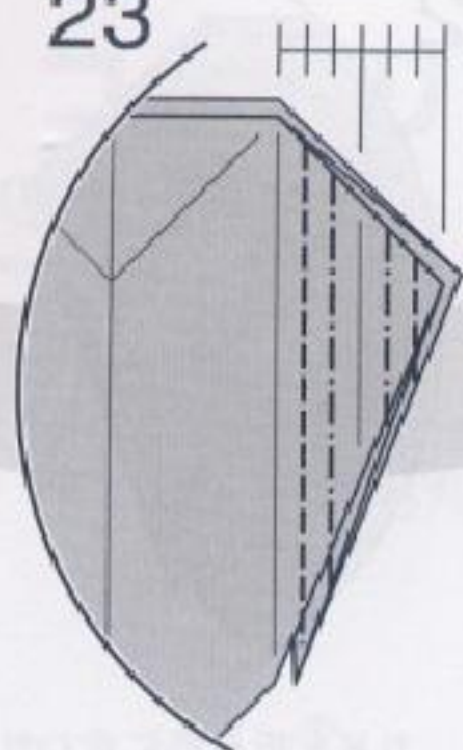
11

開く

12

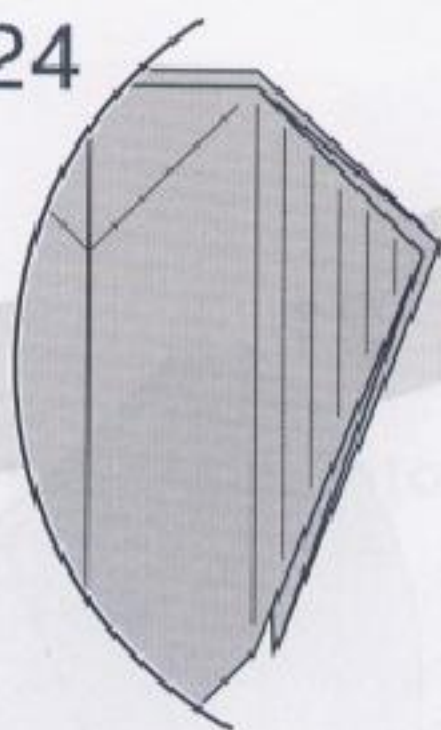
フチを折り筋に合わせて
折り筋をつける

23



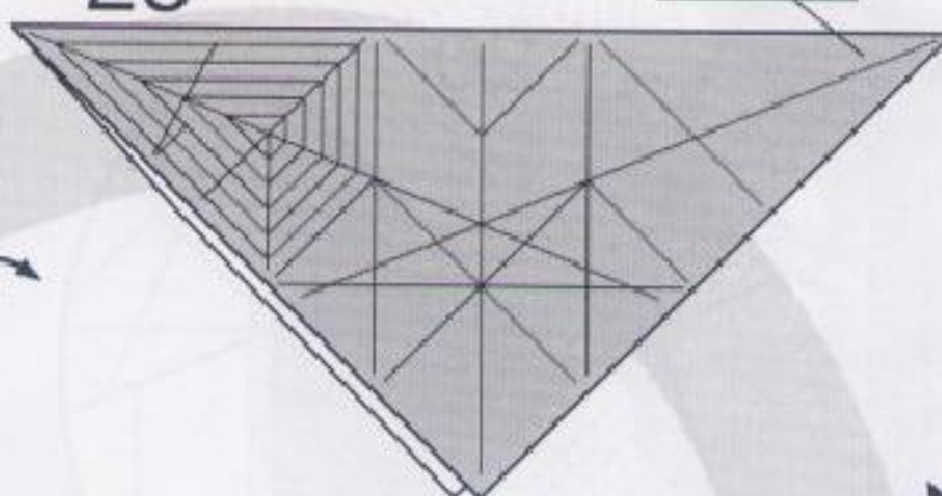
1/6 の幅の
折り筋をつける

24



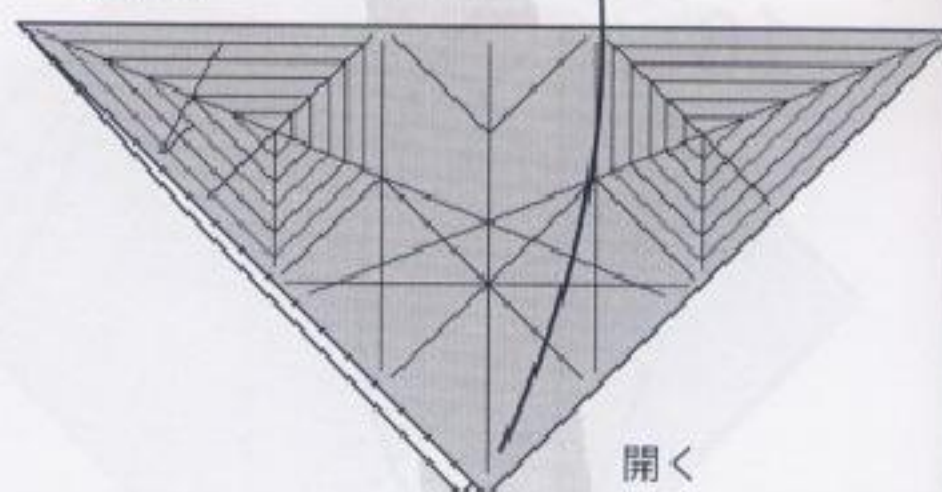
15 の形に戻す

25



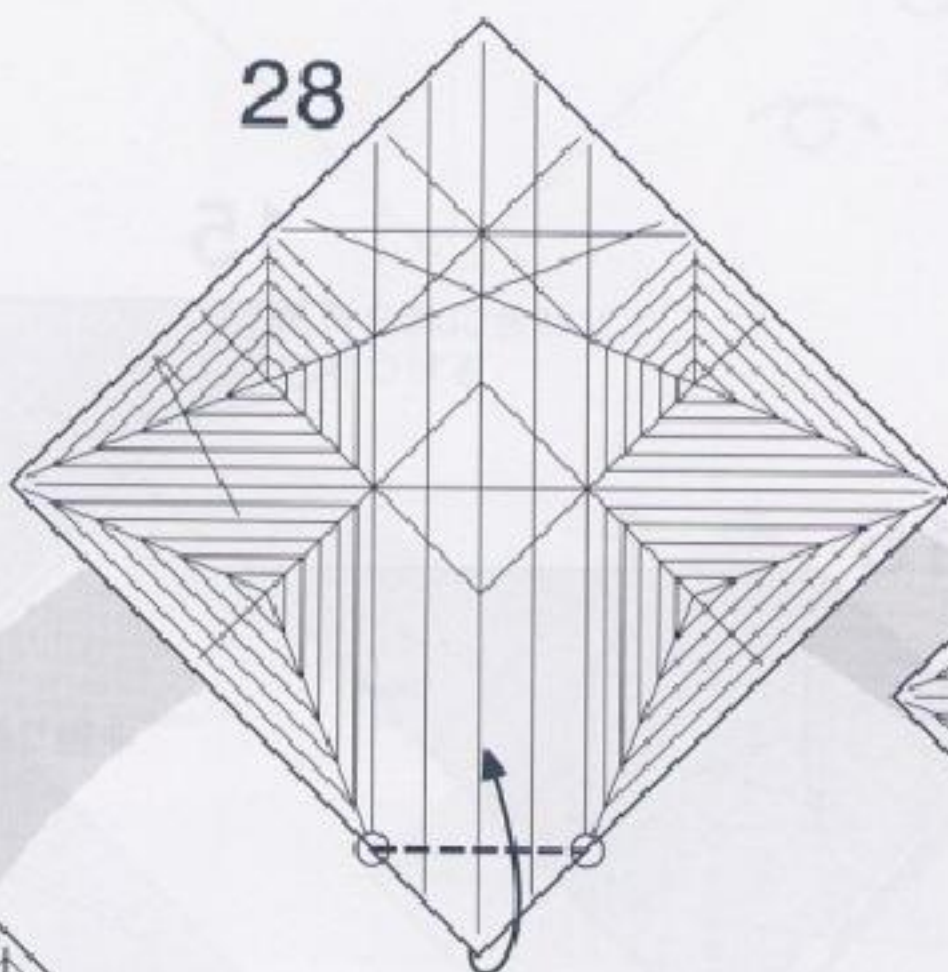
反対側も 15-24 と
同様に折る

26



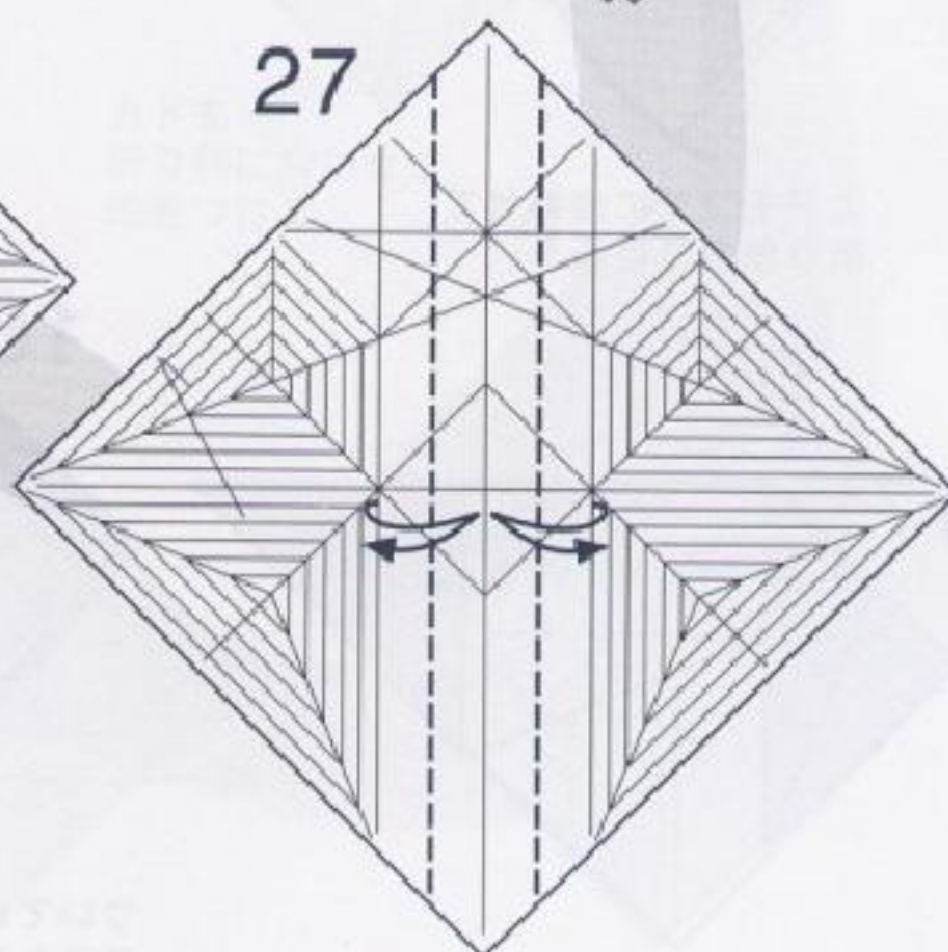
開く

28



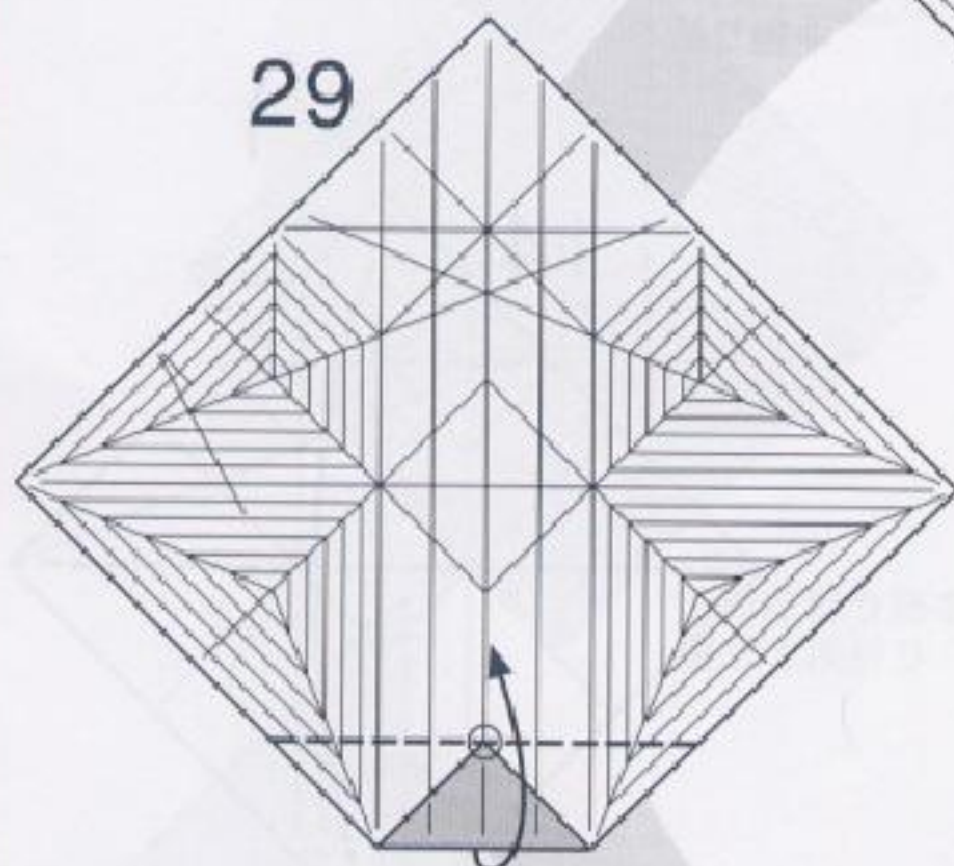
○を結ぶ線で折る

27



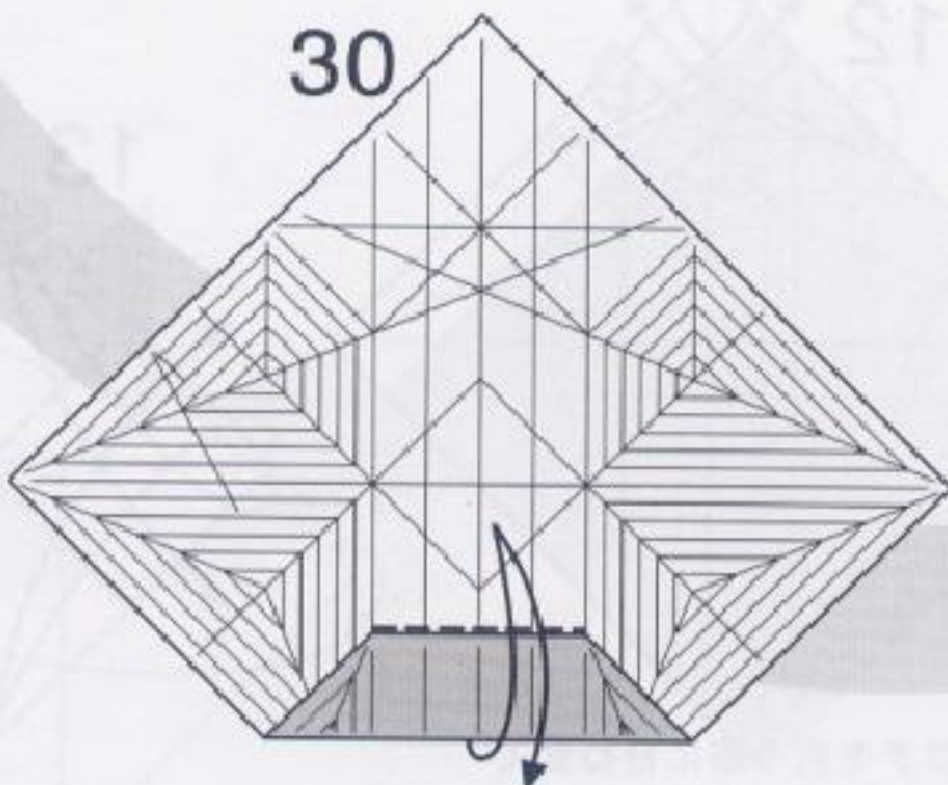
折り筋を中心に合わせて
折り筋をつける

29



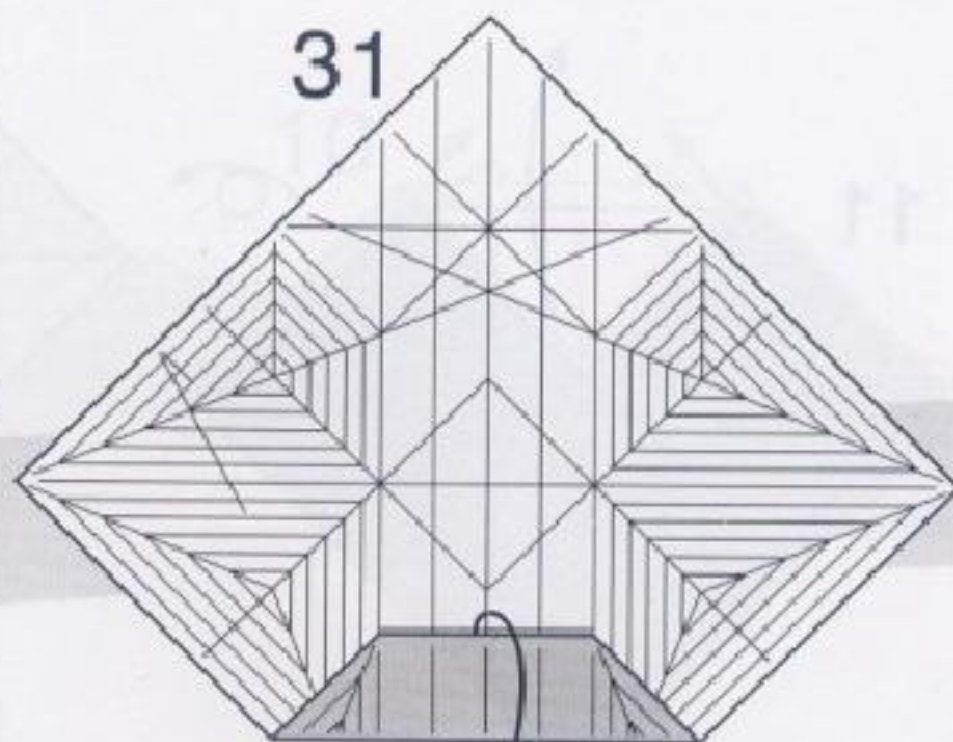
カドのところで折る

30



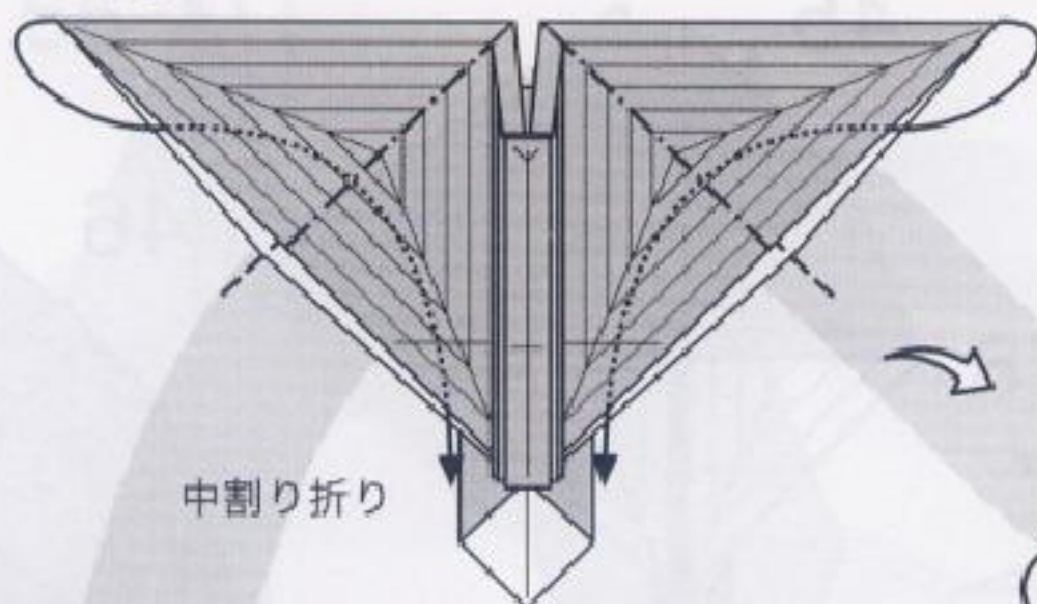
フチのところで
折り筋をつける

31



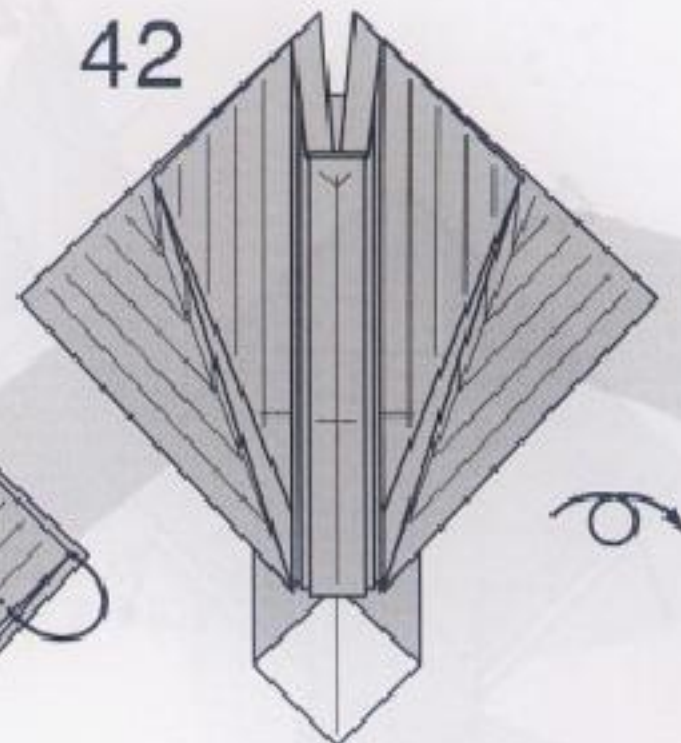
開く

40

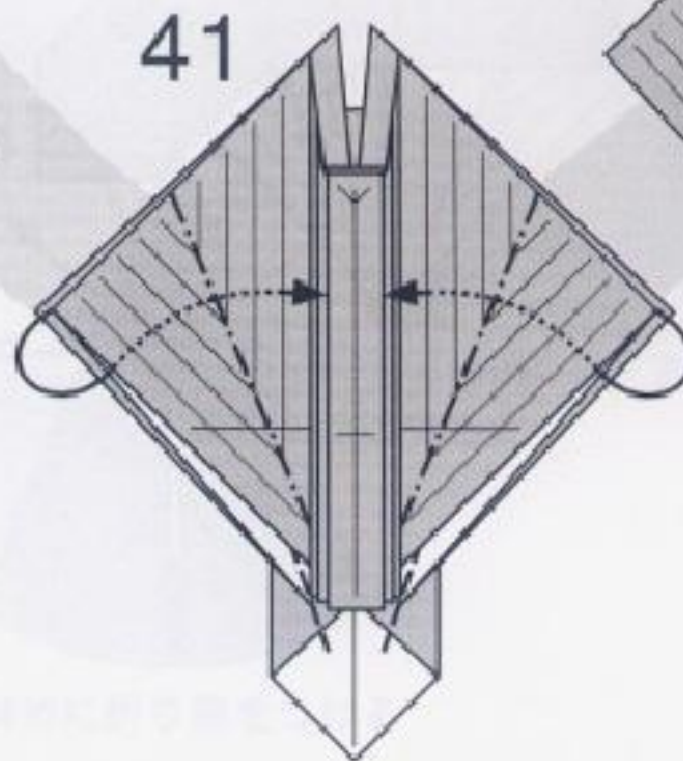


中割り折り

42

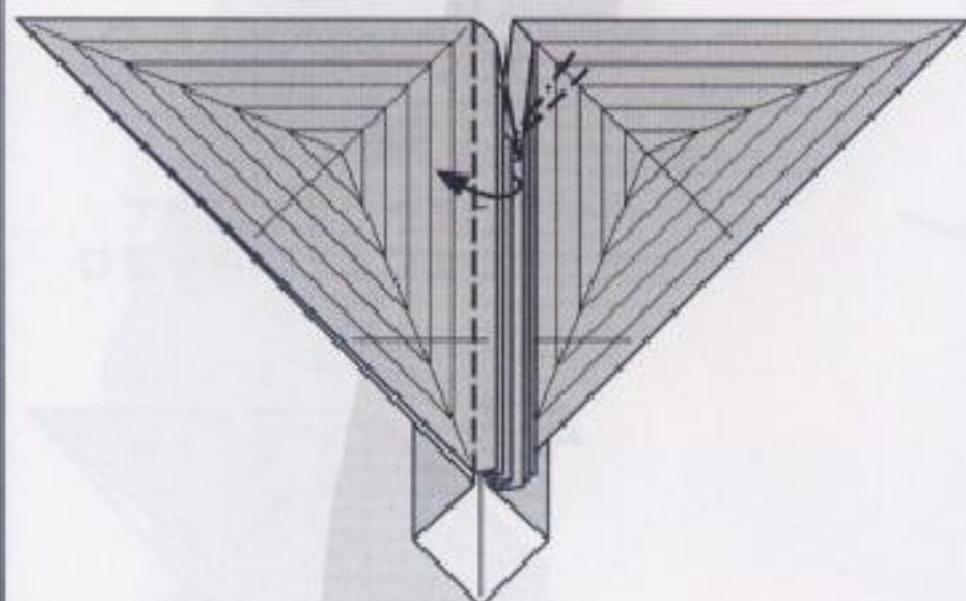


41



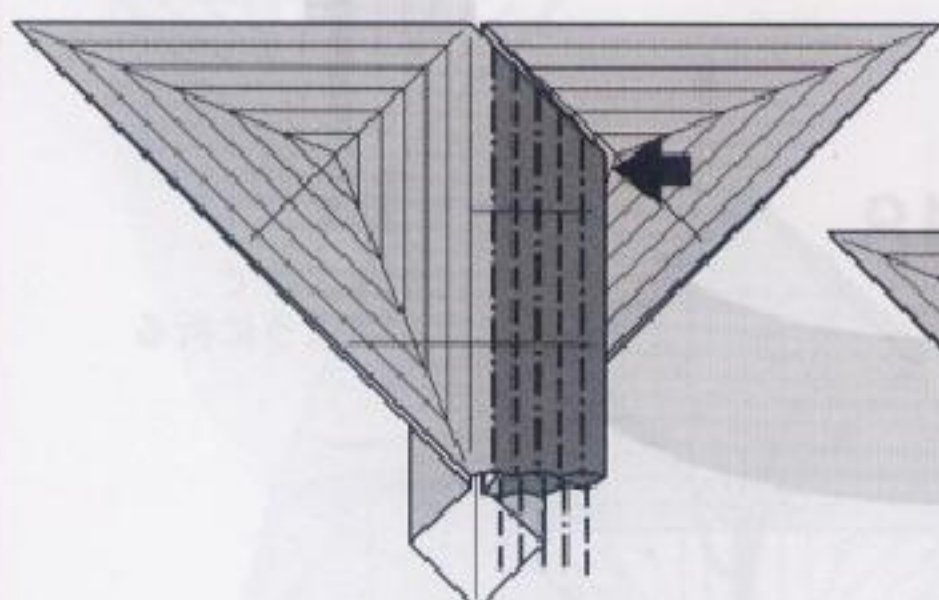
中割り折り

39



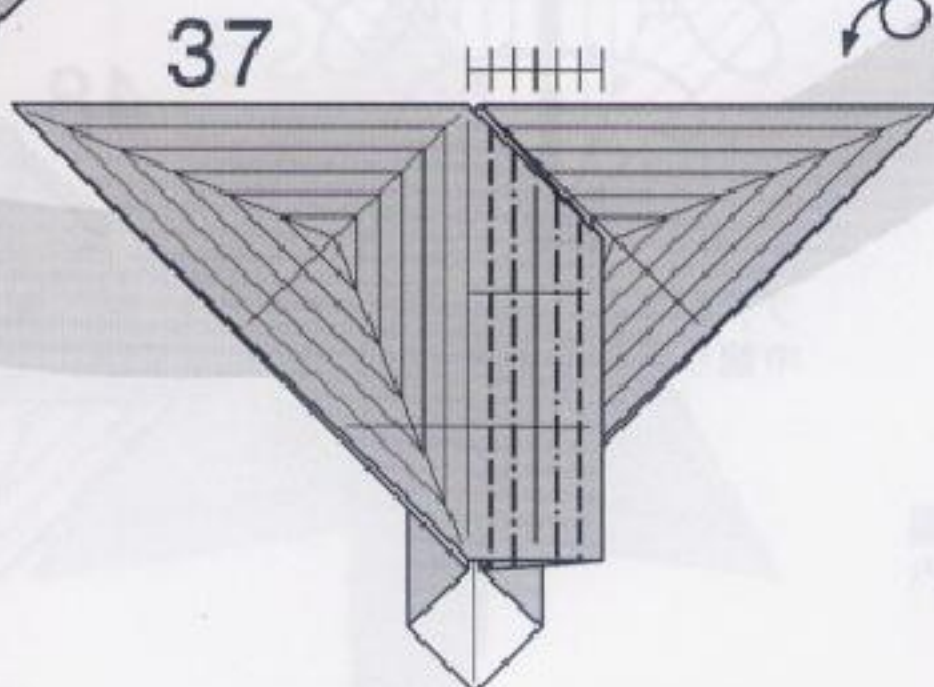
中心の隙間で広げる

38

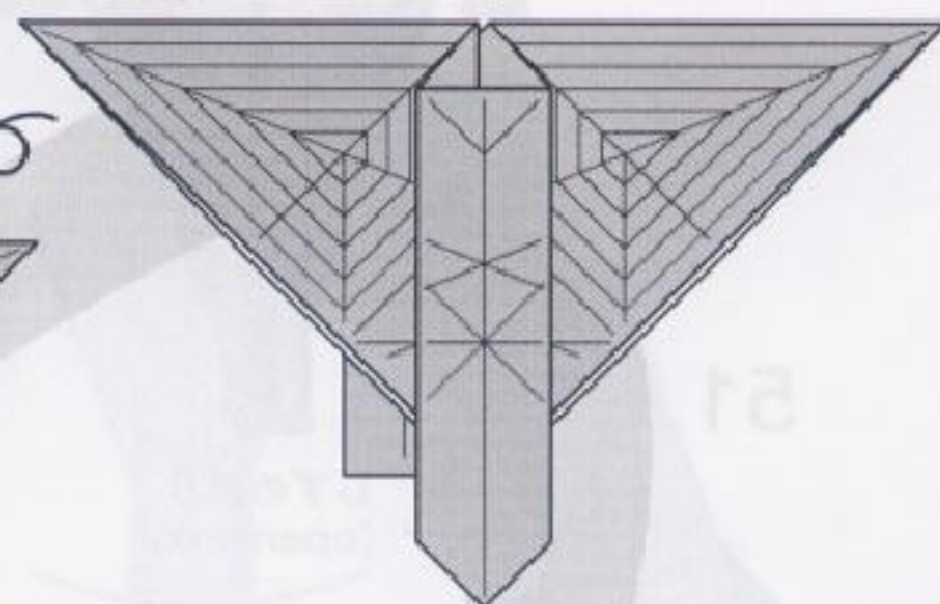


しずめ折り

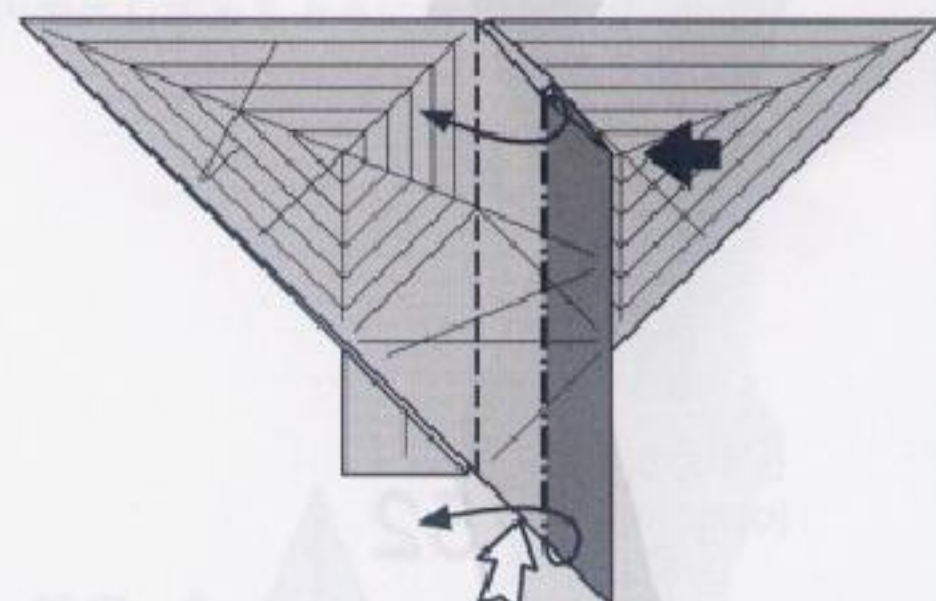
37

1/6の幅で
折り筋をつける

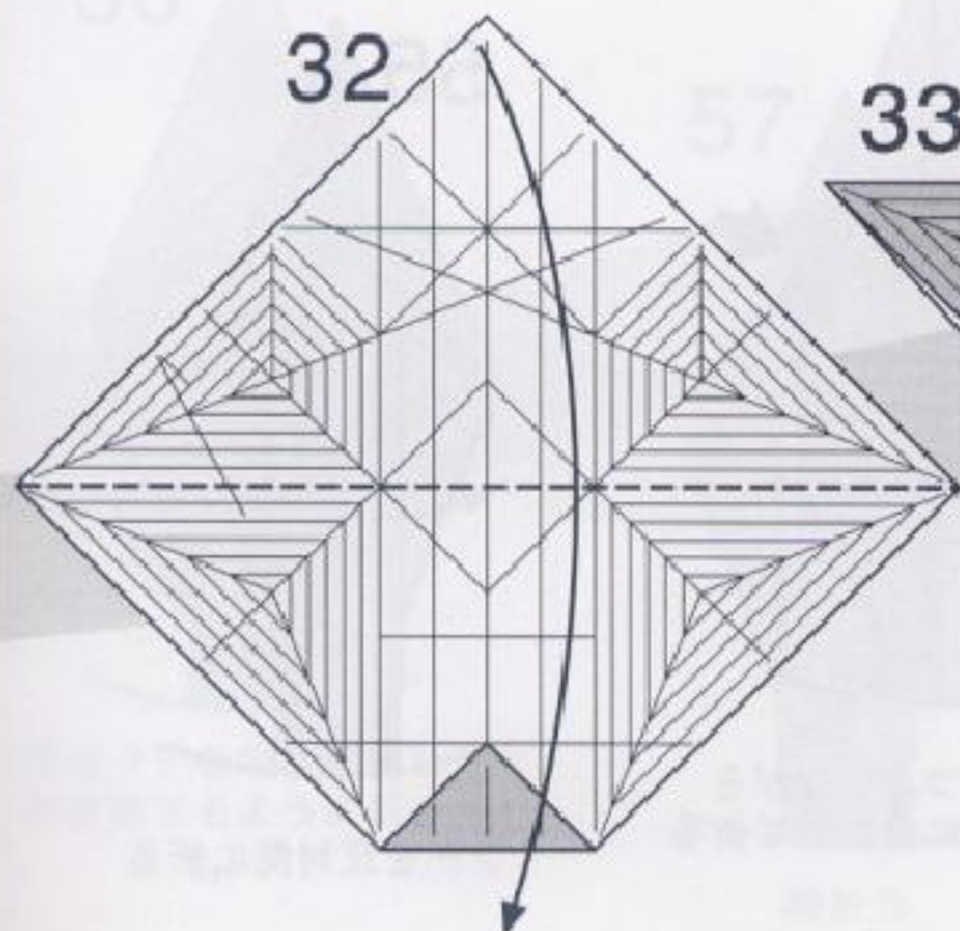
36



35

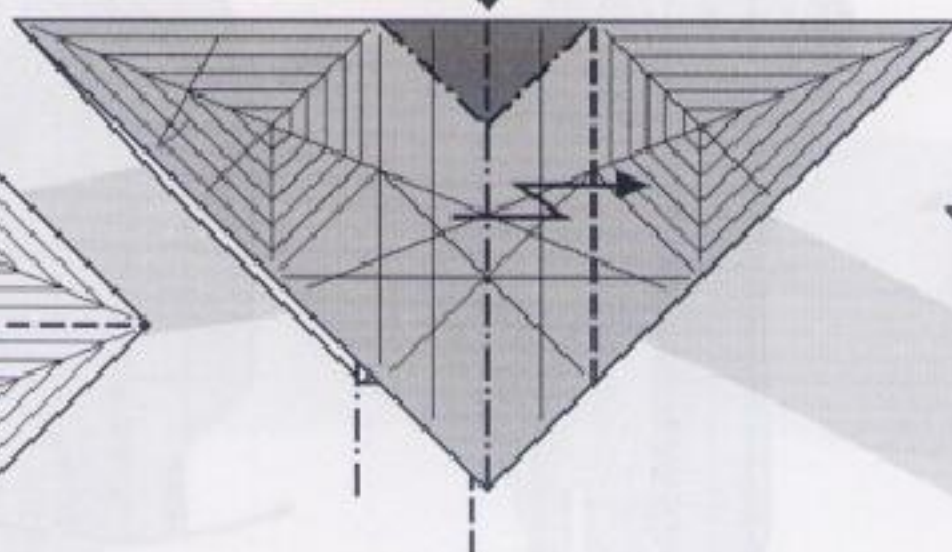
内側を広げて
■の部分をつぶすように折る

32

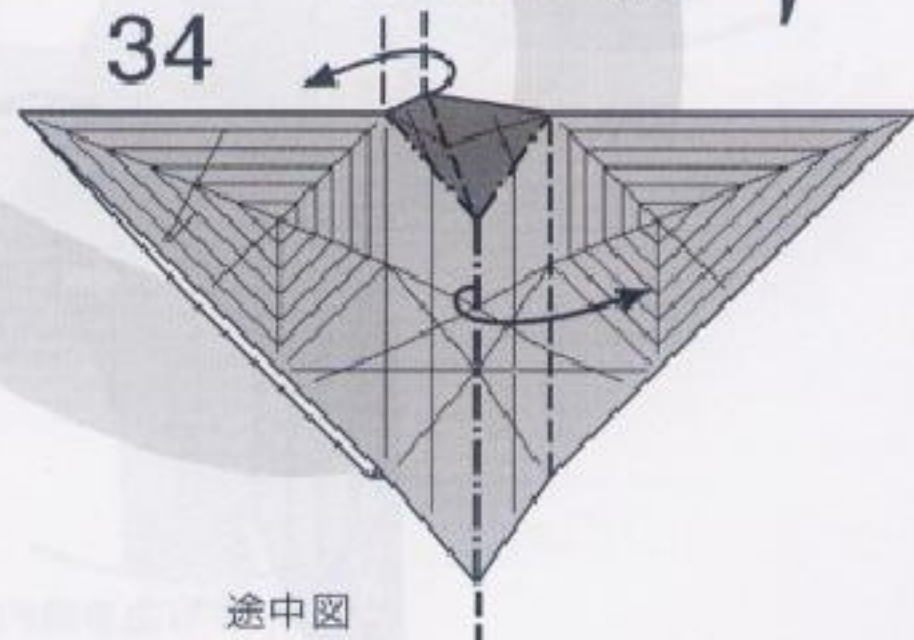


対角線で折る

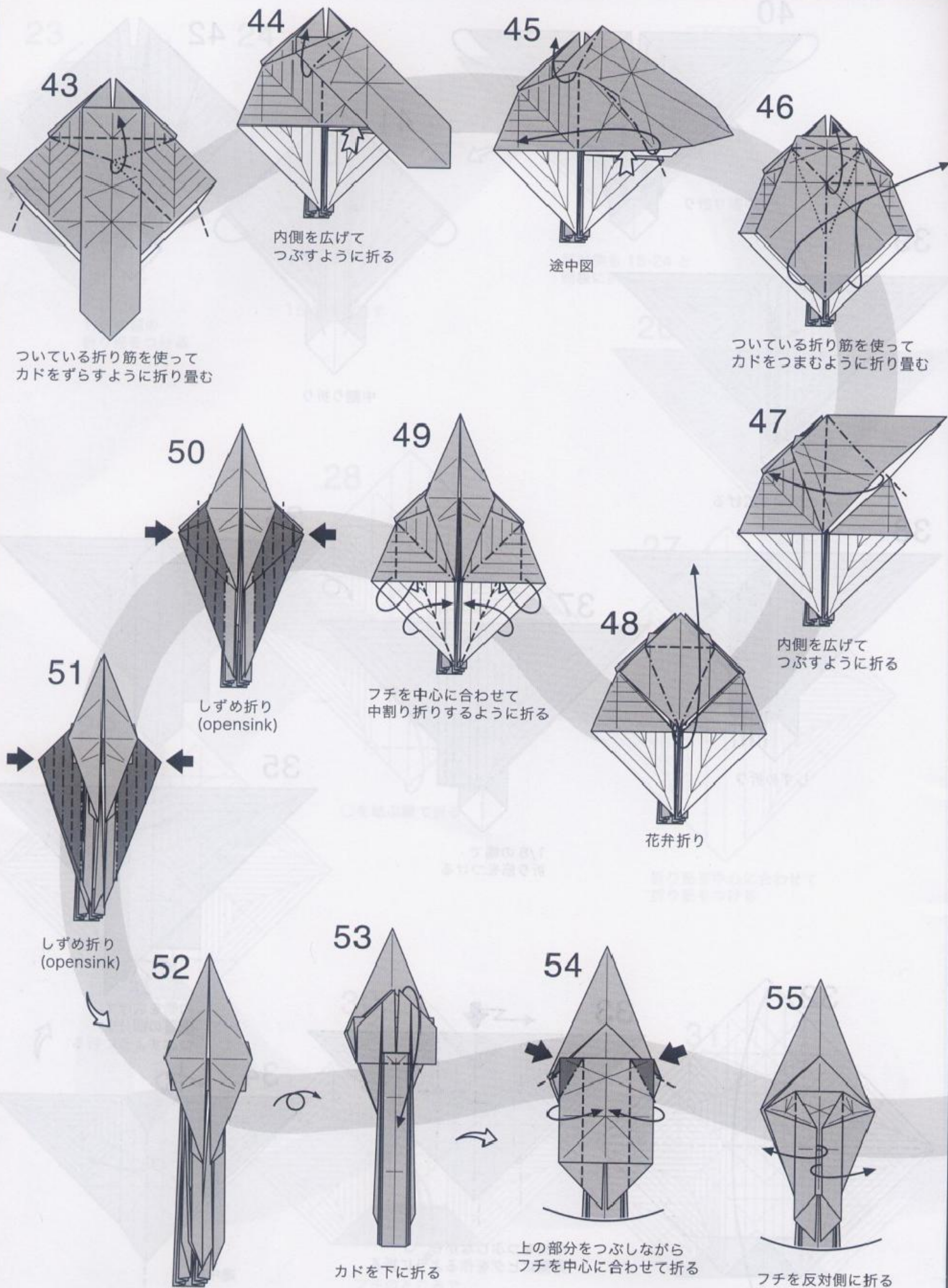
33

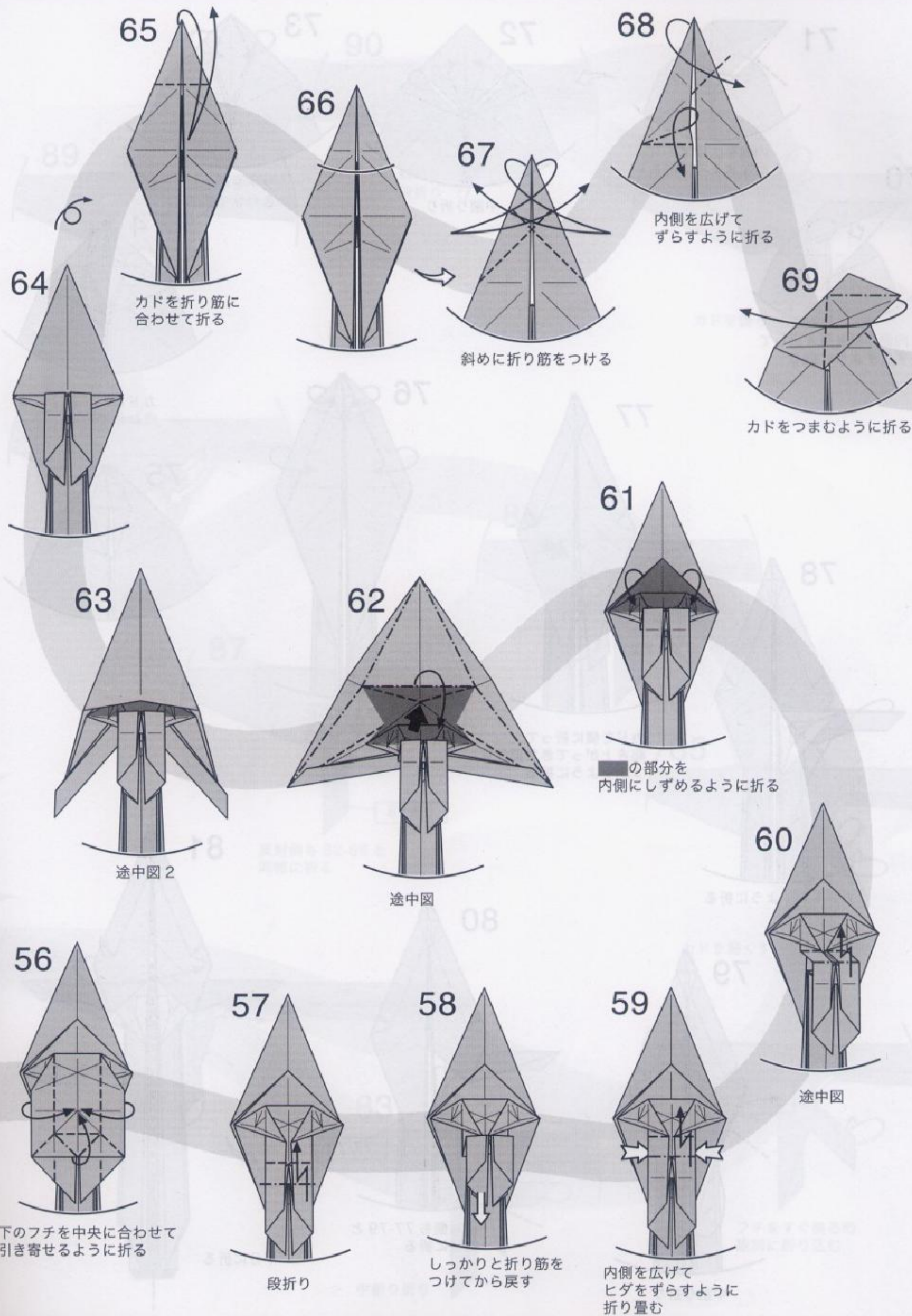
中央をつぶしながら
両側にヒダを作るように折る

34



途中図

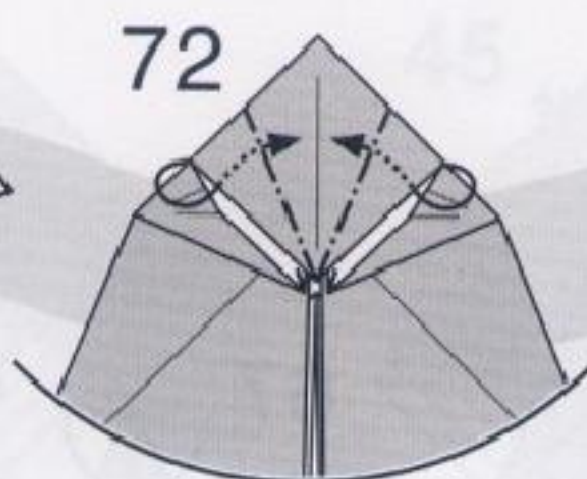






71

内側を広げて
つぶすように折る



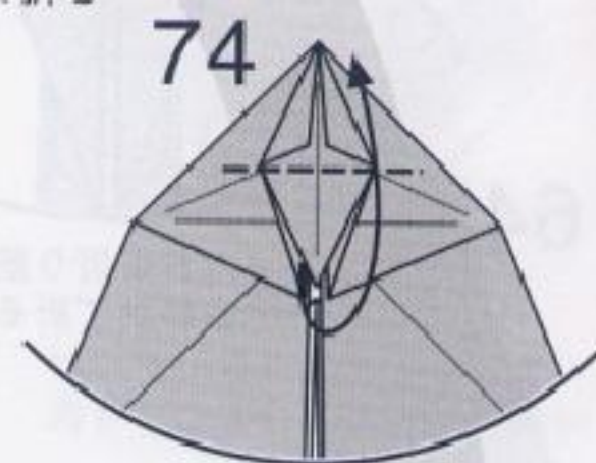
72

中割り折り



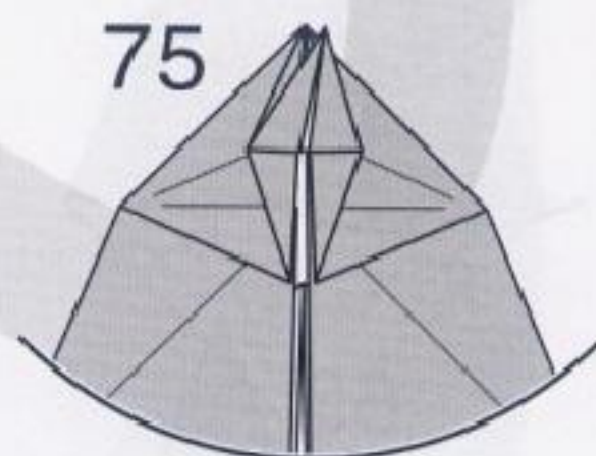
73

フチを中心に
合わせて折る

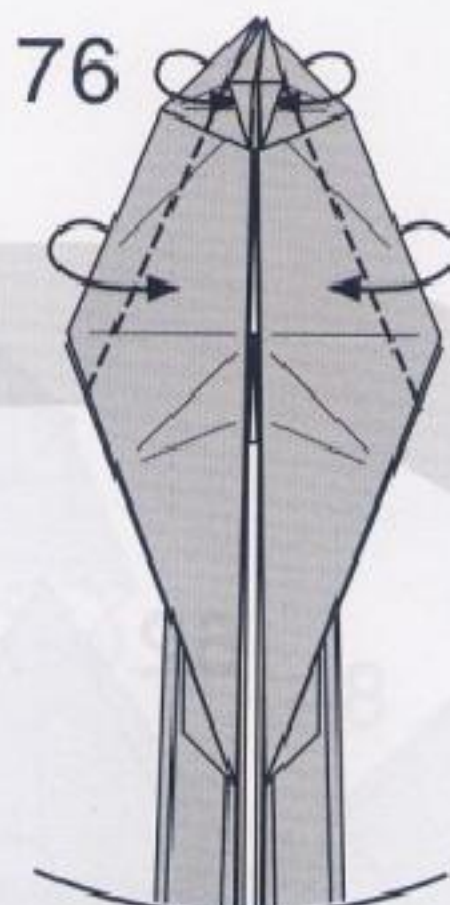


74

カドとカドを
合わせて折る

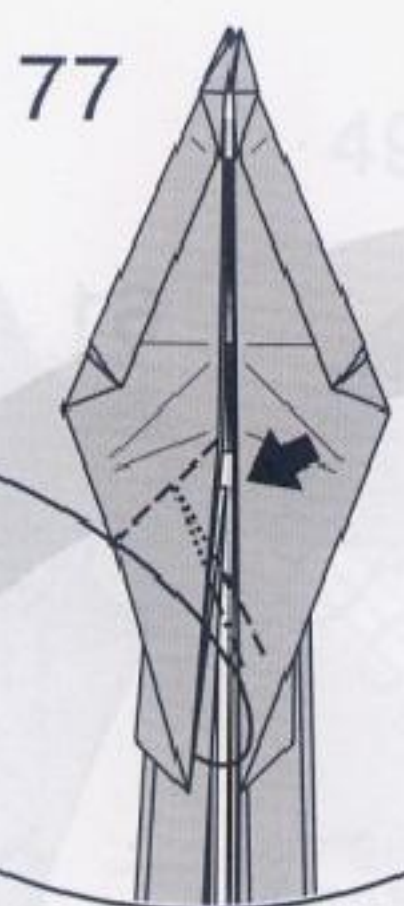


75



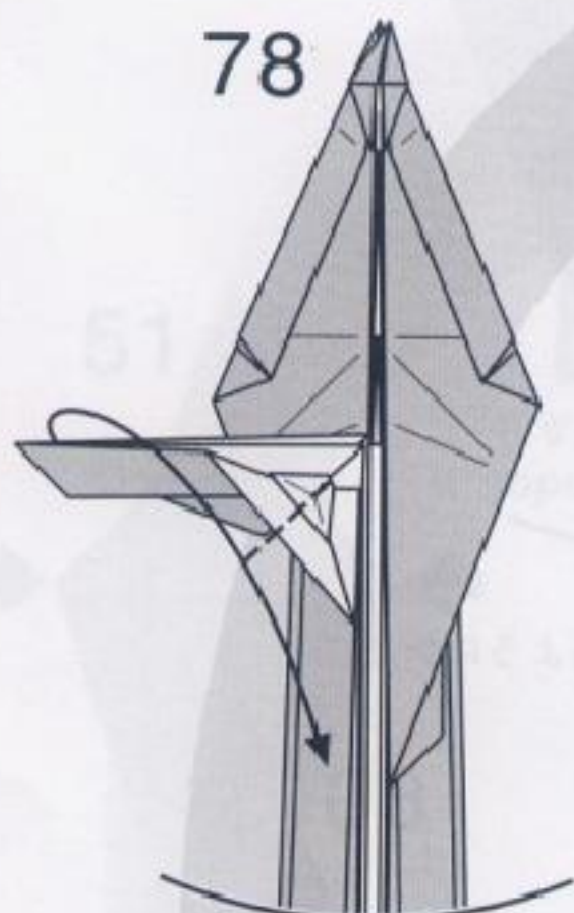
76

フチを中心に
合わせて折る



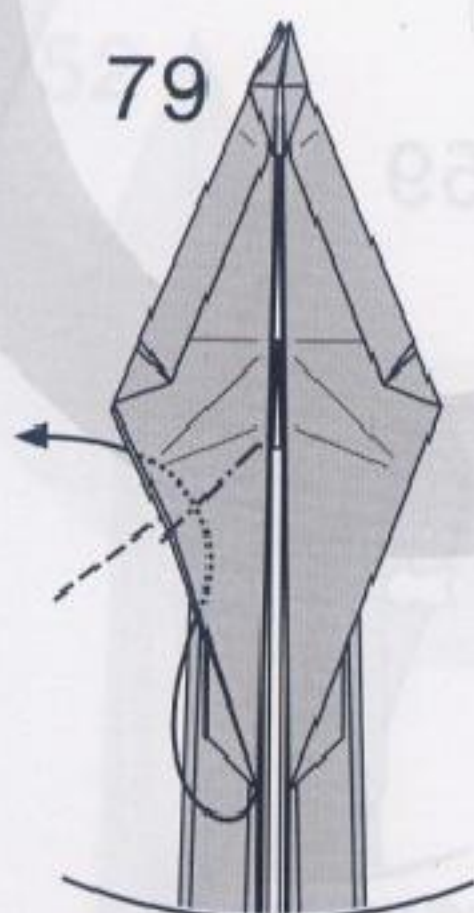
77

カドを横に折って
起き上がってきた部分
をつぶすように折る



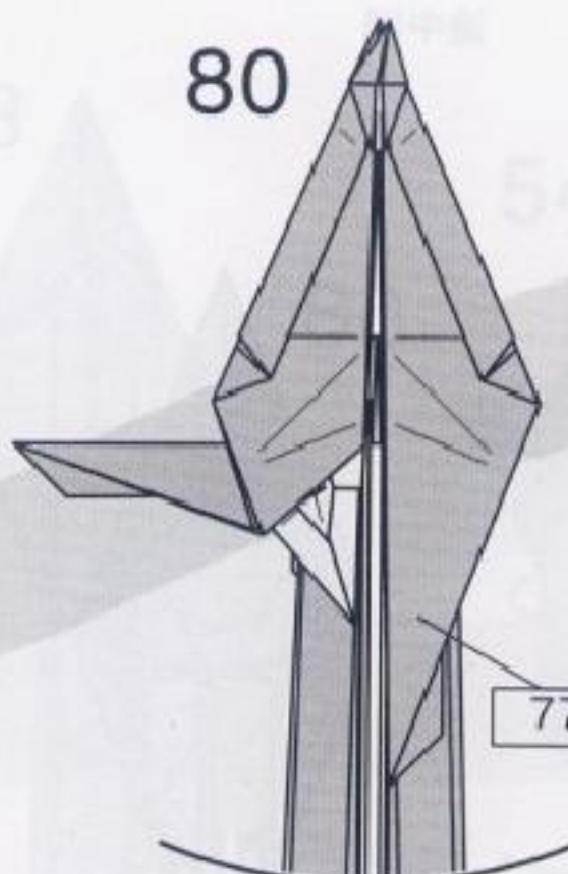
78

カドを戻すように折る



79

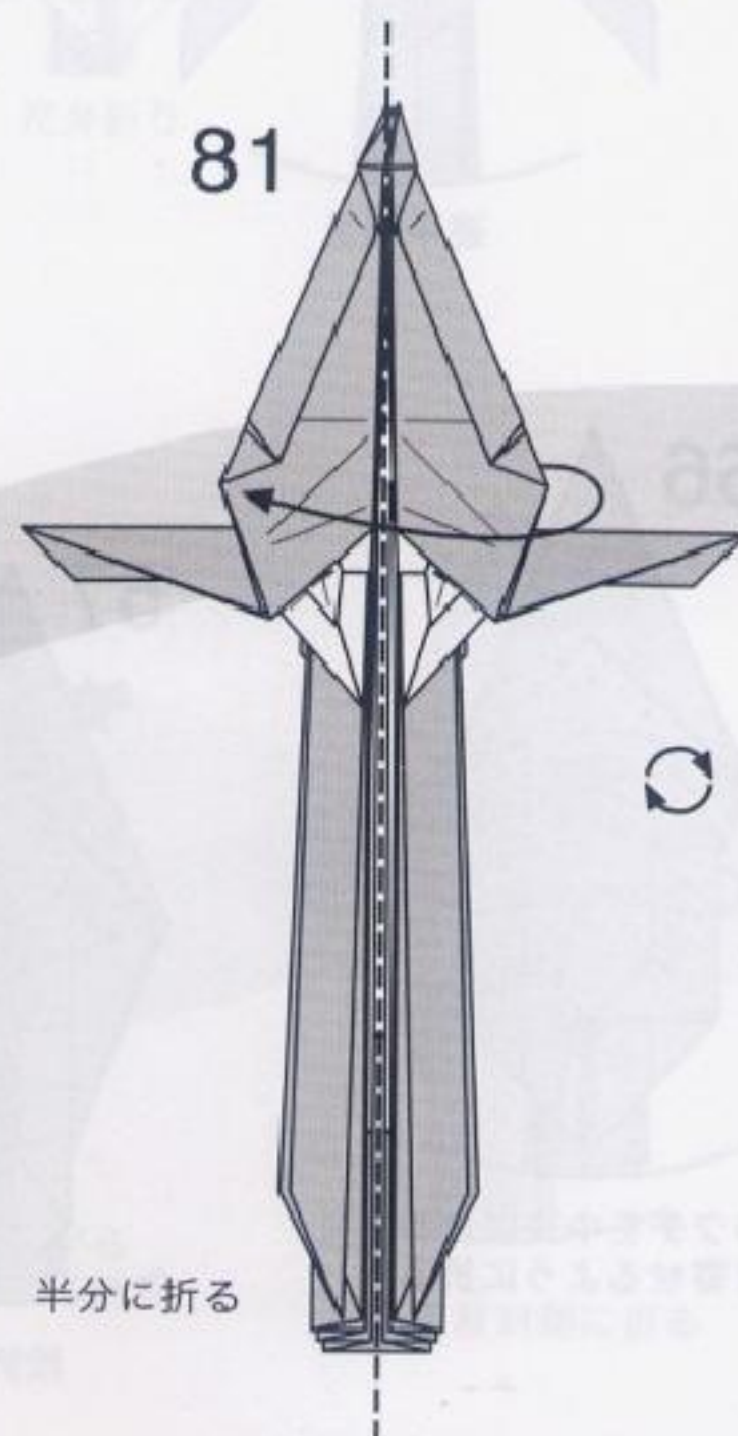
中割り折り



80

反対側も 77-79 と
同様に折る

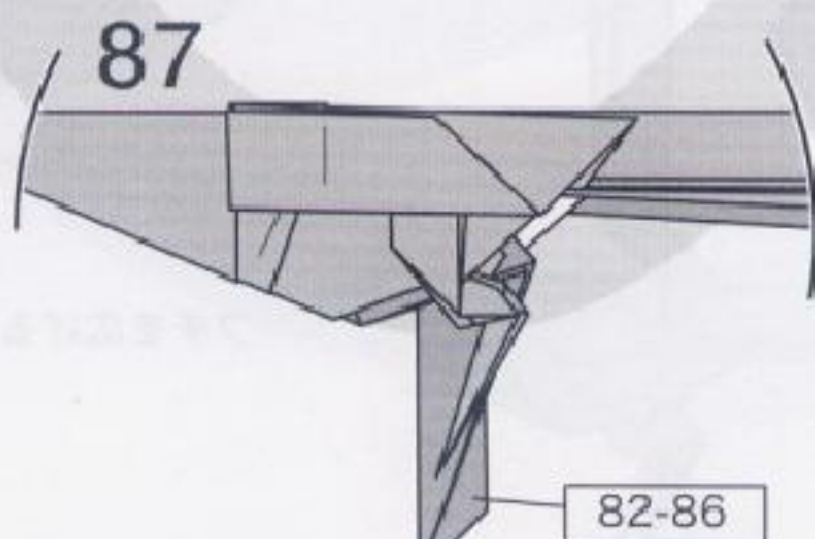
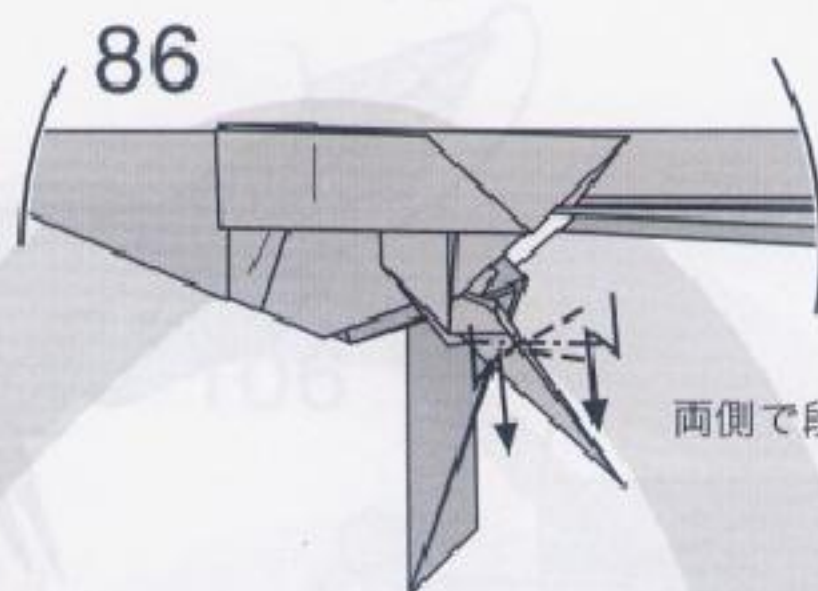
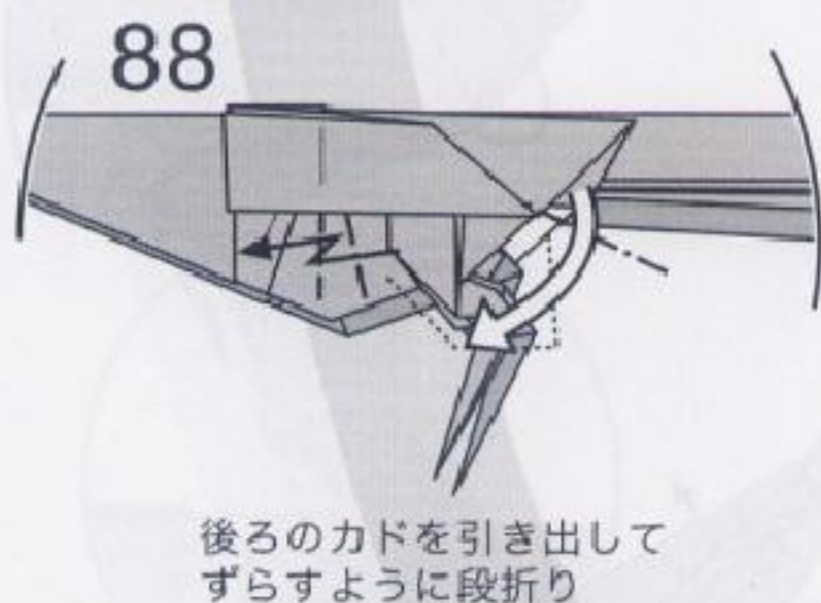
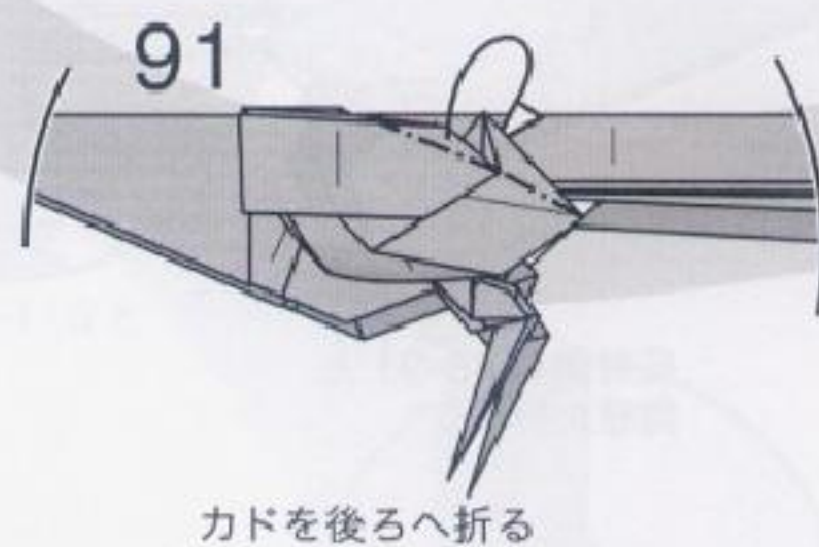
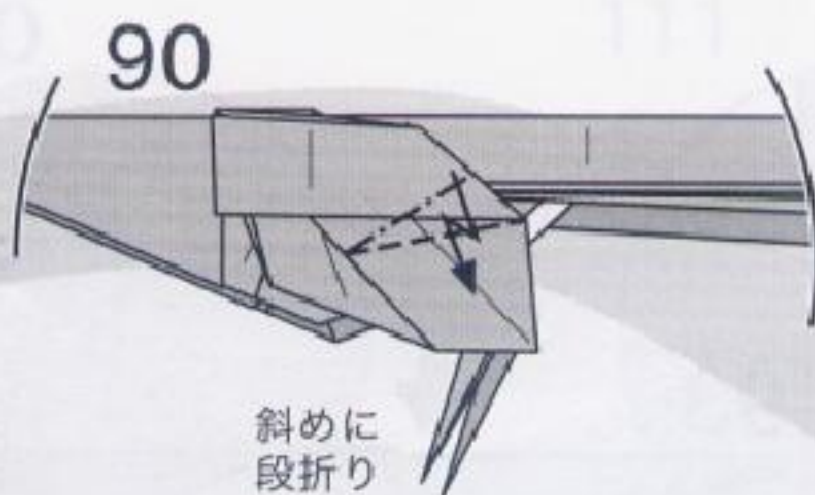
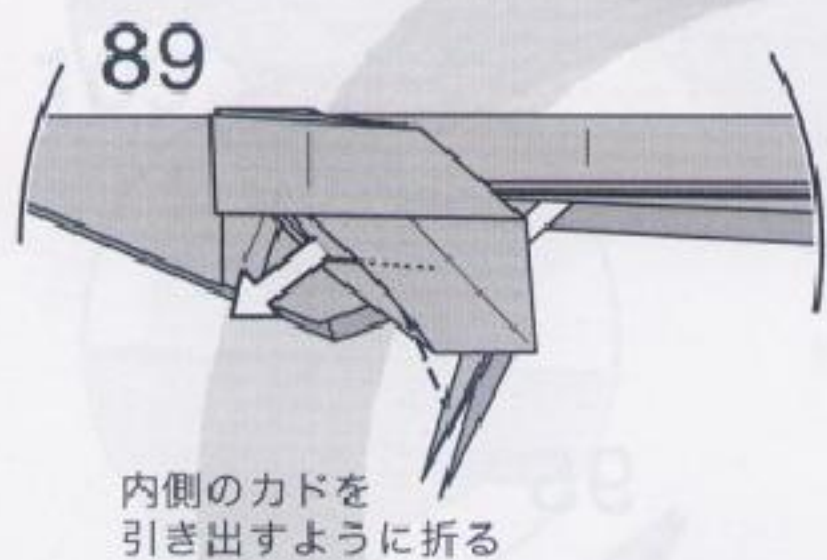
77-79



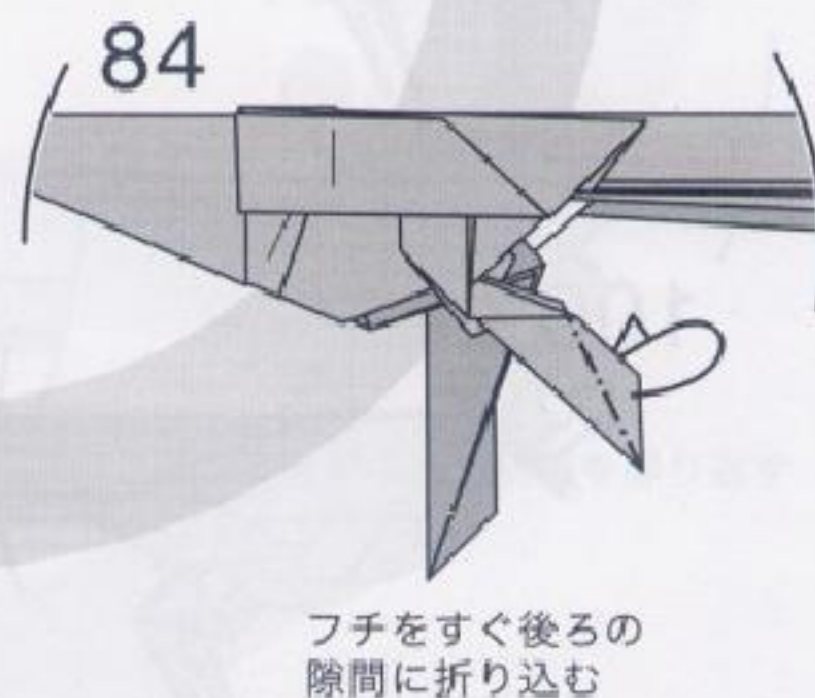
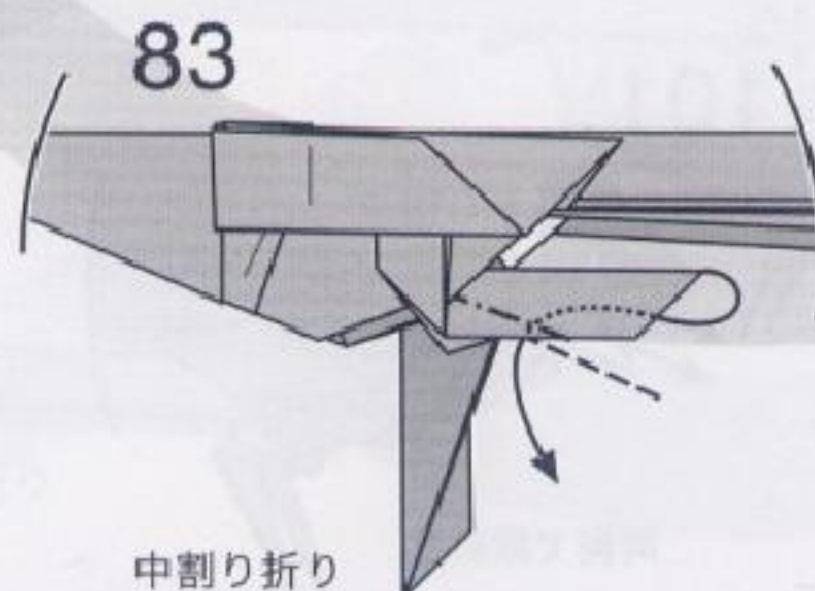
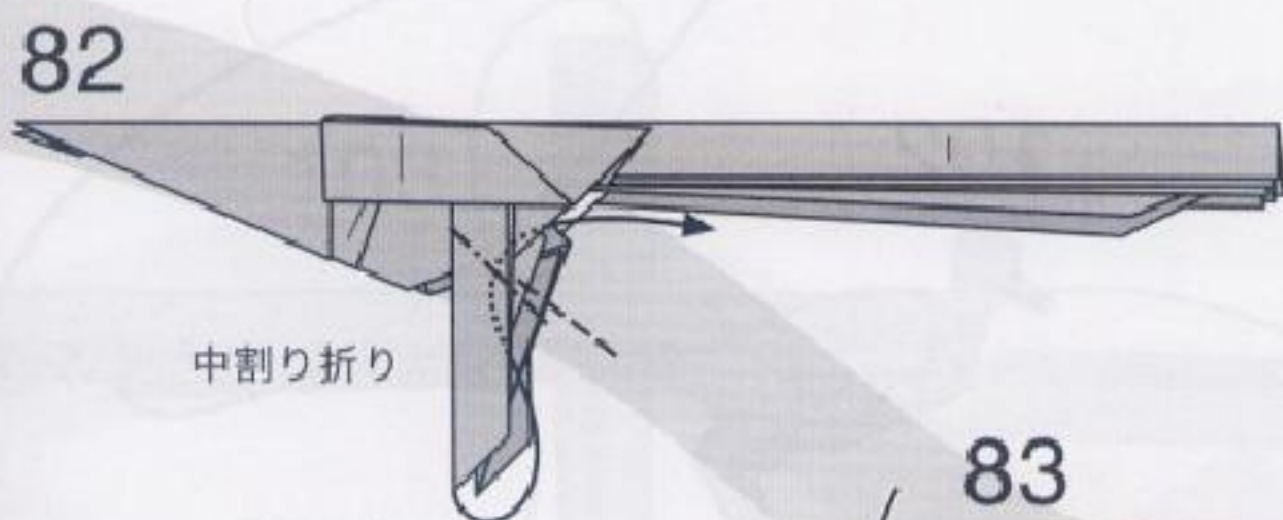
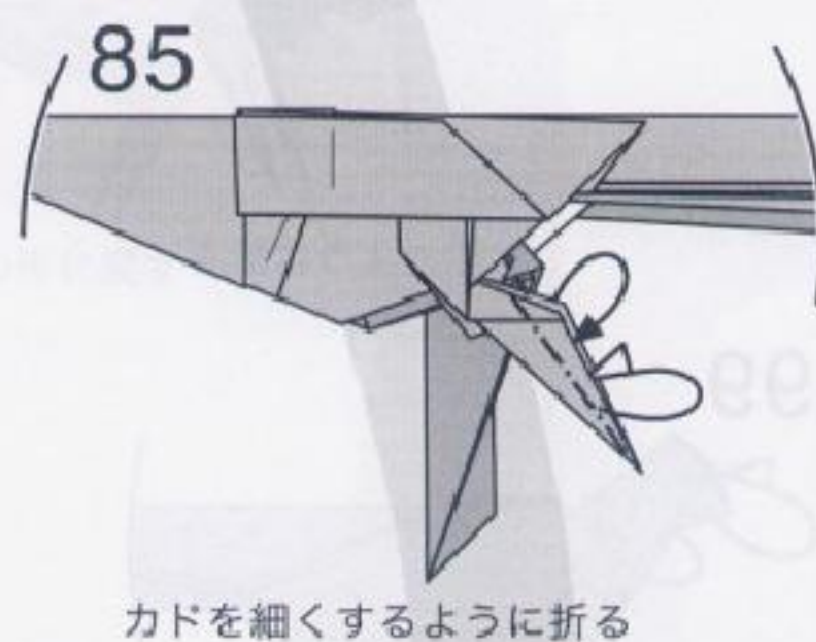
81

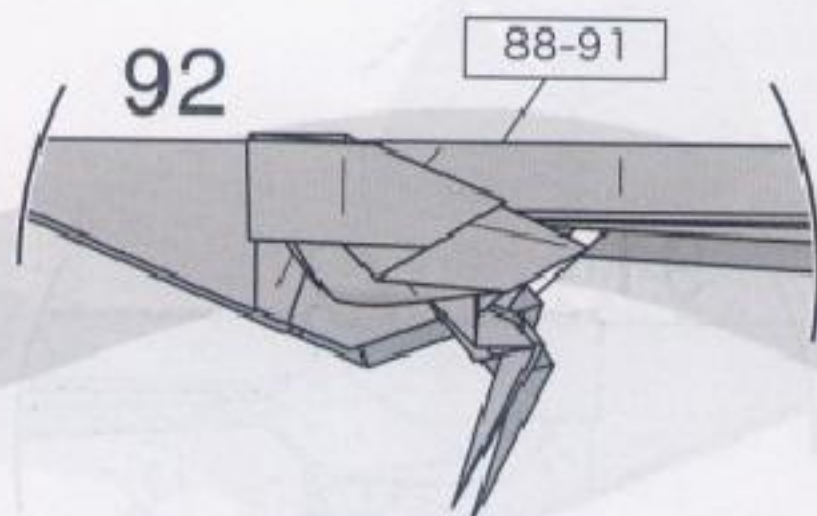
半分に折る



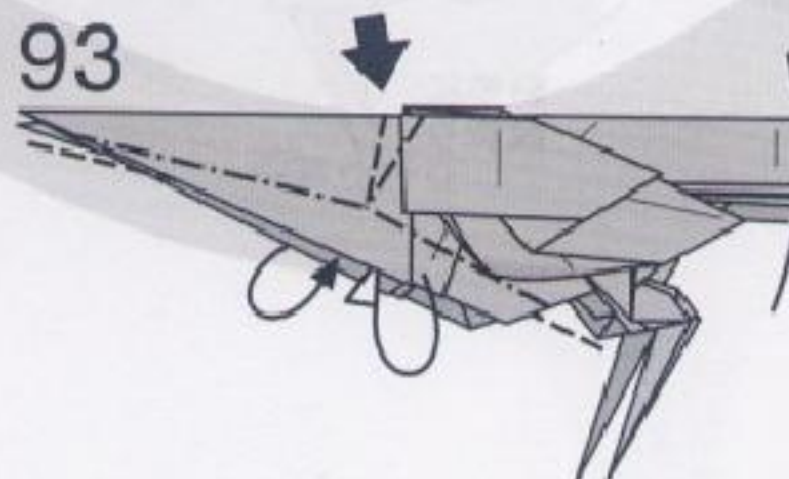


反対側も 82-86 と
同様に折る

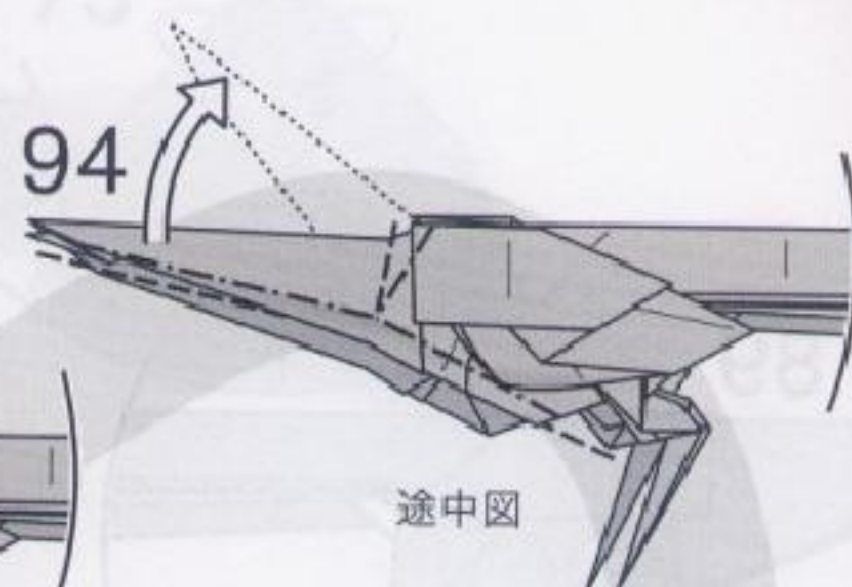




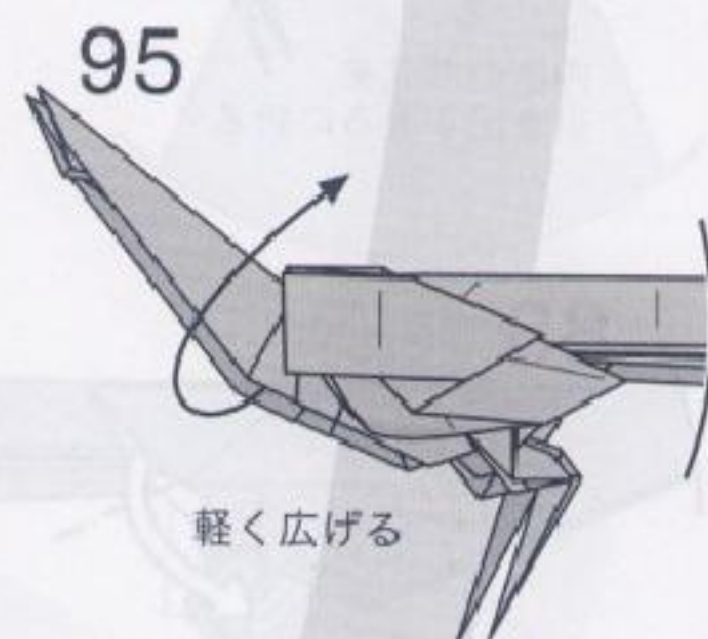
反対側も 88-91 と
同様に折る



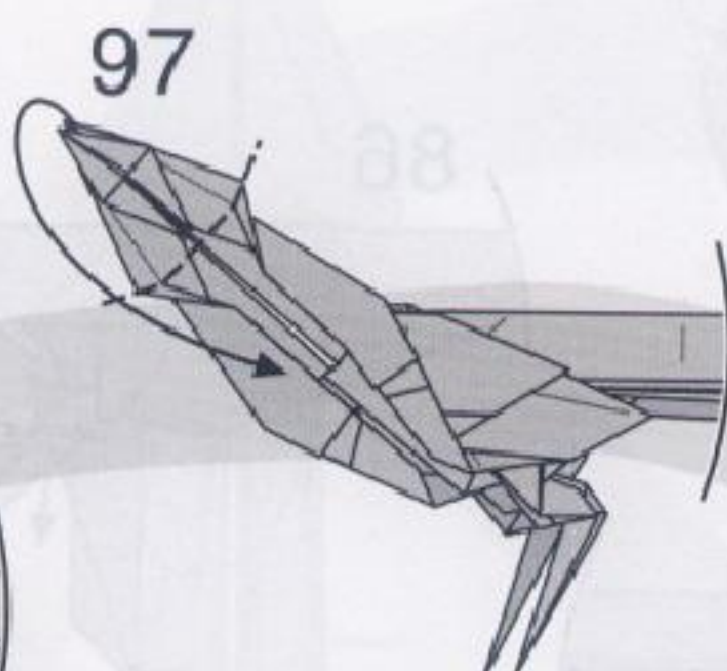
頭の部分を細くするように
両側でつまみ折り



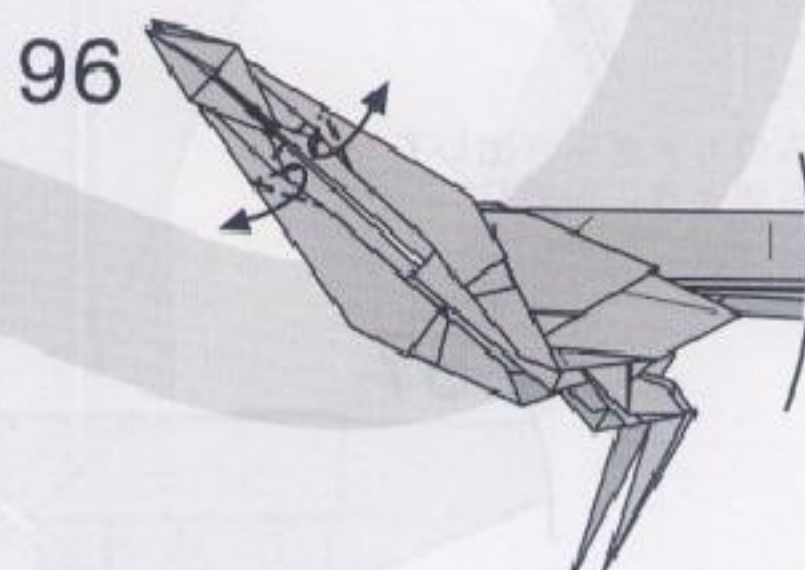
途中図



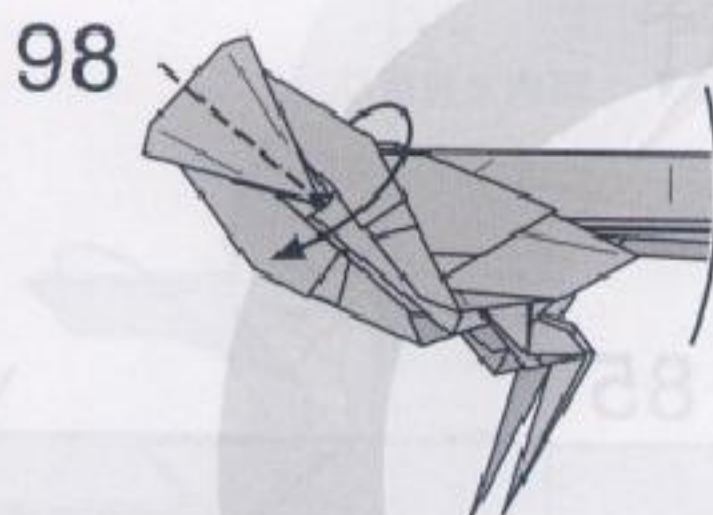
軽く広げる



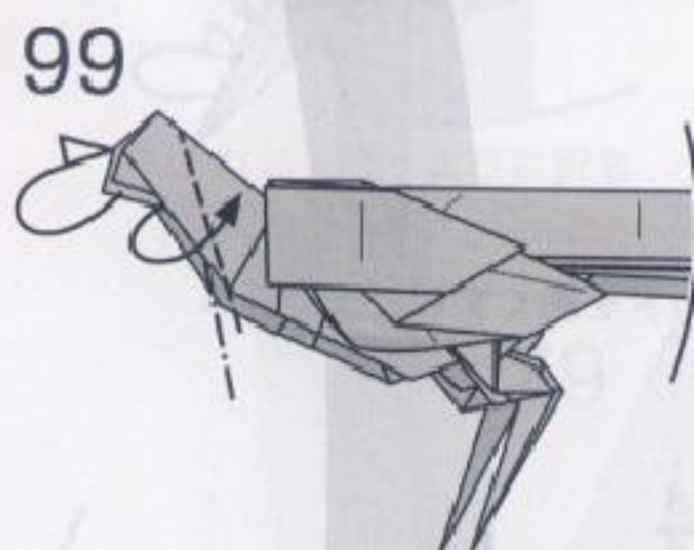
平らに折り畳む



フチを広げるように折る



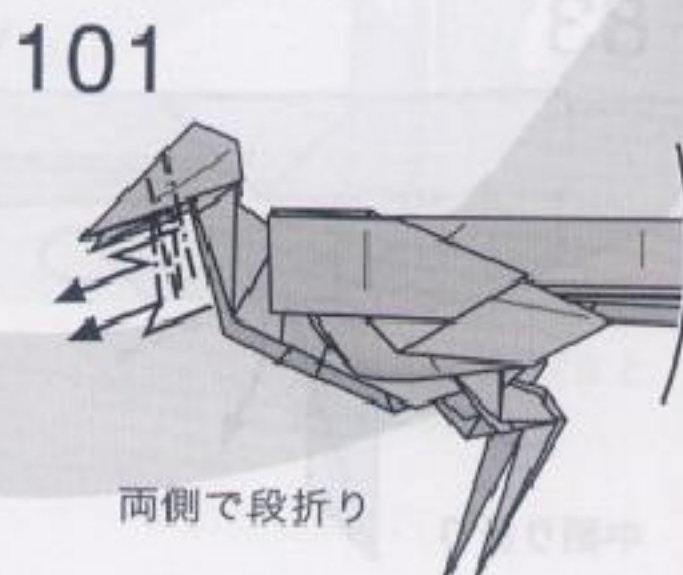
戻すように折る



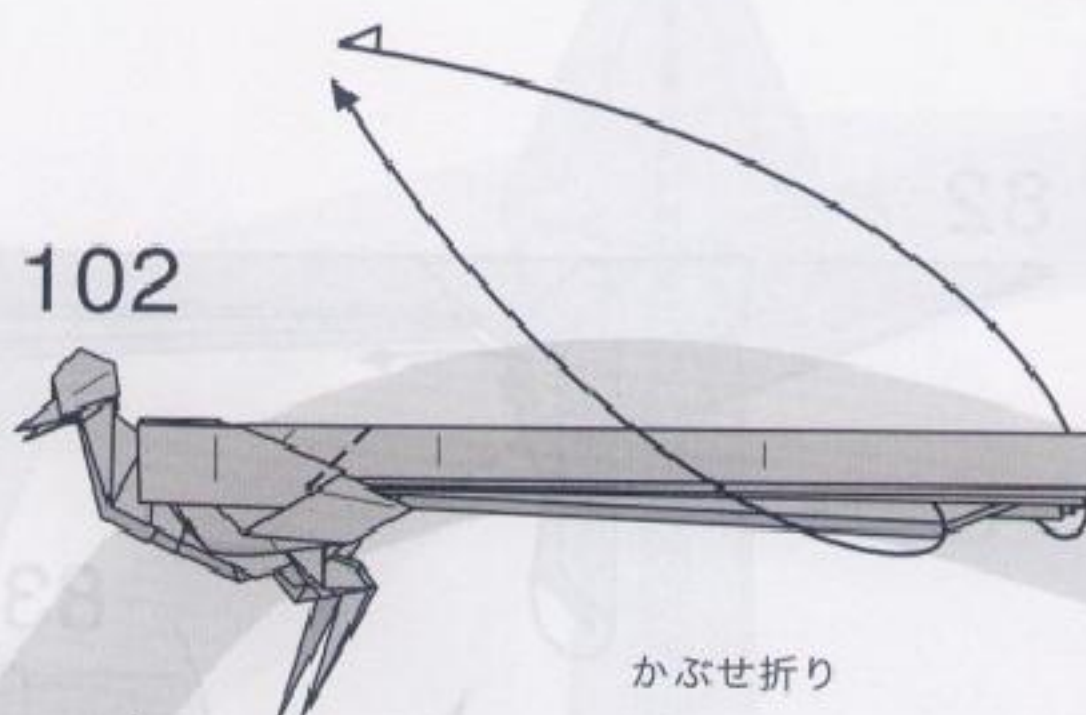
かぶせ折り



カドをずらすように折る



両側で段折り



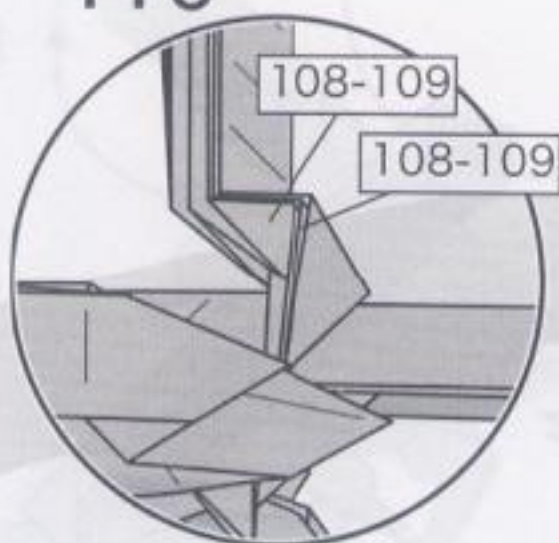
かぶせ折り

109



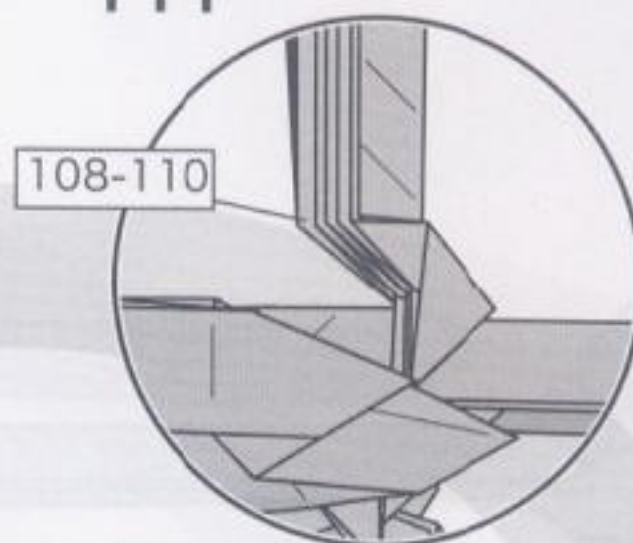
■の部分をしずめるように折る

110



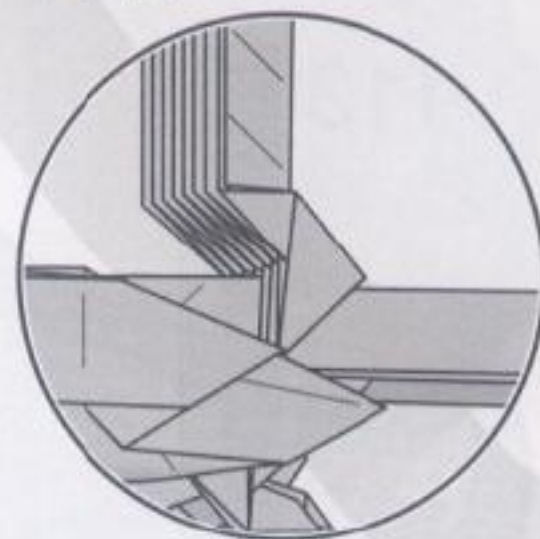
残りも同じように折る

111

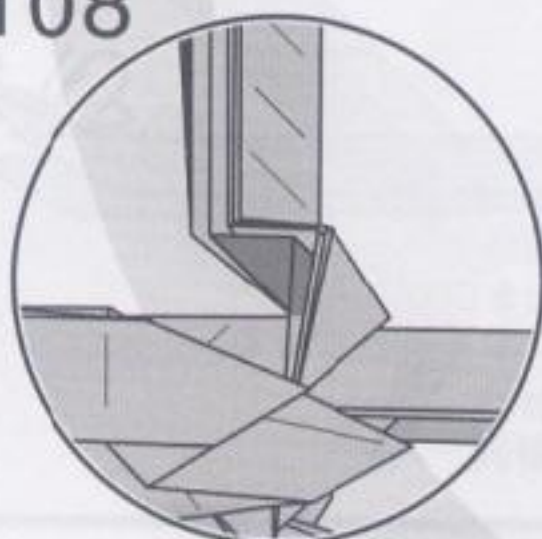


反対側も 108-110 と同様に折る

112

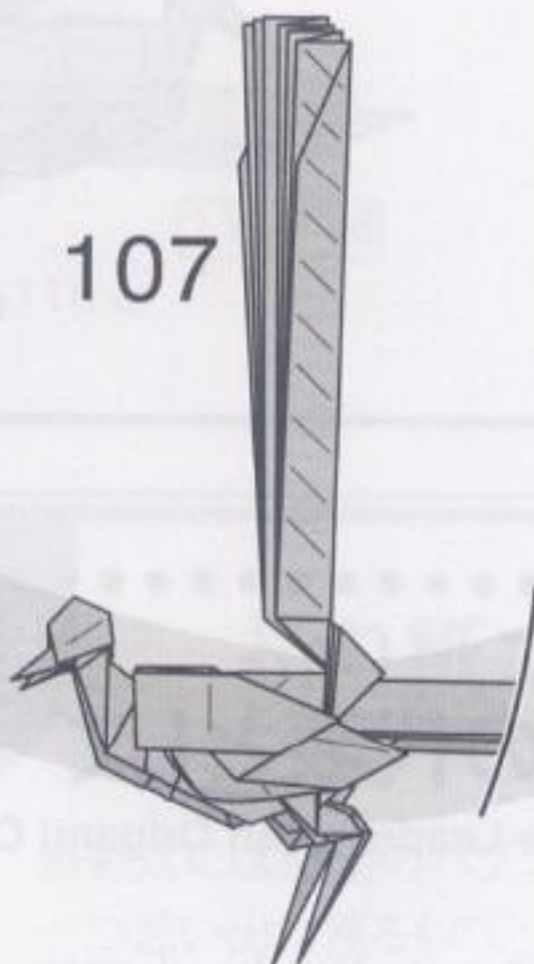


108



中心に近いヒダを広げる

107

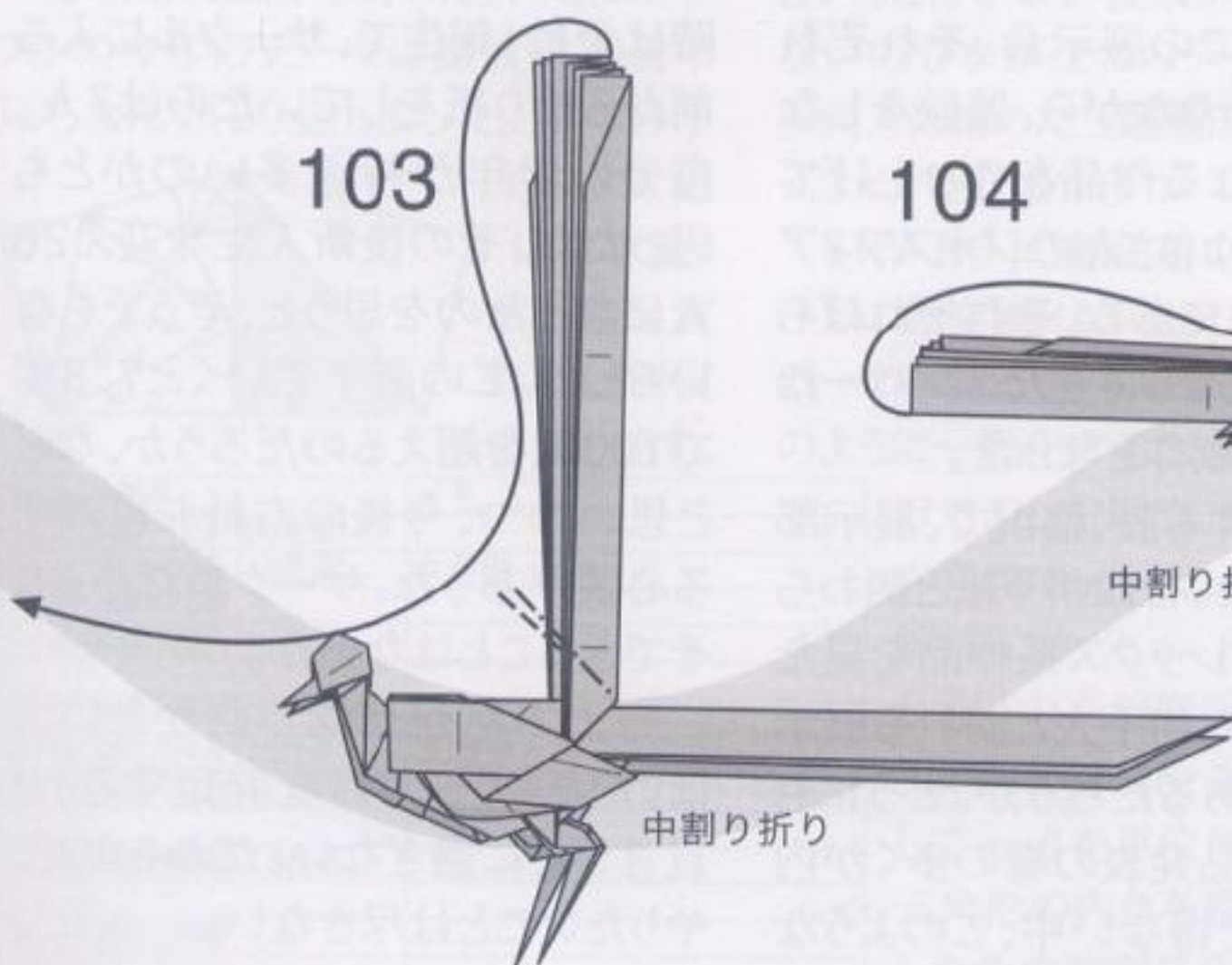


106

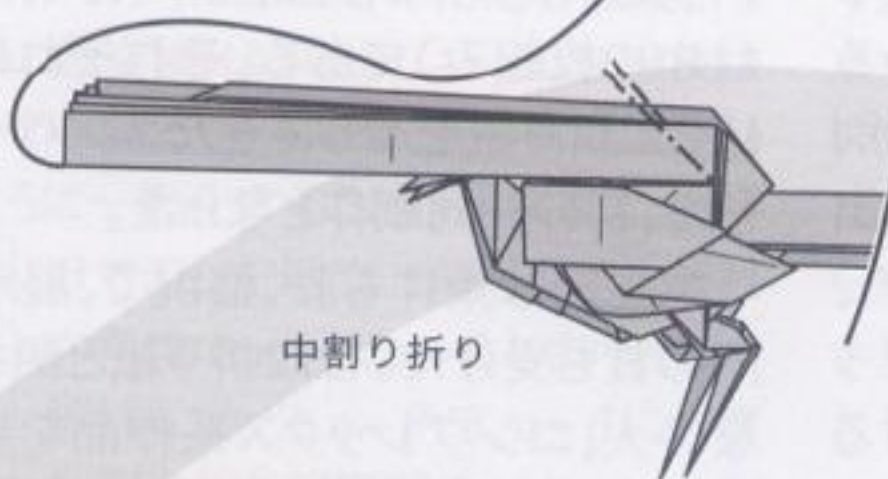


105 の形に戻す

103

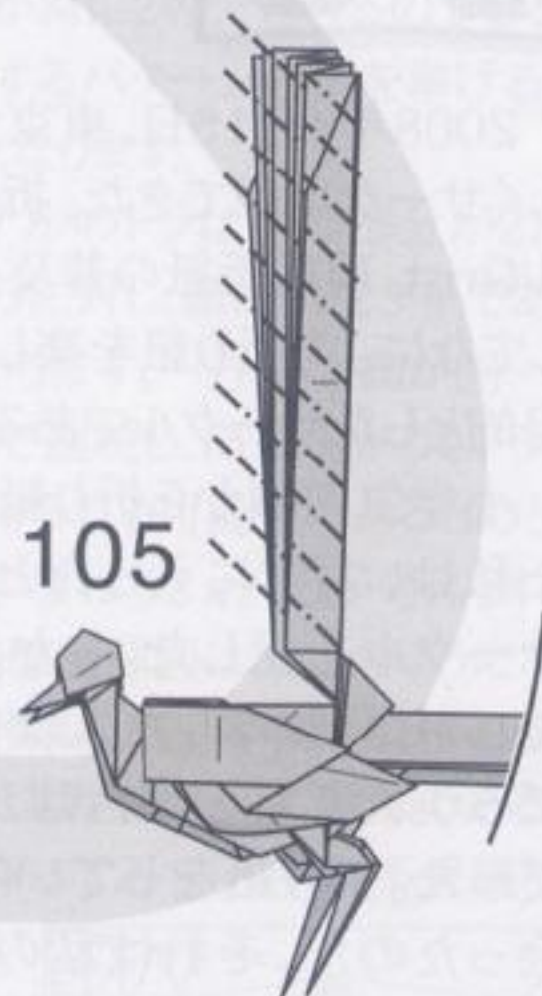


104

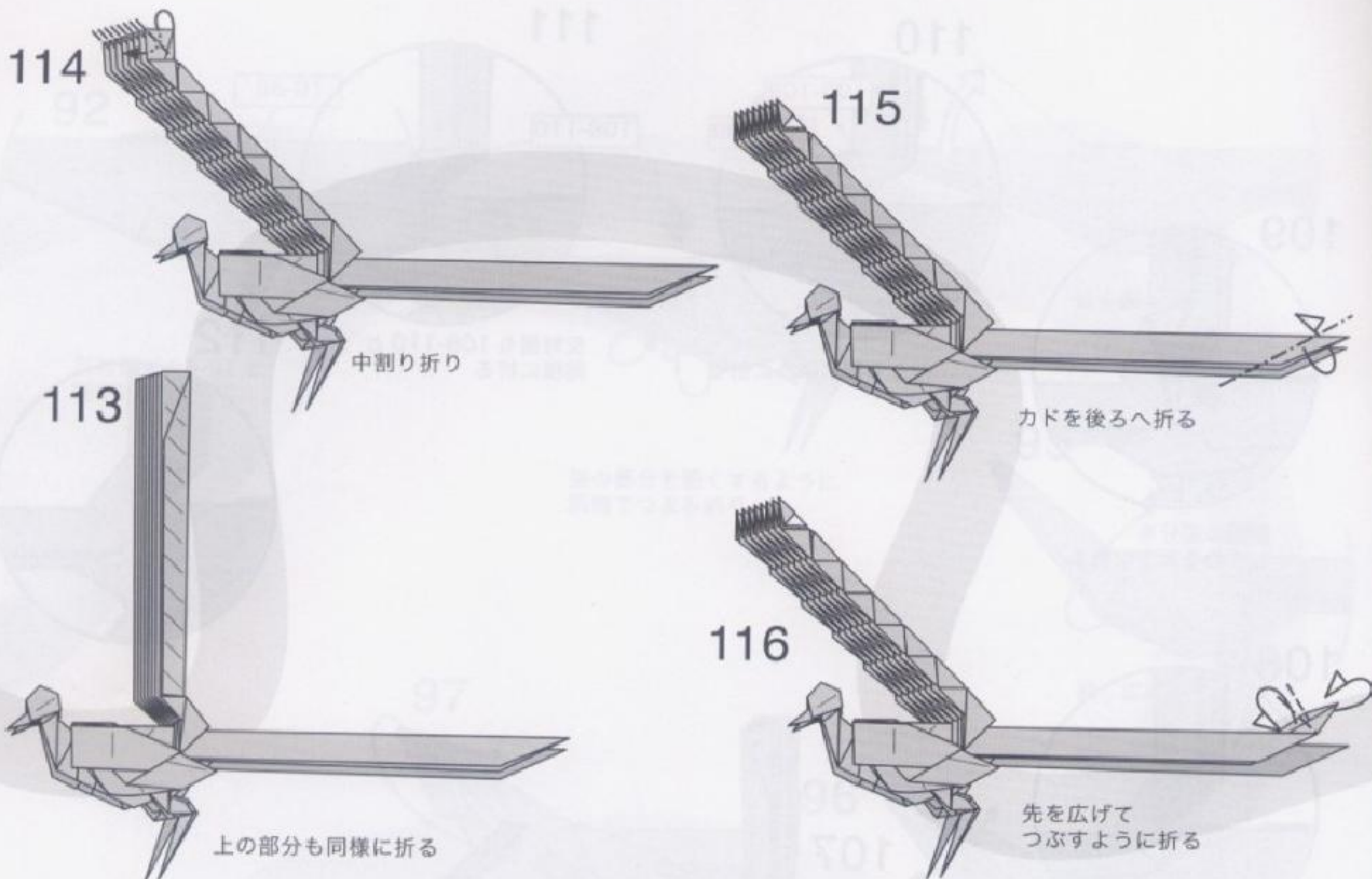


中割り折り

105



先まで中割り折りを繰り返す



Orisuzi ("Fold-Creases")

折紙サークルの代表として

How I Spend Days as the Leader of an Origami Circle

西村光平

Nishimura Kohei

2008年4月15日、東京大学に新しくサークルができた。折紙サークルOrist。現代折紙の普及・発展、そしてなにより折り紙を楽しむことを目的としたサークルである。

小学生の頃から折り紙をしていた私は、大学に入ったとき、折紙サークルを探した。しかしなかった。同じ経験をした人は何人いるだろう。ただ私の場合は、少し特別だった。折り紙をしている人に出会ったのだ。それは私の友人の、友人の、友人の、そのまた友人だったが、彼に会ったとき、私は行けると思った。その日、サークルは生まれた。

2人はクラスの友人を巻き込み、7人で活動を開始。広いキャンパ

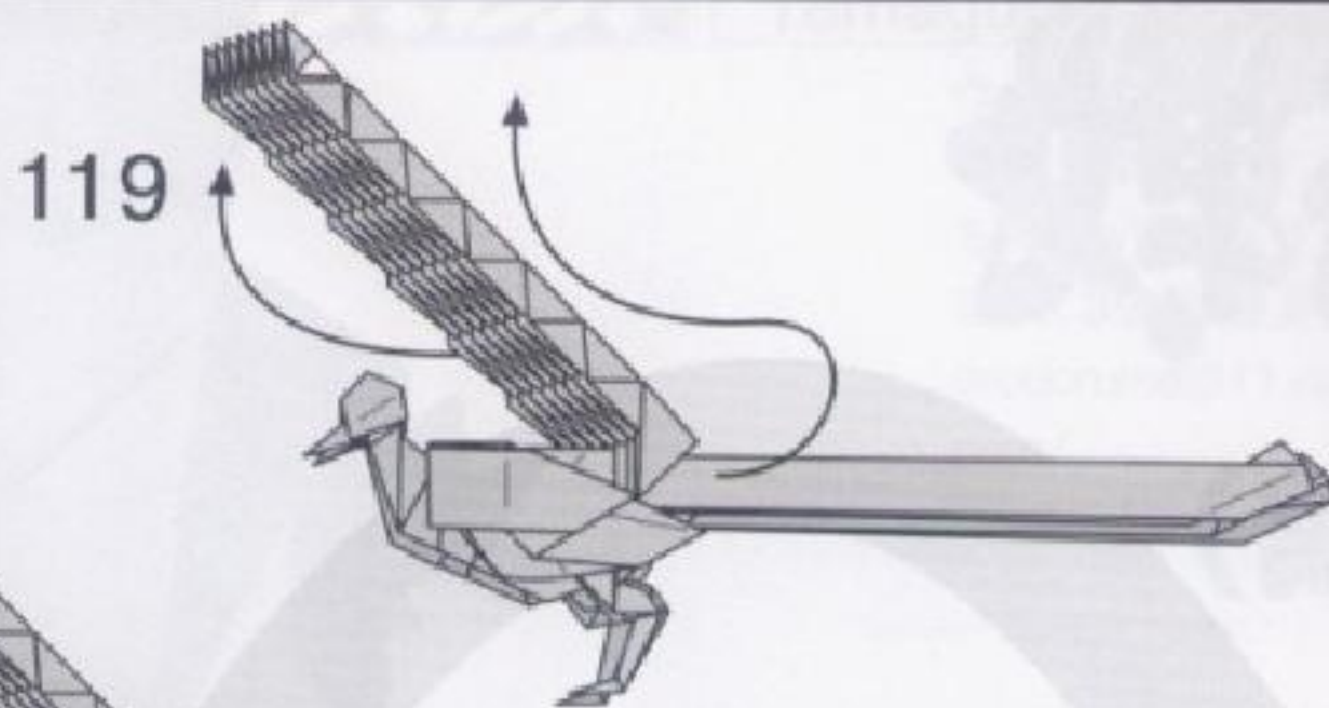
スに1枚だけ貼られたポスターと口コミにより、人数を増やしていった。実際の活動を見て入った人もいた。とりあえずの目標は、年2回ある学園祭の1つ、駒場祭での展示会。それぞれ好きなものを折りながら、雑談をしながら、メインとなる作品を作り上げていった。川村みゆきさんのジオスフィア(1890枚組み)である。それぞればらばらに折り紙をやってきたメンバーたちの、初の共同制作となった。

駒場祭は条件もよく盛況で、展示部門の賞も受けた。普段折り紙と関わらない人、コンプレックス系作品を見たことのない人が、何千人と訪れる展示会がどれだけあるだろうか。どうにも現状として、作品発表の場の多くが内輪にならざるを得ない中、このような

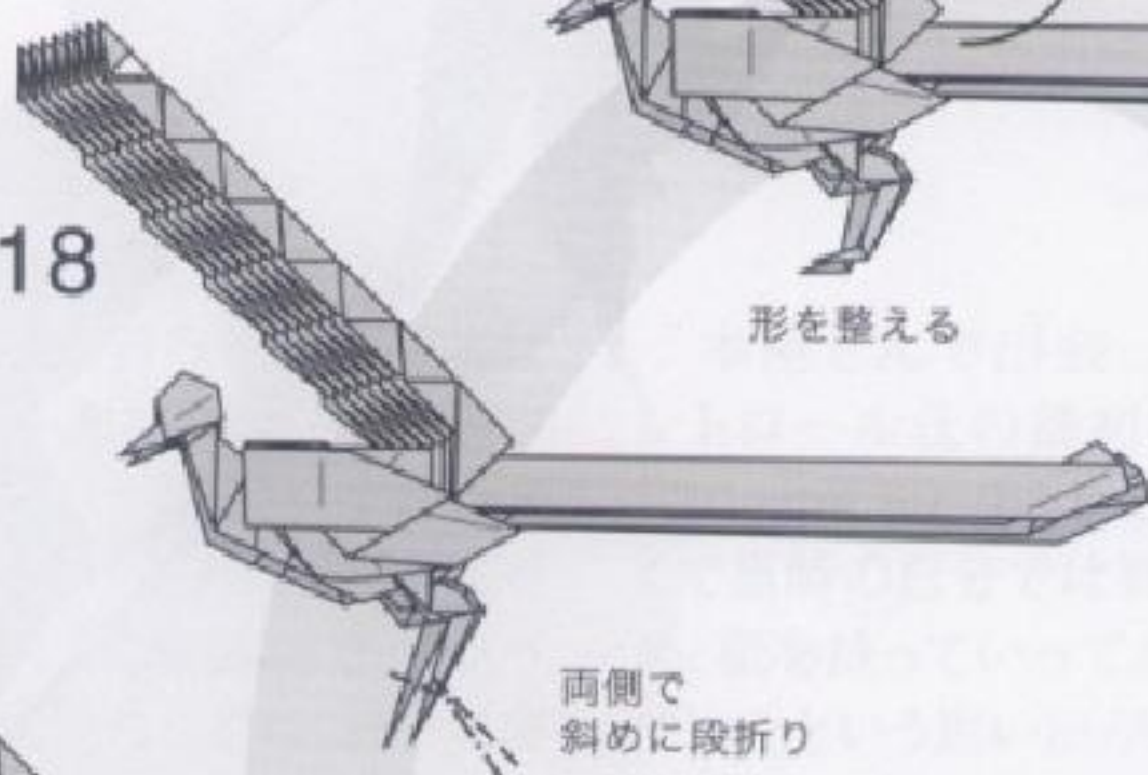
機会は非常に価値のあるものを感じた。

駒場祭も無事終わり、12月にはメンバーは15人になっていた。当時は全員1年生で、サークルに入る前から折り紙をしていたのは7人。自分の学年が特別多いのかとも思ったが、その後新入生を迎え26人になったのを思うと、そうでもないらしい。この調子でいくと7、8年で100人を超えるのだろうか、などと思いつつ、今後の方針も模索する必要があった。サークルだからこそこできることはないか。

今まで私が何をしたかといえ、ただ「サークルを発足する」と宣言したに過ぎない。だからまだ、やりたいことは尽きない。



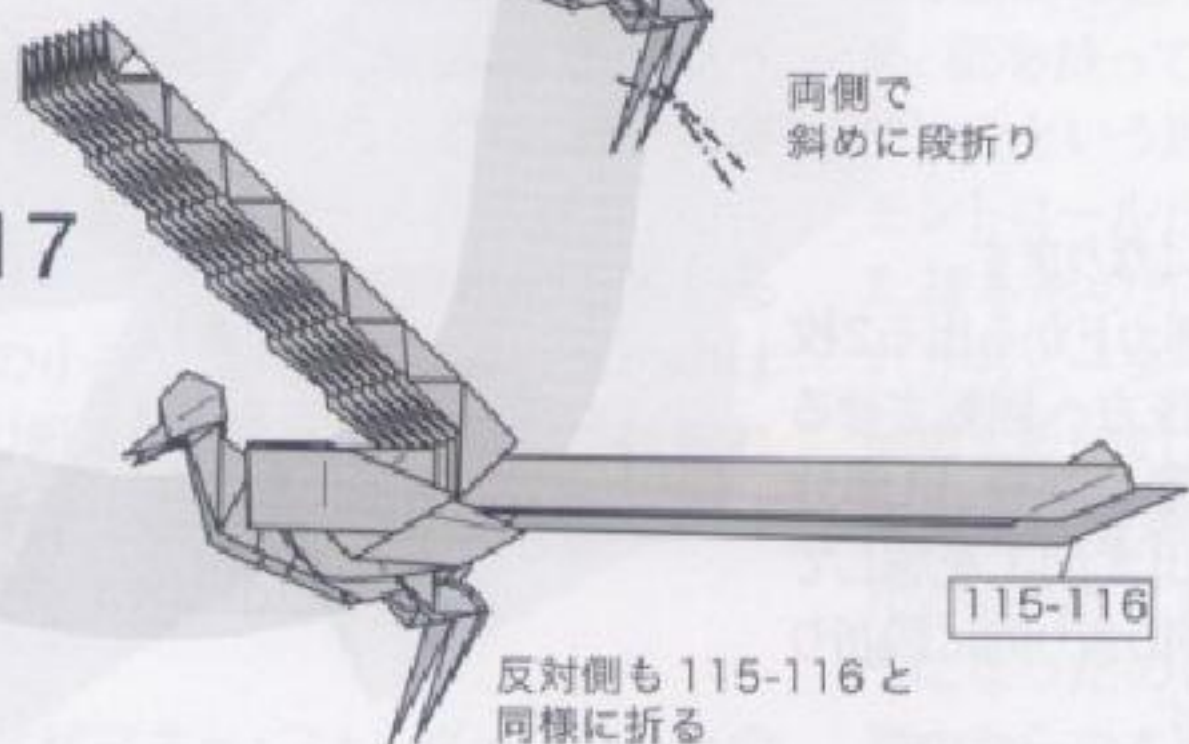
118



形を整える

両側で
斜めに段折り

117



反対側も115-116と
同様に折る

115-116

120



完成

折紙三昧

④7

Origami-Zanmai (This Origami and That)

第15回コンペションは、第10回に続く400名以上の参加人数を得て盛会となりました。ボランティアで色々お手伝いいただいた皆様にはこの場を借りて感謝申し上げます。

さて、第13回から始めた折り紙コンテストの今年のテーマは探偵団20周年にちなんで「20」としました。「来年の干支—トラ」と

「はうす賞」あわせ受賞作品は別頁の通りです。

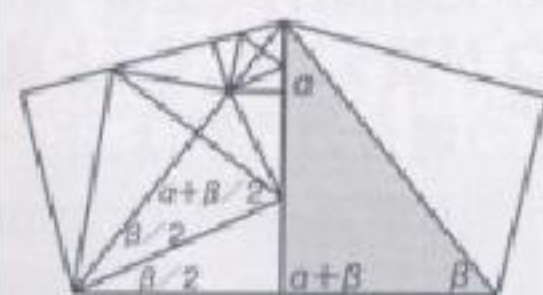


図1

$\alpha:\beta$	角度系	メモ
1 2	360°/12系(30度系)	
1 4	360°/20系(18度系)	本作例
1 6	360°/28系	
1 8	360°/36系(10度系)	
2 2	360°/16系(22.5度系)	辺の分割
2 4	360°/24系(15度系)	30度系と同じ
2 6	360°/32系(11.25度系)	トラの顔のオリジナルパターン
2 10	360°/48系(7.5度系)	
3 4	360°/28系	

折り紙コンテスト

Origami Model Design Contest

表彰式には感動のハプニングもあり、また一つ思い出に残るものとなりました。

ところで、今回のコンテストには私もひっそりと作品を出展していました。もちろん、テーマ設定している側ですので参考出品ということで幸い投票対象にはなっていないのですが、2つのテーマ「20」と「トラ」の両方に絡めた三題噺的趣向です。

<2π/“20”の“トラ”>

旧作「トラ」の顔に用いた角の無限折り(トラの顔変換)は、Point-splitting技法の一つと見ることもでき、その構造は、図1のように一般化することが出来ます。網掛けで示した単位三角形のそれぞれの角度を α 、 β 、 $\alpha+\beta$ と表すと折り線は α 、 $\beta/2$ 、 $\alpha+\beta/2$ 、 $\alpha+\beta$ に角度制限された展開図のパターンを作ります。さらに、 $\alpha:\beta$ を整数比に制限して α 、 β を単位角度に読み直すと三角形の内角を整数2($\alpha+\beta$)等分した角度制限系列ができます。この

西川誠司 Nishikawa Seiji
日本折紙学会 評議員代表

変換は β が常に2等分されるので β を2の倍数にするパターンの例を挙げると、表のようになります。

オリジナルのトラは体の部分が22.5系であるのに対し、顔は11.25°系であることが分かります。一方、体と顔が同一の角度系列で連続し、出来上がりもトラの見立てを得られる可能性のあるものとして、18°系すなわち2π/20が考えられます。基本的な展開図は、図2のようになります。展開図に正五角形が現れる珍しい作例とは思いますが、ご興味のある方は試しに作ってみて下さい。不思議なくらいオリジナルのものと区別がつかない仕上がりとなります。

図2 2π/“20”の“トラ”の展開図



第61回

チャボ (矮鶏)

Bantam

北條高史

Hojyo Takashi

Created : 2009.08.02

Paper Size : 70×70cm

Height : 20cm

本作は、用紙両面の色の違いを活用したインサイドアウト作品です。片面が濃い色で、もう一方が白の紙を使うと良いでしょう。展開図では用紙の白い面から見たところを示していて、太い線が山折り、細い線は谷折りとなっています。

モ(軍鶏)のような形になります。

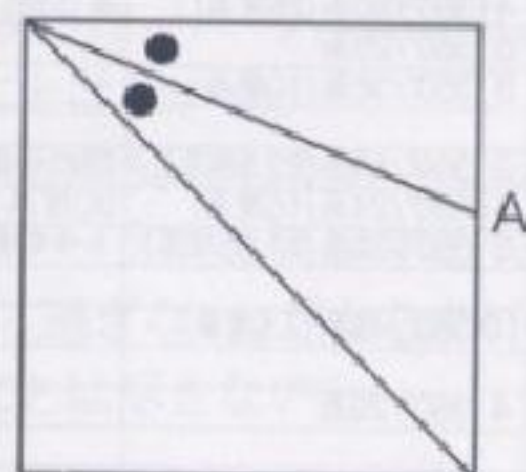
左右とも、足と内部カドから出る2枚の翼を一緒に、体の後方へ回転させるように段折りして位置を調整。爪部分の紙をめくって色を出す加工を施してから、足の根元を中割り折りの段折りしてポーズをつけます。

それから首の正中線部分で、図の「B」で示す点を裏側から前方に押し出して、それと同時にひろがった部分

を胴体にかぶせるようにして押し下げます。さらに首を内側へ段折りして縮めて、チャボらしいシルエットにしましょう。このような作業過程で出来た用紙の重なり・だぶつきがあることによって、どっしりとした量感を表現できることが本作の重要ポイントです。

頭部については、とさかの色を出すための構造を盛り込まないようにするとさらに紙を効率よく使えるようになり、より複雑な加工をすることも可能です。その際には、翼や尾羽にもさらにディテールを追加して、全体のデザインバランスが整うようにすると良いでしょう。(この場合の作例は、ホームページ「現代折り紙」<http://origami.gr.jp/~hojyo/index.htm> をご確認ください。)

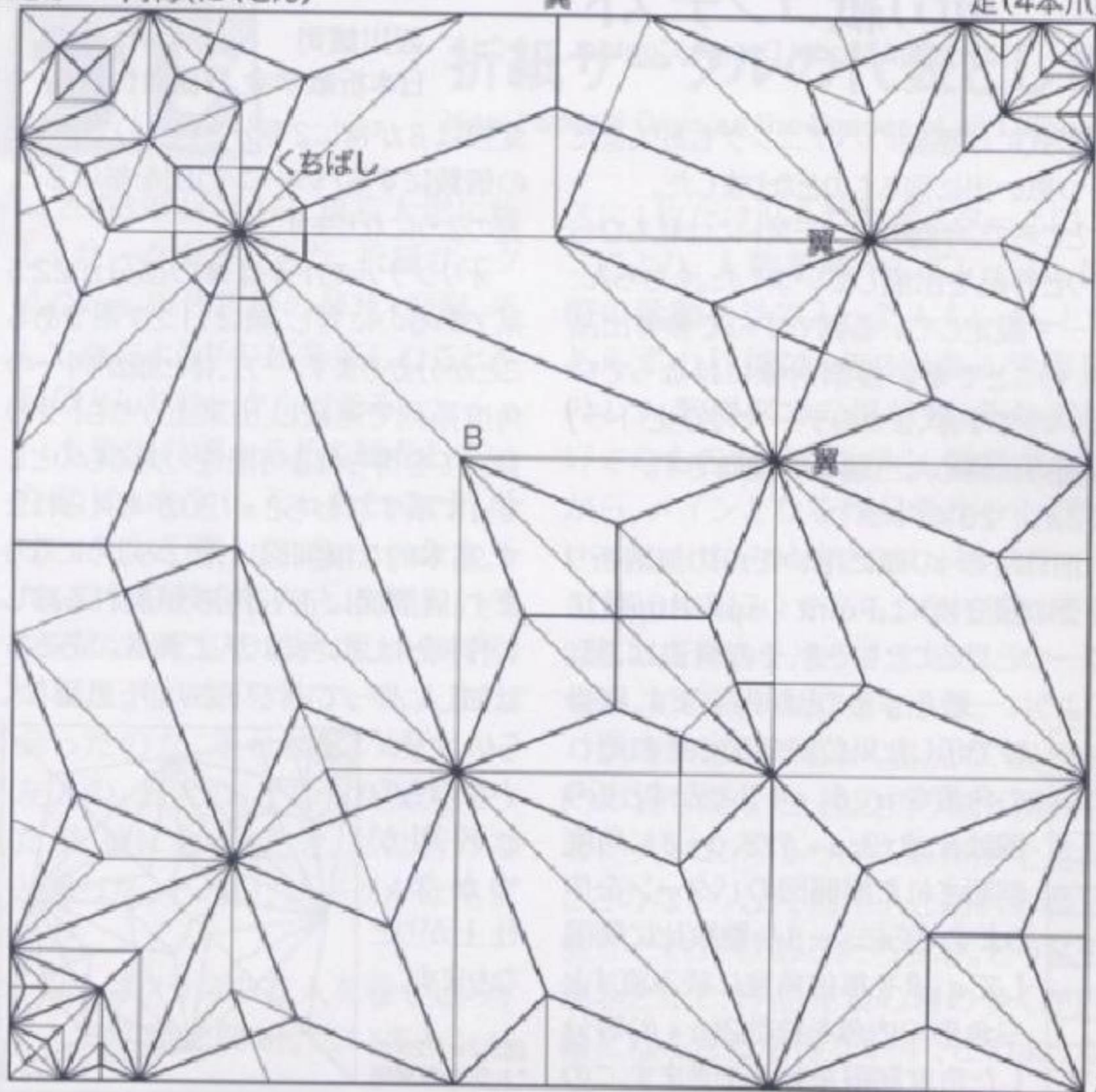
規準位置の折り出し



この展開図に付いている線だけで
畳んだ段階では、首が非常に長いシャ
とさか 肉髯(にくぜん)

翼

足(4本爪)



A
尾羽

尾羽

尾羽

とさか 肉髯(にくぜん) 翼 足(4本爪)

